

## 第1部：政治

著者	高橋 宗生
権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
シリーズタイトル	文献解題
シリーズ番号	40
雑誌名	変動するインドネシア（2001-2005）-政治・経済・社会関連インドネシア語雑誌記事・論文解題-
ページ	1-68
発行年	2006
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2344/00015794">http://hdl.handle.net/2344/00015794</a>

## 第 I 部：政治（P o l i t i c s）

中扉の裏白ページ

## I - 1 情報誌記事解題の解説

21 世紀初頭以降のインドネシアでは、1999 年 10 月から政権を担っていたアブドゥルラフマン・ワヒド（以下ワヒドと略）が 2001 年 7 月に大統領を罷免された後、メガワティ・スカルノプトリ（以下、メガワティと略）が政権を引き継いだ。2004 年 10 月からはスシロ・バンバン・ユドヨノ（以下、ユドヨノと略）が政権を担当している。ここでは 2001 年から 2005 年の間に掲載された政治関係雑誌記事の報道内容を概説し、その後各年ごとに解題記事の内容を紹介していきたい。

1998 年のスハルト体制崩壊後、インドネシアの政治は大きく民主化の方向へ舵をとり、政党・団体の設立や出版・報道の自由が保障されるようになるとともに、あいまいな条項が多かった 1945 年憲法に対しても 4 次に及ぶ大幅な改正が実施されて内容が一新された。また、今世紀初頭から地方分権化に本格的に足を踏み入れ、2005 年には地方首長の直接選挙が実施されるに至った。一方、中央政府にあっては、2004 年 7 月と 9 月にそれぞれ大統領・副大統領ペアを選ぶ直接選挙の第 1 回・決戦投票が実施され、インドネシア史上初めて議会ではなく国民が正副大統領を選出した。これらの政治改革は、スハルト時代への反省から、基本的に大統領から権力を奪う方向で行われたため、行政府に代わって力をつけた立法府、特に力を得た国会議員や地方議会議員たちが中央政府や地方政府と対立する局面がたびたび生じ、政治的な停滞を招くことにもなった。

中央レベルでは、このように民主化のための改革が進められたが、地方では民主化が拡大することで、様々な紛争が発生した。カリマンタンの種族紛争、マルク諸島やスラウェシの異宗教徒間紛争、アチェ、パプアの分離独立運動など、政府は各種紛争の解決に向けた取り組みを迫られ、アチェについては念願だった和平が実現した。

民主化は汚職の拡散も招き、食糧調達庁（ブログ）基金やブルネイ国王関連汚職事件を筆頭に政治家や官僚が関与した汚職事件が数多く発生し、国民の強い批判を浴びた。スハルト体制期よりも悪化したといわれる汚職の撲滅に対しては、関連法の整備、専門機関の設立、三権を担う機関の浄化などを通して現在も取り組みが続けられている。

21 世紀初頭のインドネシア政治をみる上での重要な要素の一つが国際テロへの取り組みである。この 5 年間、バリ島で 2 回（2002, 2005 年）、ジャカルタで 2 回（2003, 2004 年）それぞれ多数の死傷者を出す爆弾テロが発生し、国際テロ組織アル・カーイダと関係を持つジャマア・イスラミヤの存在が取りざたされた。政府は反テロ法を公布し、2005 年にはマレーシア人テロリスト・アザハリとその一味を東ジャワのアジトで殺害することに成功した。一方、米国のアフガンならびにイラク攻撃に対しては、イスラム団体を中心に広範な抗議運動が繰り広げられた。

ここに収録した 754 点の政治関係雑誌記事は、インドネシアを代表するニュース週刊誌 *Tempo* 誌と法律・人権問題を追及する *Forum keadilan* 誌に掲載されたものである。以降、各年ごとに何がこの 2 誌の報道対象となったか主要なものに限ってみていくことにする。

2001 年 1 月と 2 月には、前年のクリスマスイブに発生した同時多発爆弾テロ関連記事が 2 点 (10, 25) 掲載されたが、その他の大部分はブログおよびブルネイ国王関連汚職疑惑をめぐるワヒド大統領と国会との対立、ならびに国内政治の不安定化が報道の中心となった (13, 18~21, 24)。3 月にはそれに加えて中カリマンタン州のダヤック人・マドゥラ人間の種族紛争 (28, 31, 37, 46) が加わった。4 月にはワヒド大統領を支持するイスラム団体・ナフダトゥール・ウラマ (NU) の動向 (52, 55, 56, 58, 59) が数多く報道された。7 月の国民協議会特別会議に至るまで、大統領側とそれを支持しない国会議員との間でさまざまな政治的駆け引きが行われたが、ワヒド大統領が最後に望みを託した大統領布告は結局空振りに終わり、同大統領は国民協議会によって罷免された。

8 月以降はメガワティ政権の施策に注目が集まり、特に 9.11 同時多発テロ後に行われた米国のアフガニスタン空爆に対する新政権の姿勢に関心が向けられた (131, 134, 139, 140, 145)。ブログ関連汚職疑惑事件では、新たにゴルカル党党首アクバル・タンジュンが 400 億ルピアを受領したことが判明し、その後の金の流れを追跡した報道が相次いだ (142, 146, 159, 163)。11 月に殺害されたパプア幹部評議会議長テイス・エルアイに関しては、その死の政治的背景を追求する記事 (160, 164) が掲載された。この年にはその他、地方分権化 (49, 124) スカルノ生誕 100 周年関連記事 (77, 85) がそれぞれ複数掲載されている。

2002 年に入ると、まず 1 月末に起こった独立アチェ運動 (GAM) の武装組織司令官アブドゥラ・シャフィイの射殺に関してその経緯が詳しく報道された (182, 184)。年初にブログ基金収賄の容疑者となったアクバル・ゴルカル党党首に関する記事はこの年だけでも 9 点 (180, 196, 199, 208, 210, 218, 259, 261, 263) を数え、国民の関心の高さを示している。3 月にアクバルは最高検察庁に拘禁され、同年 9 月には禁固 3 年の刑が言い渡された。アクバルはただちに上告した。

このブログ関連汚職事件に関して国会内に特別調査委員会を設立する計画が持ち上がり、国会で議論されたが、政治的利害を優先する闘争民主党とゴルカル党が反対し、立ち消えとなった。不正に対し毅然とした態度が取れないばかりか、民意に逆らってスティヨソ・ジャカルタ首都特別州知事の再選を支持したメガワティ大統領に対しては、国民はもとより、闘争民主党内からも批判が強まる結果となった。

2002 年 5 月に東ティモールが正式に独立し、その関連記事 (209, 229) も掲載された。翌年からは過去に生じた人権犯罪への両国の取り組みが報道された (344, 539, 666)。

2002 年 10 月以降の記事は、202 名の死者を出したバリ島爆弾テロ事件一色となった。背後で動いたとされる組織 (ジャマア・イスラミヤ) やテロを命令したとされるイスラム寄宿学校主宰 (アブ・バカル・バアシル) に関する記事も加えると、年の最終 3 カ月だけで 24 点の関連記事 (281~287, 289, 290, 292, 293, 295~299, 301, 304~309, 313) が掲載されている。年末までにアムロジ、イマム・サムドラ、アリ・イムロンら主犯格が逮捕され、翌年からはその裁判に関心が集まった。テロ関係では、シンガポールのストレート・タイムズ紙やリー・クアン・ユー上級相のインドネシアへの警告 (187, 191)、テロ対策を

内容とした 2002 年法律代行政令への批判記事（286）も掲載された。

2002 年はこの他、前年に引き続くパプア幹部評議会議長テイス・エルアイ殺害事件の報道（206, 216）、マレーシアと国境を接する東カリマンタン州沖の 2 島（シパダン島およびリギタン島）の領有権問題（312, 314）、初代副大統領モハマッド・ハッタ生誕 100 周年記念日（237）、地方分権化と地方自治体のイスラム法適用への動き（294）などが掲載された。

2003 年もバリ島爆弾テロとアル・カーイダと関係を持つテロ組織とされるジャマア・イスラミヤに関する記事が続くと同時に、2004 年の総選挙に向けた新党結成関連記事が続いた。闘争民主党党首メガワティに対する内部批判が相次ぐなか、同党のゴルカル党との連携を探る動きもみられた。3 月には新国軍法法案の問題点、4 月には米国のイラク攻撃関連記事が数多く掲載された。

同年最も注目を集めたのは、GAM とインドネシア政府側との和平交渉が決裂し、国軍が治安維持や人道支援などを名目に開始した軍事作戦である（378, 379, 381, 385, 386, 389～391, 394, 395, 397, 454）。アチェでは軍事非常事態が宣言され、1 年後に文民非常事態に緩められるまで数多くの犠牲者を出すことになった。

また、総選挙を翌年にひかえたこの年、総選挙法改正や大統領直接選挙法の制定に関する記事に加えて、イスラム知識人ヌルホリシュ・マジド（363, 367, 372）やジョクジャカルタのスルタン、ハムンクブウォノ 10 世（405）が大統領候補として取り上げられた。

8 月 5 日にはジャカルタ・クニンガン地区の米国系ホテルで爆弾テロが発生し、内外に大きな衝撃を与えた（411, 413, 416, 418）。このマリオット・ホテル爆弾テロ事件には、マレーシア国籍のアザハリが関わっていると推測されたが、それから間もない 15 日にはジャマア・イスラミヤの中心人物とされるハンバリがタイで米国に逮捕された。その後 9 月に入ってからテロ対策法が発効し、次々とイスラム活動家たちが警察に逮捕され、その家族らが抗議のデモを行った（437, 439）。

中イリアン・ジャヤ州では、パプア州からの分立を促進するグループと反対するグループとの間で大規模な抗争が発生し、パプア特別自治法と矛盾する法律・法令のあり方に批判が集まった（424, 426～428）。

2004 年の 2 誌の関心は、当然のことながら 5 年に一度の中央・地方議会議員選挙と、史上初めて実施される大統領直接選挙に集中した。この 2 つのトピックを扱う記事はそれぞれ 17 点と 35 点を数え、他を大きく引き離した。議会議員選挙では福祉正義党と民主主義者党が躍進し、ゴルカル党は得票率を減らしたものの第 1 党へ返り咲いた。闘争民主党は得票率を大幅に減らし、政党多党化の時代を印象付けた。また、旧共産党党员・シンパに対する選挙権回復問題も報道された（481, 485, 486）。2 月 12 日にアクバル・ゴルカル党党首が最高裁で無罪となったことは、その後の政局に対して大きな影響力を持つことになった。しかし、アクバルは 4 月 20 日のゴルカル党大統領候補最終選考会で同党の大統領候補とはなれず、党首として党が推す大統領候補ウィラント元国軍司令官を推す立場と

なった。7月5日の大統領選第1回投票では、ユドヨノ＝ユスフ・カラ組とメガワティ＝ハシム・ムザディ組が第2ラウンドに勝ち残り、9月20日の決戦投票では、6割強の票を獲得したユドヨノが第6代大統領に選出された。

9月以降、注目を集めた事件は9月9日のオーストラリア大使館前の爆弾テロ事件(579, 581, 583, 585)、国会と国民協議会議長選(592, 605)、国会内における政党の合従連衡(611, 613, 615)、国軍司令官人事をめぐる国会内の対立(598, 601, 609, 612)、NU、ゴルカル党内の党首選(620～622, 624, 625, 627～631)、人権活動家ムニールの毒殺事件(614, 618, 619)などであった。12月16日のゴルカル党首選では、カラ副大統領が選出され、ユドヨノ政権の議会掌握に大きく寄与することになった。

2005年は前年末のスマトラ沖大地震・津波の救援活動が活発化するなか、GAMとインドネシア政府間に和解の道が開かれ、8月の和平協定署名に至った記念すべき年となった。ヘルシンキでの和平が成立した後、アチェではGAMの非武装化が実施され、国会ではアチェ特別自治法に代わるアチェ行政法の草案作りが開始された。このアチェ和平関連記事は全体で12点(642, 644, 698, 701, 702, 708～711, 713, 719, 734)が収録されており、テーマ別では最も多い。

地方自治の分野では、2004年の地方分権2法の改正にともない、6月以降226自治体で実施された直接地方首長選に注目が集まった(649, 651, 661, 663, 687, 702, 704, 707)。また、闘争民主党と開発統一党の党首選に関しても計5点(648, 667～670)が掲載された。

人権活動家ムニールがオランダ行き飛行機の機中で毒殺された事件は年を越しても関心が薄れることはなく、国家情報庁(BIN)の関与のうわさを含めて、計10点(645, 646, 655, 677, 679, 688, 692, 696, 753, 754)を収録している。

10月1日バリ島で再度発生した爆弾テロ事件の背景と捜査に関しても多くの記事が掲載された(724, 725, 727, 729, 741)。11月9日には多くのテロ用爆弾を製造・爆発させたアザハリ容疑者が東ジャワで殺害され(738, 739, 747)、大物テロリスト・ヌールディン・トップの追跡に捜査の中心が移ることになった。

この年、他の事件で注目されたものは、東カリマンタン沖で領海区分をめぐってマレーシアとインドネシアの軍が対峙し、両国間に緊張が高まった事件(656, 657, 659)、バンドン会議の50周年記念式典(674, 675)、などであった。

この5年間を通してスハルト体制期に報道規制が敷かれていたテーマで、報道が許可されたものも多い。特に9.30事件関連記事は毎年掲載された(16, 112, 133, 272, 273, 276, 412, 482, 721, 723)。また、当時の軍を相手取った1984年のタンジュン・プリオク事件裁判関連記事も2003年と2004年に掲載された(457, 460, 573)。スハルト政権が倒れる契機となった1998年5月のジャカルタ暴動に関しては、5年目にあたる2003年に2点(374, 375)掲載されている。

## I — 2 情報誌記事解題

2000年 (政治)

1

Prabowo Subianto – “Turun itu menyakitkan.” (Wawancara) Tempo 29(37) Nov. 19, 2000: p.38-40, 42

除隊の後、ヨルダンでビジネスを手伝うプラボウ退役中將に聞く。出国時の心境を告白。

2

John MacCarthy – “Insiden Makassar bukan soal serius.” (Wawancara) Tempo 29(39) Dec. 3, 2000: p.38-40, 42

豪・イ、東ティモール関係をマッカーシー豪大使に聞く。

3

Ryaas Rasyid – “Saya sedang mengevaluasi peran di kabinet.” (Wawancara) Tempo 29(40) Dec. 10, 2000: p. 38-40, 42

辞意を表明した行革担当大臣リャーアス・ラシッドに聞く。地方分権化政策への不満を表明。

4

Ketua MA di tengah pergumulan Senayan-Istana. (Laporan utama) Tempo 29(41) Dec. 17, 2000: 20-24

最高裁判所判事のムラディ、バギル・マナン  
2 候補を拒否した闘争民主党と国民覚醒党。

5

Susilo Bambang Yudhoyono – “Loyalitas saya pada lembaga, bukan perorangan.” (Wawancara) Tempo 29(41) Dec. 17, 2000: p.38-40, 42

政治・治安担当調整相が国会内と地方の抗争を語る。

6

Menteri mundur, kabinet dirombak – taktik Menyelamatkan gawang kabinet. (Laporan utama) Tempo 29(42) Dec. 24, 2000: p.20-23

すでに辞意を表明した多くの大臣たちとリャーアス・ラシッドの心境。次到大統領に解任される大臣たちは誰か。

7

Alvin Lie – “Reputasi saya cuma kelas lokal.” (Wawancara) Tempo 29(42) Dec. 24, 2000: p.40-42, 44

「自分の人気は地方レベルのみ」と語る国民信託党若手政治家アルヴィン・リーに聞く。



## 2001年 (政治)

8

Politik nasional 2000 – lanskap yang berderak. (Nasional) Tempo 29(43/44) Jan. 7, 2001: p.18-47

2000年の政治関連の出来事を振り返る。地方分権化、アチェ、パプア、ワヒド政権期の汚職、大統領と国会との対立、他。

9

Mega tersandra – ketika “dwitunggal” saling melempar bola. (Laporan utama) Tempo 29(45) Jan. 14, 2001: p.20-23

最高裁長官候補の決定や一閣務大臣の解任願い提出に対し、態度を保留し続ける大統領。メガワティ副大統領に多くの政治家が接近。

10

Malam Kudus, ramai bom. (Nasional) Tempo 29(45) Jan. 14, 2001: p.24-27

クリスマスイブの同時多発爆弾テロを点検する。

11

OPM – antara darah dan jalan tengah. (Selingan) Tempo 29(46) Jan. 21, 2001: p.50-[57], 60-61, 63, 65

1960年代から今日に至る独立パプア組織(OPM)の運動を振り返る。インドネシア国軍およびメラウケ地区 OPM の各軍管区司令官へのインタビュー収録。写真14葉収録。

12

Hassan Wirajuda – “Perundingan dengan GAM: yang penting isi, bukan label.” (Wawancara) Tempo 29(47) Jan. 28, 2001: p.38-40, 42

インドネシア外相が悪化する政府とアチェ独立派との関係を語る。

13

Pergeseran kubu dalam tubuh pansus. (Forum utama) Forum keadilan 9(42) Jan. 28, 2001: p.12-23

注目される食糧調達庁およびブルネイ国王関連汚職疑惑国会特別調査チームの提言。事件の経緯と資金の流れを図示。

14

Baharuddin Lopa – “Kasus Buloggate perlu dibawa ke pengadilan”. (Wawancara) Forum keadilan 9(42) Jan. 28, 2001: p.56-60

食糧調達庁関連汚職疑惑事件で大統領に助言を求められた駐サウジアラビア大使に聞く。

15

Andi Muhammad Ghalib – “Saya ingin meluruskan sejarah”. (Wawancara) Tempo 29(48) Feb. 4, 2001: p.38-40, 42

自叙伝で過去の事件を総括した元最高検長官へのインタビュー。

16

Omar Dhani tentang G-30-S – CIA terlibat, Soeharto dipakai. (Laporan khusus) Tempo 29(48) Feb. 4, 2001: p.60-65, 68-74

9.30事件の新事実を記した本をオマル・ダニ元空軍参謀長が出版。氏へのインタビュー。

17

Andi Muhammad Ghalib – “Saya ini sudah hancur...”. (Wawancara) Forum keadilan 9(43) Feb. 4, 2001: p.40-43

自伝を著したガリブ元最高検長官に聞く。スハルトを容疑者に確定する意図があったのは本当か？自伝の内容に非難が殺到。

18

Setelah Mega dan militer berpaling – memorandum siap menenggelamkan Presiden Abdurrahman. (Laporan utama) Tempo 29(49) Feb. 11, 2001: p.20-27

副大統領と国軍の支持を失い、不安定化するワヒド大統領の地位。国会解散の大統領布告を発効させる可能性はあるか。

19

Jalur cepat menuju suksesi – peluang di kantong Megawati. (Forum utama) Forum keadilan 9(44) Feb. 11, 2001: p.12-22

国民協議会特別会議が早期に開催される可能性が高まり、メガワティ大統領が政権の頂点に？国会議員たちへのインタビュー収録。

2 0

Julius Usman – “PDIP tak pernah mendukung Gus Dur”. (Wawancara) Forum keadilan 9(44) Feb. 11, 2001: p.56-60

食料調達庁およびブルネイ国王関連汚職疑惑に関する国会特別委員会の最終報告を闘争民主党の一議員はどうみるか。

2 1

Awal dari sebuah akhir? – adu cepat presiden vs parlemen. (Laporan utama) Tempo 29(50) Feb. 18, 2001: p.20-27

対立が続く国会と大統領。国民協議会開催前までワヒド大統領は権力を維持できるか。

2 2

Membuka jalan untuk tentara. (Forum utama) Forum keadilan 9(45) Feb. 18, 2001: p.12-23

文民政治家たちの争いと混乱状況に対し、国軍が政権奪取をねらう可能性を探る。陸軍参謀長、国軍領域担当副参謀へのインタビュー収録。

2 3

Nurcholish Madjid – “Jangan cari akal menhalangi Mega”. (Wawancara) Forum keadilan 9(45) Feb. 18, 2001: p.56-60

国会内の混乱を著名なイスラム知識人ヌルホリシュ・マジッドはどう評価するか。

2 4

Serangan balik presiden. (Laporan utama) Tempo 29(51) Feb. 25, 2001: p.20-27

大統領支持グループがゴルカル党を標的に。ラハルディ・ラムラン元食糧調達庁長官からゴルカル党に流れた 716 億ルピアの明細。

2 5

Cerita dari mosaik bom Natal. (Investigasi) Tempo 29(51) Feb. 25, 2001: p.59-66, 68-69, 72, 74, 76, 78-80

去年のクリスマスイブに起こった同時多発爆弾テロ事件を検証。国軍が関与した可能性と警察報告書の不整合性は何を示すか。

2 6

Alex, Vatikan, dan belut putih. (Nasional) Forum keadilan 9(46) Feb. 25, 2001: p.12-16

警察高官の更迭とバチカンへの特使派遣。

2 7

Budiman Sudjatmiko – “Mega akan dimunculkan sebagai musuh bersama”. (Wawancara) Forum keadilan 9(46) Feb. 25, 2001: p.24-27

民主人民党党首に現今の政治情勢を聞く。

2 8

Sampit – kesumat tak pernah tamat. (Nasional) Tempo 29(52) Mar. 4, 2001: p.27-31

ダヤック人とマドゥラ人の種族間抗争でサンピットで数百人が死亡。原因は社会的妬みか。

2 9

Endriartono Sutarto – “TNI tidak mau terjebak”. (Wawancara) Tempo 29(52) Mar. 4, 2001: p.42-44, 46

エンドリアルトノ陸軍参謀長に現今の政治情勢と国軍の関わり合いについて聞く。

3 0

Hartono Mardjono – “Kondisinya sekarang sudah carut-marut.” (Wawancara) Forum keadilan 9(47) Mar. 4, 2001: p.38-41

月星党創立者が現今の政治と党問題を語る。

3 1

Tak bisakah kita hidup bersama? – padam sesaat, membara selamanya. (Laporan utama) Tempo 30(1) Mar. 11, 2001: p.20-28

海軍による難民移送で沈静化し始めたサンピットとパランカラヤの種族間抗争。マドゥラ人入植の歴史を振り返る。

3 2

Hendro Subroto – “Tubuh para jenderal itu tak disayat-sayat”. (Wawancara) Tempo 30(1) Mar. 11, 2001: p.40-42, 44

9.30 事件で殺された陸軍将校たちの遺体を目撃したカメラマンの証言。

3 3

Air mata darah di lembah singgah mata.  
(Fokus) Forum keadilan 9(48) Mar. 11,  
2001: p.43-49

アチェ貴族の一末裔はなぜ 20 年の刑を受け、  
最後は 56 人の従者たちとともに殺戮されたか。

3 4

Din Syamsuddin – “Mega berpotensi  
menjadi negarawati”. (Wawancara)  
Forum keadilan 9(48) Mar. 11, 2001:  
p.62-65

ムハマディヤ副議長はメガワティの大統領  
就任の可能性をどうみるか。

3 5

Ginandjar dijerat, beringin dibelah.  
(Laporan utama) Tempo 30(2) Mar. 18,  
2001: p.20-27

最高検長官がギナンジャー元鉱業・エネル  
ギー相を汚職事件の容疑者に。ゴルカル党を二  
分裂させるワヒド大統領の策略か。

3 6

Arifin Panigoro – “Kalkulasi saya dan  
Taufik Kiemas berbeda”. (Wawancara)  
Tempo 30(2) Mar. 18, 2001: p.44-46, 48

アリフィン・パニゴロ闘争民主党国会派議  
長に反ワヒド政党間連合結成の可能性を聞く。

3 7

Diaspora orang Madura. (Forum utama)  
Forum keadilan 9(49) Mar. 18, 2001:  
p.12-20

中部カリマンタン州におけるマドゥラ人排斥  
を目的とした暴動および難民化の実態をルポ。

3 8

DPR kita – mahal tampilan, miskin  
kepekaan. (Fokus) Forum keadilan 9(49)  
Mar. 18, 2001: p.41-47

公にされる報酬額は低いものの、奢侈な生活  
をする国会議員。総選挙法改正案の問題点。

3 9

Susilo Bambang Yudhoyono – “TNI akan  
mengambil peranan”. (Wawancara)

Forum keadilan 9(49) Mar. 18, 2001:  
p.72-77

ユドヨノ政治・社会・治安担当調整大臣に国  
内治安状況、軍・政関係、他を聞く。

4 0

Menunggu sabda Mega – dilema dan  
trauma Megawati. (Laporan utama)  
Tempo 30(3) Mar. 25, 2001: p.20-29

ワヒド大統領退陣要求を前に行動を起こそ  
うとしないメガワティ副大統領。東ジャワ州で  
は大統領を護持する決死隊が結成される。

4 1

Menteri Pertahanan Mahfud Md. – “Gus  
Dur sebaiknya mengaku khilaf”.  
(Wawancara) Tempo 30(3) Mar. 25, 2001:  
p.42-45

大統領に国会覚書への回答の構想作成を指  
示されたマフフッド国防相へのインタビュー。

4 2

Prahara menuju istana. (Forum utama)  
Forum keadilan 9(50) Mar. 25, 2001:  
p.12-20

日増しに大きくなるワヒド大統領退陣要求。  
闘争民主党はポスト・ワヒドの青写真を作成。

4 3

Robohkan beringin itu! (Fokus) Forum  
keadilan 9(50) Mar. 25, 2001: p.43-49

政治エリートたちの権力闘争下で強まる対  
ゴルカル党攻撃。地方支部への破壊行為も発生。

4 4

Taufik Riyadi – “Gus Dur cuma sasaran  
antara”. (Wawancara) Forum keadilan  
9(50) Mar. 25, 2001: p.58-61

学生たちは政治に何を求めるか。学生運動組  
織の代表へのインタビュー記事。

4 5

“Perang” senjata TNI-Polri – di ujung laras  
Kalashnikov. (Laporan utama) Tempo  
30(4) Apr. 1, 2001: p.20-29

ロシアと中国から自動ライフル銃数千丁を  
購入した警察に集まる国軍の嫉妬のまなざし。  
発注から納品までの経緯を追う。

4 6

Fridolin Ukur – “Pembunuhan seabad lalu terulang.” (Wawancara) Tempo 30(4) Apr. 1, 2001: p.42-44, 46

ダヤック・マドゥラ間種族抗争の根元を「新秩序」期の経済的不公正にもとめるーダヤック知識人へのインタビュー。

4 7

Serdadu sipil – tak lenyap termakan zaman. (Fokus) Forum keadilan 9(51) Apr. 1, 2001: p. 43-49

ロンボク島、バリ島などで顕著な民兵の組織化。ミリタリズムの復活か？その背景を探る。

4 8

Ari Wowor – “Haji Masnuh harus terbuka soal zakat Brunei”. (Wawancara) Tempo 30(5) Apr. 8, 2001: p.38-40, 42

ブルネイゲート事件に関与したとされる実業家へのインタビュー。200 万米ドルの出所は。

4 9

Otonomi daerah – bencana, solusi, atau berkah? (Suplemen) Tempo 30(5) Apr. 8, 2001: p.85-94

地方分権化がもたらすものは何か。封建主義、環境破壊、背反し合う法令に懸念の声。

5 0

Terobosan untuk mencegah Memo II. (Forum utama) Forum keadilan 10(1) Apr. 8, 2001: p.12-22

ワヒド大統領が最高検長官に 3 人の汚職疑惑者の拘禁・取調を指示。成果がなければマルズキの更迭も。国会の第 2 覚書提出阻止が目的か。

5 1

Marzuki Darusman – “Sistem hukum kita rapuh”. (Wawancara) Forum keadilan 10(1) Apr. 8, 2001: p.56-61

マルズキ最高検長官が汚職疑惑の要人逮捕、大統領とゴルカル党の関係について語る。

5 2

Pasukan berani mati (mati untuk siapa) –

barisan penebar kecemasan. (Laporan utama) Tempo 30(6) Apr. 15, 2001: p.20-27

1 万数千人の決死隊はワヒド大統領更迭を阻止する最後の壁？民主主義継続の脅威？

5 3

Dana gelap di balik tewasnya sang marinir. (Nasional) Tempo 30(6) Apr. 15, 2001: p.28-31

一兵士殺害の背景に民兵組織幹部の影？パプア独立活動家見舞の大統領援助金も関連か。

5 4

Matori Abdul Djalil – “Saya harus lebih banyak diam”. (Wawancara) Tempo 30(6) Apr. 15, 2001: p.40-42, 44

国会内でロビー活動続けるマトリ民族覚醒党党首へのインタビュー。

5 5

K. H. Said Agil Siradj – “Pro Gus Dur berhak melawan”. (Wawancara) Forum keadilan 10(2) Apr. 15, 2001: p.56-59

ナフダトゥール・ウラマ(NU)の幹部がワヒド大統領と国会の関係について語る。

5 6

Menakar label makar untuk anti-Gus Dur. (Nasional) Forum keadilan 10(2) Apr. 15, 2001: p.76-80

スカブミで行われたウラマたちの会合における議論の内容。国会内の反ワヒド勢力はフィクフで正当化されるか。ジハード布告の可能性。

5 7

Belajar kompromi dari *founding fathers*. Forum keadilan 10(2) Apr. 15, 2001: p.81-84

国民協議会特別会議で失脚しないようロビー活動を始めた大統領陣営。妥協は可能か。

5 8

K. H. Abdul Muchith Muzadi – “Semua elit politik perlu psikiater”. (Wawancara) Tempo 30(7) Apr. 22, 2001: p.38-40, 42

国家転覆行為の討議を始めさせたナフダトゥール・ウラマ長老幹部がみる現今の政治。

5 9

Persiapan perang membela Gus Dur – genderang perang mulai ditabuh. (Nasional) Forum keadilan 10(3) Apr. 22, 2001: p.75-84

ワヒド大統領擁護のため武力闘争の準備を始めた NU 構成員。ゴルカル党、国民信託党、ムハマディヤが脅迫の対象に。

6 0

Xanana Gusmao – “Saya bukan orang yang tepat memimpin Timor Timur”. (Wawancara) Tempo 30(8) Apr. 29, 2001: p.38-40, 42

1 年以上前にサレンバ拘置所から解放された東ティモール独立活動家へのインタビュー。

6 1

Pasukan dengan sejuta wajah. (Selingan) Tempo 30(8) Apr. 29, 2001: p.63-66, 68-69, 72-74, 77-79

49 年前に結成された陸軍特殊部隊の歴史を振り返る。エリート部隊としての栄光と民主化活動家拉致の汚点。

6 2

Habib Husein Al Habsyi – “Menggulingkan Gus Dur adalah wajib”. (Wawancara) Forum keadilan 10(4) Apr. 29, 2001: p.58-61

「新秩序」期に危険人物とされた盲目のイスラム活動家はなぜワヒド大統領を敵視するか。

6 3

Tergantung Megawati? – dari Senayan: tiada kompromi, tiada maaf lagi. (Laporan utama) Tempo 30(9) May 6, 2001: p.20-30

国会内の大部分の会派が第 2 回覚書に合意。首都特別州には反大統領派、大統領支持派、国軍・警察が集結し、数カ所で衝突が発生。

6 4

Gus Dur dijatak, ilmu kebal merebak. (Fokus) Forum keadilan 10(5) May 6, 2001: p.43-49

ワヒド大統領保護のため、不死身になる術を

体得しようと訓練に励む NU 構成員たち。

6 5

Ferry Tinggogoy – “Itulah risiko mengangkatnya sebagai presiden”. (Wawancara) Forum keadilan 10(5) May 6, 2001: p.58-62

突然解任させられた国軍・警察会派国会議員へのインタビュー記事。大統領批判の内容は？

6 6

Mangara Siahaan – “Kalau Gus Dur jatuh, bukan salah kami”. (Wawancara) Forum keadilan 10(6) May 13, 2001: p.58-61

メガワティを熱烈に擁護する闘争民主党会派国会議員は現今の政治をどうみるか。

6 7

Jurus berkelit kiai Ciganjur, Megawati penguasa *de facto*. (Nasional) Forum keadilan 10(6) May 13, 2001: p.76-80

ワヒド大統領に対抗する要の政治家メガワティ。4 月 30 日～5 月 4 日の政治変動。

6 8

Dokumen negara – jurus rahasia untuk menumpas Suropto. (Nasional) Forum keadilan 10(6) May 13, 2001: p.81-84

国家機密漏洩容疑で逮捕されたスリプト元林業相。バリト・パシフィック総裁も関与？

6 9

Sudahlah, Gus...– jalan kompromi atau wallahualam. (Laporan utama) Tempo 30(11) May 20, 2001: p.20-26

行政府首長の権限を副大統領に移譲する妥協案は正副大統領に受容されたか。7 人チームが政治危機克服のため作成した草案の内容。

7 0

Laskar Jihad – jerat ganda bagi panglima. (Liputan khusus) Tempo 30(11) May 20, 2001: p.28-32

マルク諸島の和平のためイスラム急進派の司令官を逮捕。石打刑はイスラムの刑か中東独自の刑か。

7 1

Syariat Islam mencari bentuk – bukan sekadar potong tangan. (Forum utama) Forum keadilan 10(7) May 20, 2001: p.12-23

地方レベルでイスラム法の適用が拡大。過激な行動をとるラスカル・ジハードとアチェ州。

7 2

Strategi menjelang dekrit 25 Mei. (Nasional) Forum keadilan 10(7) May 20, 2001: p.77-81

国民協議会特別会議の開催を中止しない場合、非常事態を宣言し、国会を解散させると明言するワヒド大統領。各政党の対応を表で整理。

7 3

Ancaman dekrit, tentara menentang – siapa ‘bermain’ dekrit, presiden atau TNI. (Laproan utama) Tempo 30(12) May 27, 2001: p.20-23

124 人の陸軍将校たちの会合でワヒド大統領の布告拒否を決定。陸軍参謀長に聞く。

7 4

Hatta Rajasa – “DPR akan mengabaikan dekrit”. (Wawancara) Forum keadilan 10(8) May 27, 2001: p.56-59

ハッタ・ラジャサ国会改革会派代表が国会解散を内容とする大統領布告への対応を語る。

7 5

Main api dengan dekrit – presiden menggergertak, sidang istimewa malah mendekat. (Laporan utama) Tempo 30(13) June 3, 2001: p.20-28

副大統領が権限移譲を拒否したことで、ますますぐらつきが強まった大統領の椅子。国民協議会特別会議の開催は不可避か。

7 6

Tak selalu ada bus ke Bireum. (Selingan) Tempo 30(13) June 3, 2001: p.[71]-74, 77, 80-81, 83-84

治安が悪化するアチェ。2000 年 3 月以降の歩み寄りと銃撃戦の記録。

7 7

Satu abad Putra Sang Fajar. (Fokus)

Forum keadilan 10(9) June 3, 2001: p.41-47

スカルノ生誕 100 周年記念日前後に各地で行われる行事。家族はスカルノの名誉回復を内容とした国民協議会決定を希望。

7 8

Salahuddin Wahid – “Analisis saya, SI akan tetap berjalan”. (Wawancara) Forum keadilan 10(9) June 3, 2001: p.64-67

NU 幹部でワヒド大統領の実弟が民族覚醒党の利益を重要視する NU を批判。

7 9

Deadline Memorandum II – Gus Dur-Mega bubar! (Nasional) Forum keadilan 10(9) June 3, 2001: p.77-82

ワヒド大統領の妥協提案を蹴ったメガワティ副大統領。特別会議の招集は不可避か？

8 0

Skenario pasca 30 Mei – pertarungan terakhir Presiden Abdurrahman Wahid. (Laporan utama) Tempo 30(14) June 10, 2001: p.84-95

最高検長官と政治・社会・治安調整相のすげ替えで政敵に攻撃を仕掛けるワヒド大統領。5 月 27 日から 6 月 2 日までの事件を振り返る。

8 1

Indonesia di bawah Mega – Megawati tinggal selangkah lagi. Tempo 30(15) June 17, 2001: p. 20-26

ワヒド大統領の権力低下に伴い、強化されるメガワティ副大統領の地位。支持陣営の中身。

8 2

Taufik Kiemas – “Saya terbiasa menghadapi fitnah”. (Wawancara) Tempo 30(15) June 17, 2001: p.38-41

闘争民主党国会議員でメガワティの夫トーフック・キマスが最近の政治情勢を語る。

8 3

Nyanyi panjang pengungsi kita. (Aksara) Tempo 30(15) June 17, 2001: p.69-74, 76-77, 80-82, 84-86, 88-89

抗争や暴動で難民となった 130 万人以上の

インドネシア国民。その分布と様々な事例。

8 4

Polisi dan konflik regulasi. (Forum utama) Forum keadilan 10(11) June 17, 2001: p.11-23

大統領に振り回される警察人事。反抗する警察幹部たち。警察法改正の内容。

8 5

Revolusi belum selesai. (Fokus) Forum keadilan 10(11) June 17, 2001: p.41-47

1920年代から60年代初頭に至るスカルノの足跡を写真とともに回顧。

8 6

Sutjipto – “Tindakan, kebijakan, dan pernyataannya memperparah krisis”. (Wawancara) Forum keadilan 10(11) June 17, 2001: p.58-61

スチプト闘争民主党幹事長は来る国民協議会特別会議と各政党の動きをどうみるか。

8 7

Serangan balik Gus Dur – janji yang terulang. (Laporan utama) Tempo 30(16) June 24, 2001: p.20-27

自らの追い落としをねらう勢力を汚職疑惑で逮捕させようと企てるワヒド大統領。最高検長官は汚職事件調査の再開を指示。

8 8

Soekarno menaklukkan dan ditaklukkan tentara. (Fokus) Forum keadilan 10(12) June 24, 2001: p.43-48

かつては議会制民主主義に忠実だった大統領と国軍が対立し始め、大統領が屈するに至った歴史を写真で振り返る。

8 9

Mahfud MD – “Ini memang dagang sapi”. (Wawancara) Forum keadilan 10(12) June 24, 2001: p.72-76

大統領の側近マフフッド国防相が国会、政党、大統領、国軍に関し語ったインタビュー記事。

9 0

Target: Arifin Panigoro – bom waktu yang

siap diledakkan. (Laporan utama) Tempo 30(17) July 1, 2001: p.20-26

アリフィン・パニゴロへの検察取調を見越して支持派と不支持派とに分裂する闘争民主党。

9 1

Friksi di PDIP – tapi, Mega belum membuka pintu. (Nasional) Forum keadilan 10(13) July 1, 2001: p.78-81

政党間連合が心配するメガワティの遅い行動。国民協議会特別会議でのワヒド大統領罷免、新正副大統領選出に至るアジェンダを収録。

9 2

Rebutan kursi Mega – kue RI dua dan perang Uhud. (Laporan utama) Tempo 30(18) July 8, 2001: p.20-27

副大統領や各大臣のポストが未確定な状況下で、政党連合に亀裂？副大統領の最有力候補は開発統一党のハムザ・ハズ？

9 3

Djohan Effendi – “Saya punya kewajiban moral mengingatkan presiden”. (Wawancara) Tempo 30(18) July 8, 2001: p.42-44, 47

ワヒド大統領に解職させられた前国家官房長官ジョハン・エッフエンディに聞く。

9 4

Menerabas kesucian UUD 1945 dan Pancasila. (Fokus) Forum keadilan 10(14) July 8, 2001: p.43-49

憲法改正の動きを追う。憲法をめぐる1945年～59年の歴史を回顧。国法学者の見解。

9 5

Chairuddin Ismail – “Tak ada deal dengan presiden”. (Wawancara) Forum keadilan 10(14) July 8, 2001: p.72-75

長官が2名いる異常な状況の警察。ワヒド大統領が指名したハイルディン長官に聞く。

9 6

Rachmawati Sukarnoputri – “Kalau mau obyektif, kita harus menolak sidang istimewa”. (Wawancara) Tempo 30(19) July 15, 2001: p.40-42, 45

ワヒド大統領に接近し、助言するメガワティの実妹ラフマワティへのインタビュー。

9 7

Satu tahun darurat sipil di Ambon – pertemuan hati di zona netral. (Fokus) Forum keadilan 10(15) July 15, 2001: p.43-48

文民非常事態下でも暴力行為が続くマルク州アンボン。中立地帯で家族の再開が可能に。

9 8

Bimantoro dan korupsi polisi – Bimantoro, pembangkang, dan puncak pertikaian politik. (Laporan utama) Tempo 30(20) July 22, 2001: p.20-25

ワヒド大統領の命令に従わず、警察トップの地位を守ろうとするビマントロ長官。大統領はアグム・グムラルに長官逮捕の命令。

9 9

Hamzah Haz – “Presiden masih bisa ‘lolos’, meski tipis”. (Wawancara) Tempo 30(20) July 22, 2001: p.46-49

副大統領の最有力候補として浮上したハムザ・ハズ開発統一党党首に政治の現状を聞く。

1 0 0

Arifin Panigoro – “Pokoknya, soal presiden, Ibu sudah siap”. (Wawancara) Forum keadilan 10(16) July 22, 2001: p.58-61

国民協議会特別会議を目前にした闘争民主党国会会派代表へのインタビュー記事。

1 0 1

Megawati mulai bergerak. (Nasional) Forum keadilan 10(16) July 22, 2001: p.76-79

アミン・ライス国民信託党党首、アクバル・タンジュン・ゴルカル党党首の両者と会談したメガワティ副大統領。大統領指名は確実か。

1 0 2

Satu republik, dua presiden? (Laporan utama) Tempo 30(21) July 29, 2001: p.20-32

ワヒド大統領への権限委託を抹消しようとする国民協議会特別会議。一方の大統領は大統

領官邸を出る気配なし。国会と大統領の対立を時系列的に解説。肥大化が予測される閣僚数。

1 0 3

Jenderal Surojo Bimantoro – “Saya akan menyerahkan tongkat komando ke DPR”. (Wawancara) Tempo 30(21) July 29, 2001: p.42-44, 46

自らの進退を国会に託すと語るビマントロ警察長官へのインタビュー。

1 0 4

Dekrit Presiden 20 Juli 2001. (Forum utama) Forum keadilan 10(17) July 29, 2001: p.11-25

大統領布告に対抗する国民協議会の秘策は何か。民族覚醒党、国軍の状況の読み方。

1 0 5

K. H. Idris Marzuqi – “Kami akan memboikot Mega”. (Wawancara) Forum keadilan 10(17) July 29, 2001: p.60-63

ワヒド大統領退陣要求に対する一イスラム寄宿学校校長の見解。

1 0 6

Mega dan kabinet bagi-bagi – kabinet baru, harapan baru? (Laporan utama) Tempo 30(22) Aug. 5, 2001: p.20-34

メガワティ＝ハムザ・ハズ正副大統領を国民協議会が選出。閣僚ポストの各政党への配分を予測する。空振りに終わった大統領布告。

1 0 7

Bahaya-bahaya di depan Megawati. (Forum utama) Forum keadilan 10(18) Aug. 5, 2001: p.11-29

メガワティ新大統領選出で課題として残った合法性の問題。専門家へのインタビューと新正副大統領選出に至るクロノロジー収録。

1 0 8

Nahdliyin – dari pinggir kembali ke pinggir. (Fokus) Forum keadilan 10(18) Aug. 5, 2001: p.47-53

ナフダトゥール・ウラマ(NU)は政治エリートに利用されただけか。NUと政治を振り返る。



1 0 9

Agum Gumelar – “Saya dibentak.”  
(Wawancara) Forum keadilan 10(18)  
Aug. 5, 2001: p.76-80

ワヒド大統領罷免後もその指示の実効義務をもつアグム・グムラル政治・社会・治安調整相に聞く。

1 1 0

Matori Abdul Djalil – “Saya bukan Brutus.”  
(Wawancara) Tempo 30(23) Aug. 12,  
2001: p.42-44, 46

党首の座から降ろされても、なお党首と言い張るマトリ氏へのインタビュー記事。

1 1 1

Menyusun bom waktu dalam kabinet.  
(Forum keadilan) Forum keadilan 10(19)  
Aug. 12, 2001: p.11-23

組閣遅延は疑似大統領制のため各政党の意見を重視するためか？政治的妥協の産物になれば政権が弱体化する原因に。

1 1 2

Pembantaian 1965-1966. (Fokus) Forum keadilan 10(19) Aug. 12, 2001: p.43-49

30年後に公表された文書で、米国が9.30事件後の共産党殺戮に介入した事実が明らかに。

1 1 3

Amien Rais – “Mbak Mega, anda ini taruhan terakhir”. (Wawancara) Forum keadilan 10(19) Aug. 12, 2001: p.72-76

大統領選出後2週間経っても決まらない閣僚名。アミン・ライス国民信託党党首に聞く。

1 1 4

56 tahun kemerdekaan RI 17 Agustus 1945-2001. (Laporan khusus) Tempo 30(24) Aug. 19, 2001: p.22-60

独立56周年にして危機に瀕する「指導性」。民族主義運動の歴史を振り返る。

1 1 5

Hatta, suara yang tak pernah hilang. (iQra) Tempo 30(24) Aug. 19, 2001: p.66-88

初代副大統領モハマッド・ハッタの業績を振り返る。写真16葉収録。

1 1 6

Bambang Kesowo – “Sekretariat Negara harus kuat”. (Wawancara) Tempo 30(24) Aug. 19, 2001: p.126-128, 130

新国家官房長官へのインタビュー。

1 1 7

Setelah merdeka dengan nasionalisme. (Aksara) Tempo 30(24) Aug. 19, 2001: p.135-140, 143, 145-150, 152, 154

独立宣言を早める貢献をしたと評価される前田精旧日本海軍少将。1945年8月16日から17日にかけて何が行われたか。

1 1 8

Berkonflik dalam damai. (Fokus) Forum keadilan 10(20) Aug. 19, 2001: p.43-49

各地で起こる紛争の平和的解決を考える。

1 1 9

Abdurrahman Wahid – “Saya sudah berikan segalanya.” (Wawancara) Forum keadilan 10(20) Aug. 19, 2001: p.72-76

大統領罷免の内実をワヒド前大統領に聞く。

1 2 0

Jaksa Agung pilihan tentara? – sumpah yang tercekak. (Laporan utama) Tempo 30(25) Aug. 26, 2001: p.20-27

新最高検長官に就任したM.A.ラフマン。背後で軍が動いた形跡も。6人の識者たちの評価。

1 2 1

Sebuah bom dari pulau yang jauh. (Selingan) Tempo 30(25) Aug. 26, 2001: p.67-70, 72, 76-78

自家製の爆弾をつくって生活する東南スラウェシの住民をルポ。国内各地の紛争で使用？

1 2 2

Pemain bom di sekitar kita – tangan veteran Maluku di Atrium Plaza. (Forum utama) Forum keadilan 10(21) Aug. 26, 2001: p.11-24

アフガニスタンでかつて戦ったマレーシア国籍人がアトリウム・プラザ爆弾テロの容疑者に。2000～2001年の爆弾テロを検証する。

1 2 3

Reorganisasi Sekretariat Negara. (Forum utama) Forum keadilan 10(22) Sept. 2, 2001: p.11-22

国家官房の歴史とその再編。バンバン・クソウ長官の権限が拡大か。

1 2 4

Hari Sabarno – “Kita bukan negara federal”. (Wawancara) Tempo 30(26) Sept. 2, 2001: p.42-44, 46

1999年の地方分権関連二法を改正しようとするハリ・サバルノ内相にその理由を聞く。

1 2 5

Bondan Gunawan – “Represi dan sentralisasi akan meningkat”. (Wawancara) Forum keadilan 10(22) Sept. 2, 2001: p.72-76

ワヒド政権期に食糧調達汚職疑惑で辞任した元国家官房長官へのインタビュー。

1 2 6

Politisasi Komnas HAM. (Forum utama) Forum keadilan 10(23) Sept. 9, 2001: p.11-22

国家人権委員会の新メンバーの人選で「新秩序」期の残党が反抗？同委員会の盛衰を辿る。

1 2 7

Rame-rame menambang hibah di Senayan. (Laporan utama) Tempo 30(28) Sept. 16, 2001: p.20-29

贈賄と搾取が横行する国会。資産公開によって明らかになった月々の給与以上に大きな贈与品の数々。議員の体質を変える方法は何か。

1 2 8

Hari Sabarno – “Bayangkan, anggota DPRD ke luar negeri enam kali setahun”. (Wawancara) Forum keadilan 10(24) Sept. 16, 2001: p.62-66

1999年地方行政法の改正準備の背景をハリ・サバルノ内相が語ったインタビュー記事。

1 2 9

Mario Viegas Carrascalao – “Saya bukan

penghianat”. (Wawancara) Tempo 30(29) Sept. 23, 2001: p.38-40, 42

元東ティモール州知事(1982-92)に聞く。住民投票の結果や分離独立の背景を語る。

1 3 0

Jacob Tobing – “Ide itu sebenarnya dari DPP PDIP sendiri”. (Wawancara) Forum keadilan 10(25) Sept. 23, 2001: p.72-75

来る国民協議会(MPR)年次会議での憲法委員会(Komisi Konstitusi)設立の動議をMPR特別委員会委員長はどうみるか。

1 3 1

Seruan jihad setengah nada. (Laporan utama) Tempo 30(31) Oct. 7, 2001: p.20-26

アメリカのアフガニスタン空爆を非難し、参戦を呼びかけるイスラム諸団体。登録所も開設。米国国旗が燃やされ、多数の米国人が出国。

1 3 2

Hassan Wirajuda – “Indonesia yang stabil dan makmur termasuk kepentingan Amerika Serikat”. (Wawancara) Tempo 30(31) Oct. 7, 2001: p.38-40, 42

ハッサン・ウィラユダ外相が米伊関係、アチェ情勢について語ったインタビュー記事。

1 3 3

CIA terlibat pembantaian PKI 1965? – sebuah daftar di balik banjir darah. (iQra) Tempo 30(31) Oct. 7, 2001: p.67-70, 73, 76-78, 80, 82-83

9.30 事件後のレッドページにCIAが関与？スカルノからスハルトへの政権交代にフォード財団も関与？CIA文書と関係者の声。

1 3 4

Kembang gula dari Paman Sam – menanggung janji pasca tragedi. (Forum utama) Forum keadilan 10(27) Oct. 7, 2001: p.11-21

約10億米ドルの援助を引き出したメガワティの米国訪問。テロ対策でイスラム諸国の支持を得る政策の一環か。米・伊関係を回顧する。

1 3 5

Munir – “Sebenarnya AS pelopor pelanggaran HAM”. (Wawancara) Forum keadilan 10(27) Oct. 7, 2001: p.62-66

米国同時多発テロは同国民が負うべき当然の結果とみる一人権活動家へのインタビュー。

1 3 6

Harold Crouch – “Mega bertahan bila tidak ada bencana politik”. (Wawancara) Tempo 30(32) Oct. 14, 2001: p.42-44, 46

オーストラリア国立大学のインドネシア政治研究家がメガワティ政権の100日を評価。

1 3 7

Permadi – “Ada rivalitas dalam mencari rezeki”. (Wawancara) Forum keadilan 10(28) Oct. 14, 2001: p.62-66

マディウンで起こった軍・警察間の衝突事件を闘争民主党所属の一国会議員はどうみるか。

1 3 8

Rp. 40M – untuk pangan atau Golkar? (Laporan utama) Tempo 30(33) Oct. 21, 2001: p.20-27

ラハルディ元食糧調達庁長官が不正流用した400億ルピアはゴルカル党の政治資金目的? アクバル・ゴルカル党党首に聞く。

1 3 9

Kiai Haji A. Mustofa Bisri – “AS introspeksi, atau dilawan orang lemah sedunia”. (Wawancara) Tempo 30(33) Oct. 21, 2001: p.42-44, 46

アメリカのアフガン攻撃にイスラム教徒はどう対応すべきか。著名なウラマに聞く。

1 4 0

Politik luar negeri Indonesia – serangan itu berbelok ke arah Mega. (Forum utama) Forum keadilan 10(29) Oct. 21, 2001: p.11-22

米英によるアフガニスタンへの報復攻撃に対するインドネシア政府の発言に批判デモ。違憲と主張する人々の見解を収録。

1 4 1

Harry Tjan Silalahi – “Kalau kita

memutuskan hubungan, bantuan tak akan masuk”. (Wawancara) Forum keadilan 10(29) Oct. 21, 2001: p.70-74

戦略国際問題研究所(CSIS)の創立者の一人が現政権、米伊関係、CSISを語る。

1 4 2

Pengakuan Rahardi Ramelan soal dana Bulog Rp. 40 miliar – uang itu diterima Akbar. (Laporan utama) Tempo 30(34) Oct. 28, 2001: p.20-26

食糧調達庁基金400億ルピアを直接受領したのはアクバル・タンジュン・ゴルカル党党首と判明。ゴルカル党は解党の危機に直面。

1 4 3

Duta Besar Palestina, Ribhi Awad – “Terorisme seperti anak nakal yang mencari perhatian”. (Wawancara) Tempo 30(34) Oct. 28, 2001: p.40-42, 44

駐イ・パレスチナ大使に中東のテロとインドネシアの対米抗議デモに関しインタビュー。

1 4 4

Otonomi kikuk atau rebutan sumber dana? (Aksara) Tempo 30(34) Oct. 28, 2001: p.49-52, 54, 56-62, 64, 66-67

中央政府は権限移譲された368の県をどう統制するか。識者たちの論考を収録。

1 4 5

Rachmawati Soekarnoputri – “Saya sangat pesimistis”. (Wawancara) Forum keadilan 10(30) Oct. 28, 2001: p.70-75

アフガニスタン空爆へのメガワティの批判で国民が溜飲を下げる中、姉に悲観的な実妹。

1 4 6

Bom waktu Bulog – Akbar di bawah lindungan Megawati? (Laporan utama) Tempo 30(35) Nov. 4, 2001: p.20-28

食糧調達庁基金400億はアクバルの手から誰に渡ったか。数名のゴルカル党幹部が浮上。

1 4 7

Ralph L. Boyce – “Kami lega, Indonesia mendukung perlawanan terhadap terorisme”. (Wawancara) Tempo 30(35)

Nov. 4, 2001: p.42-44, 46

ボイス駐イ・米国大使が米・イ関係を語る。

1 4 8

Menebak arah perombakan konstitusi.  
(Forum utama) Forum keadilan 10(31)  
Nov. 4, 2001: p.11-26

国民協議会(MPR)で議論される憲法改正の  
要点と三権の機能の変化を整理。NGOはMPR  
外の憲法委員会での改正案作成を希望。

1 4 9

Amien Rais – “Mega mewarisi pekerjaan  
rumah kelewat berat”. (Wawancara)  
Forum keadilan 10(31) Nov. 4, 2001:  
p.74-78

メガワティ政権の最初の 100 日をアミン・  
ライス国民協議会議長が評価。

1 5 0

Menjegal politisi masuk birokrasi.  
(Nasional) Forum keadilan 10(31) Nov. 4,  
2001: p.80-84

メガワティ政権の官僚制改革への反響。

1 5 1

Siapa mau syariat Islam – gunakan politik  
garam, jangan gincu atau bendera.  
(Laporan utama) Tempo 30(36) Nov. 11,  
2001: p.20-26

ジャカルタ憲章に記された 7 語の復活をも  
とめるイスラム系 2 政党。1945 年以降の憲法  
前文をめぐる歴史と識者 6 名の見解。

1 5 2

Syafi'i Ma'arif – “Banyak kelompok lebih  
tertarik ke simbol, bukan substansi”.  
(Wawancara) Tempo 30(36) Nov. 11,  
2001: p.52-54, 56

ムハマディヤ議長が 9.11 後のインドネシア  
のイスラム過激派グループの行動を批判。

1 5 3

Kaster dihapus – resiko jadi tentara  
memang tak dipilih. (Forum utama)  
Forum keadilan 10(32) Nov. 11, 2001:  
p.11-24

国会内国軍・警察議席の廃止検討が本格化。

「改革」時代の国軍と警察の方向性を探る。

1 5 4

Letjen TNI Agus Widjojo – “Tolong diberikan  
kewenangan yang tegas kepada TNI”.  
(Wawancara) Forum keadilan 10(32) Nov.  
11, 2001: p.74-78

廃止された国軍領域参謀長(Kaster)職から  
国会議員に抜擢されたアグス・ウィジョヨ陸  
軍中將へのインタビュー記事。

1 5 5

Sidang tahunan MPR – pesta mahal yang  
nyaris sia-sia. (Nasional) Tempo 30(37)  
Nov. 18, 2001: p.23-26

国民協議会年次会議で決議を見送られた憲  
法の改正条文案。目立つ闘争民主党内の不統一。

1 5 6

Zainuddin M. Z. – “Saya akan  
mengomandani PPP reformasi”.  
(Wawancara) Tempo 30(37) Nov. 18,  
2001: p.42-44, 46

分裂色が濃くなった開発統一党の著名な導  
師が「改革」政党設立の意向を表明。

1 5 7

Pemerintah Indonesia dikerjai oleh Amerika  
Serikat – perintah PBB yang merepotkan.  
(Forum utama) Forum keadilan 10(33)  
Nov. 18, 2001: p.11-23

テロ集団の資産と銀行口座の凍結を決めた  
国連決議へのイスラム団体の反応。反テロ法の  
作成状況をユスリル法務・人権相に聞く。

1 5 8

A.M. Hendropriyono – “Kita harus bekerja  
sama dengan Amerika”. (Wawancara)  
Forum keadilan 10(33) Nov. 18, 2001:  
p.74-79

国家情報庁長官がテロ、米イ関係、他を語る。

1 5 9

Kuitansi yang makin menyulitkan Akbar.  
(Laporan utama) Tempo 30(38) Nov. 25,  
2001: p.20-27

食糧調達庁基金の不正流用疑惑事件で、ゴル  
カル党幹部たちが署名した領収書を発見。

1 6 0

Setelah Theys bertemu di Kopassus Tribuana. (Nasional) Tempo 30(38) Nov. 25, 2001: p.28-30, 32-34

殺害されたパプア幹部評議会議長ティス・エルアイ。陸軍特殊部隊が関与？死の1月前に行われたテンボ誌の氏へのインタビュー収録。

1 6 1

Paul Wolfowitz – “Aksi teror di Indonesia disusupi Al-Qaidah”. (Wawancara) Tempo 30(38) Nov. 25, 2001: p.44-46, 48  
ウオルフォウィッツ米国防副長官にテロ対策における米伊協力関係のあり方を聞く。

1 6 2

Z. A. Maulani – “Saya tidak yakin Osama sebodoh itu”. (Wawancara) Forum keadilan 10(34) Nov. 25, 2001: p.74-77  
元国家情報調整庁長官が米国のアフガン攻撃、国内情報機関、他を語る。

1 6 3

Akbar terpojok, siapa senang. (Laporan utama) Tempo 30(39) Dec. 2, 2001: p.20-22, 24-25  
400億ルピアの小切手受領に関わるアクバル・ゴルカル党党首の数々の発言を点検する。党首の運命は与党闘争民主党の手の中に？

1 6 4

Thom Beanal – “Kami tetap mau jalan damai”. (Wawancara) Tempo 30(39) Dec. 2, 2001: p.44-46, 48  
議長を殺害されたパプア幹部評議会副議長へのインタビュー。数千名が50キロの葬礼の列に徒歩で参加。むしろ独立への熱が高まると予測。

1 6 5

Arifin Panigoro – “Masa, PDIP dikasih uang oleh Golkar?” (Wawancara) Forum keadilan 10(35) Dec. 2, 2001: p.74-78  
闘争民主党副党首の座からおりたアリフィン・パニゴロ議員へのインタビュー。

1 6 6

R. Hartono – “Apakah ada orde yang lebih baik dari Orba?” (Wawancara) Forum keadilan 10(36) Dec. 9, 2001: p. 74-77  
断食明けに新党設立発表を行うハルトノ元陸軍参謀長。『新秩序』以上の体制はない。

1 6 7

Muhammad Yunus Yosfiah – “Saya ingin jadi pemain”. (Wawancara) Tempo 30(41) Dec. 16, 2001: p.38-40, 42  
国軍会派代表から開発統一党に入党した退役将校にイスラム法適用に関しインタビュー。

1 6 8

Bacharuddin Jusuf Habibie – “Saya harap kasus Bulog diselesaikan tuntas”. (Wawancara) Tempo 30(43) Dec. 30, 2001: p.38-40, 42  
ハビビ元大統領が任期中の諸政策や食糧調達庁関連汚職事件について語る。

## 2002年（政治）

169

Nestapa konstitusi kita. (Aksara) Tempo 30(44) Jan. 6, 2002: p.49-63

日本軍政期末期に作成され、多くの欠陥を持つ1945年憲法。その問題点を掘り下げる。

170

Tahun teror, korupsi, dan ketakutan. (Laporan khusus) Tempo 30(44) Jan. 6, 2002: p.68-91

政権交代、テロ、汚職、種族間抗争で明け暮れた2001年の政治事件を写真で振り返る。

171

Mr. Presiden? – jika suami tak sekadar suami. (Laporan utama) Tempo 30(45) Jan. 13, 2002: p.20-25

国事への干渉が目立つメガワティの夫で国会議員のトーフック・キマス。数名の大臣を連れて中国訪問した理由は何か。

172

Haji Moehammad Noer – “Orang Madura harus menghargai orang Dayak”. (Wawancara) Tempo 30(45) Jan. 13, 2002: p.38-41

元東ジャワ州知事へのインタビュー。マドワラ＝ダヤック間の種族抗争を語る。

173

Tragedi santet Banyuwangi – menguji bukti baru. (Investigasi) Tempo 30(45) Jan. 13, 2002: p.53-56, 60-65

1998年にバニユワンギで起こった呪術師連続殺害事件の真相を探る。動機、テロ行動、社会的背景、残された犠牲者たちの家族。

174

Partai Golkar-PDI Perjuangan – pecah kongsi. (Laporan utama) Tempo 30(46) Jan. 20, 2002: p.20-29

ゴルカル党が5つの政府政策を徹底批判。開発統一党と月星党はなぜアクバル・ゴルカル党党首を擁護？党首の汚職疑惑解明は可能？

175

Sabam Sirait – “Saya sering ditertawakan, tapi terbukti saya benar”. (Wawancara) Tempo 30(46) Jan. 20, 2002: p.46-49

1986年に民主党を脱党したサバム・シライトが自らの政治闘争の足跡を振り返る。

176

Poso dan pergolakan politik. (Fokus) Forum keadilan 10(40) Jan. 20, 2002: p.37-52

マリノでの合意にこぎ着けたボソ紛争。その犠牲と傷跡を写真で振り返る。

177

K. H. Zainuddin MZ – “Inilah saat terberat dalam hidup saya”. (Wawancara) Forum keadilan 10(40) Jan. 20, 2002: p.74-78

中央執行部に失望して開発統一党を抜け、新党設立を目指す著名イスラム説法師に聞く。

178

Jurus matador Akbar – mesin cuci uang bermerek Raudatul Jannah? (Laporan utama) Tempo 30(47) Jan. 27, 2002: p.20-24

ゴルカル党政治資金のマネーロンダリングを行ってきた疑いがかかるRJ財団。大統領はゴルカル党と政治的妥協の道を模索。

179

Kiai Haji Maksum Djauhari – “Saya tetap menginginkan islah”. (Wawancara) Tempo 30(47) Jan. 27, 2002: p.40-43

ナフダトゥール・ウラマの長老キヤイが独自に民族覚醒党の内紛を分析したインタビュー。

180

Ir. Akbar Tandjung – “Saya merasa terpukul, terhina...”. (Wawancara) Forum keadilan 10(41) Jan. 27, 2002: p. 72-77

食糧調達庁関連汚職事件の容疑者となったゴルカル党党首アクバル・タンジュンに聞く。

181

Dia yang dituduh Al-Qaidah – Al-Qaidah “made” in Madiun? (Laporan utama) Tempo 30(48) Feb. 3, 2002: p.20-27

1トンの爆薬を所持したとしてフィリピン

で逮捕されたマディウン出身のアルゴジとは何者か。アブ・バカル・バアシルとの接点。

1 8 2

Teungku Syafii'e tewas, diplomasi meredup? (Nasional) Tempo 30(48) Feb. 3, 2002: p.28-31

アチェ分離独立派のシャフィイ司令官を国軍が射殺。新司令官はムザキール・マナフに。アチェの2001年の暴力事件は前年比倍増。

1 8 3

Sophan Sophiaan – “Saya sangat kecewa”. (Wawancara) Forum keadilan 10(42) Feb. 3, 2002: p.72-76

議会に失望し議員辞職した元闘争民主党派国民協議会副議長へのインタビュー。

1 8 4

Tewasnya Panglima AGAM – jurus maut meredam separatisme. (Nasional) Forum keadilan 10(42) Feb. 3, 2002: p.78-83

アチェ分離独立派司令官アブドゥラ・シャフィイと妻、ならびに5人の警護人を陸軍戦略予備軍が射殺。今後のアチェ情勢を展望。

1 8 5

Haryanto Taslam – “Saya jadi cemas terhadap PDIP”. (Wawancara) Forum keadilan 10(43) Feb. 10, 2002: p.72-76

党内の指導力に失望した闘争民主党の一角員へのインタビュー記事。

1 8 6

Perpecahan di PDIP – karena Mega tak bisa mengelola api. (Forum utama) Forum keadilan 10(44) Feb. 17, 2002: p.11-25

闘争民主党内の内紛をルポ。支部レベルでの党員の不満を背景に起こった事件をリスト化。

1 8 7

Tim Jibril, Al-Qaidah dari Solo? (Laporan utama) Tempo 30(51) Feb. 24, 2002: p.20-30

インドネシア人テロリストがねらう標的を記した文書(ストレーツタイムズ掲載)は本物か。アルゴジの足跡(1989~2002年)を追う。

1 8 8

Birokrasi Sangkuni – keranjang sampah sarang tikus. (Forum utama) Forum keadilan 10(45) Feb. 24, 2002: p.11-23

インドネシアの官僚制の問題点は何か。古代王朝期、蘭・日植民地期との特質の違い。

1 8 9

Jenderal Polisi (purn.) Roesmanhadi – “Yang diperiksa jangan aparat keamanan saja”. (Wawancara) Forum keadilan 10(45) Feb. 24, 2002: p.68-72

トリサクティ大、スマンギ交差点での学生射殺事件調査で人権侵害調査委員会の召喚を拒否する当時の警察長官へのインタビュー。

1 9 0

TNI menguji sipil – menggoda publik dengan jenderal bermasalah. (Forum utama) Forum keadilan 10(46) Mar. 3, 2002: p.11-23

ジャカルタ暴動の責任を問われながら、国軍スポークスマン(広報センター部長)に就任したシャフリー陸軍少将への賛否両論。

1 9 1

Ulah Lee yang membikin gerah – kemesraan itu tinggal kenangan. (Nasional) Forum keadilan 10(46) Mar. 3, 2002: p.68-71

インドネシアのテロ対策の甘さを批判したリー・クアン・ユー上級相への抗議行動が発生。

1 9 2

K. H. Hasyim Muzadi – “Mereka masuk lewat Filipina, terus ke Maluku”. (Wawancara) Forum keadilan 10(46) Mar. 3, 2002: p.72-75

米国に招かれたナフダトゥール・ウラマ(NU)総裁に米軍の動き、NUと政治、等を聞く。

1 9 3

Suhardiman – “Agar Golkar selamat, Akbar Tandjung harus diselamatkan”. (Wawancara) Tempo 31(1) Mar. 10, 2002: p.36-38, 40

ゴルカル設立者の一人スハルディマンへの

インタビュー。ゴルカル党救済チーム結成へ。

194

Bentrokkan peradaban atau benturan kepentingan? (Aksara) Tempo 31(1) Mar. 10, 2002: p.77-80, 82-91

ハンティントンの『文明の衝突』はインドネシアのイスラム知識人・活動家にどのように読まれたか。

195

Greg Barton – “Gus Dur salah berhitung”. (Wawancara) Forum keadilan 10(47) Mar. 10, 2002: p.72-76

ワヒド前大統領が自ら検定した伝記を出版したモナッシュ大インドネシア研究者に聞く。

196

Akbar Tandjung ditahan – siapa menang? (Laporan utama) Tempo 31(2) Mar. 17, 2002: p.20-27

アクバル・ゴルカル党党首を最高検が拘禁。党員の反応を追う。汚職疑惑のクロノロジー。

197

Petualangan politik seorang jenderal Godean. (iQra) Tempo 31(2) Mar. 17, 2002: p.59-65, [68]-71

スハルトの評伝をオーストラリアの研究者が出版。スハルトの口述をまとめた本との違いは何か。著者へのインタビュー収録。

198

Agung Laksono – “Kok, mereka tega benar”. (Wawancara) Forum keadilan 10(48) Mar. 17, 2002: p.66-69

検察庁に拘禁されたアクバル・ゴルカル党党主とその措置を同党副党首はどうみるか。

199

Ketika Golkar ditinggalkan sahabat-sahabatnya. (Nasional) Forum keadilan 10(48) Mar. 17, 2002: p.70-75

アクバル・ゴルカル党党首の拘禁がもたらす政治勢力間の連携組合せの変化。

200

Skandal Bulog II – kasus Bulog tanpa

pansus. (Nasional) Tempo 31(3) Mar. 24, 2002: p.20-23

食糧調達庁基金汚職疑惑特別委員会を設置されるか。10会派の賛否を占う。

201

Mayjen Sjafrie Sjamsoeddin – “Tugas saya menjelaskan, bukan berkomentar”. (Wawancara) Tempo 31(3) Mar. 24, 2002: p.36-38, 40

シャフリー国軍新広報センター部長に1998年ジャカルタ五月暴動に関しインタビュー。

202

Benalu-benalu Bulog – Gus Dur mulai membalas. (Forum utama) Forum keadilan 10(49) Mar. 24, 2002: p.11-23

食糧調達庁汚職事件でワヒド前大統領が不正流用に関わったとする高官名を明らかに。ラハルディ・ラムラン時代の高額出金リスト。

203

Suhardiman – “Akan terjadi *to kill or to be killed*”. (Wawancara) Forum keadilan 10(49) Mar. 24, 2002: p.70-74

ゴルカル創立に関わった長老政治家が食糧調達庁関連汚職事件とメガワティ政権を語る。

204

Dituduh teroris – Al-qaidah dari Makassar, katanya. (Nasional) Tempo 31(4) Mar. 31, 2002: p.30-33

爆発物を持ち込んだ疑いでフィリピン国家警察に逮捕された南スラウェシ出身の実業家。テロ組織とつながる可能性は？

205

Roy B. B. Janis – “Bagaimana mungkin, PDIP dikasih uang oleh Golkar?”. Forum keadilan 10(50) Mar. 31, 2002: p.72-75

国会内に食糧調達庁関連汚職の特別調査委員会を設立する計画が延期に。その背景を国会闘争民主党会派代表に聞く。

206

Jenderal bersaing, Theys mati di tengah. Tempo 31(5) Apr. 7, 2002: p.24-31

カネと政治的影響力の奪い合いがパプア独



立活動家殺害の出発点か？一退役将校が特殊部隊隊員に指示した疑いが浮上。

207

Letjen TNI Ryamizard Ryacudu – “Saya bukan Palembangisme”. (Wawancara) Tempo 31(5) Apr. 7, 2002: p.40-45  
陸軍戦略予備軍司令官へのインタビュー。エンドリアルトノの国軍司令官昇格の可能性をどうみるか。

208

Pasal-pasal lemah untuk Akbar. (Forum utama) Forum keadilan 10(51) Apr. 7, 2002: p.11-23  
中央ジャカルタ地裁でアクバル・ゴルカル党党首の裁判開始。政治的利害で法律がもてあそばれる可能性も。無罪放免された9名の事例。

209

Romantika bangsa belia. (Fokus) Forum keadilan 10(51) Apr. 7, 2002: p.35-52  
独立を目前にした東ティモールの苦難の歴史を振り返る。写真18葉収録。

210

A. Teras Narang – “Ada pilih kasih terhadap tersangka”. (Wawancara) Forum keadilan 10(51) Apr. 7, 2002: p.68-72  
国会第2委員会委員長が語るメガワティ政権の汚職追求姿勢、アクバル党首関連事件の背景。

211

Siapa tersengat rekayasa Manila? (Liputan khusus) Tempo 31(6) Apr. 14, 2002: p.24-31  
マニラ警察に逮捕された2人が国家情報庁の介入を指摘。米国旦那のため？アミン・ライス国民信託党に一撃を与えるため？

212

Nurcholish Madjid – “Ada kekagetan orang Barat terhadap Islam”. (Wawancara) Tempo 31(6) Apr. 14, 2002: p.42-44, 46  
ヌルホリシュ・パラマディナ大学学長に米国のイスラムに対する姿勢を聞く。

213

Menggugat amandemen UUD 1945 – gerakan melawan arus demokratisasi di MPR. (Forum utama) Forum keadilan 10(52) Apr. 14, 2002: p.11-23  
国民協議会議員約200名が憲法改正、大統領直接選挙、地方代表議会設立に反対し連携。アミン・ライス国民協議会議長の対応は？

214

Akbar Tandjung – “Saya ingin rekonsiliasi”. (Wawancara) Forum keadilan 10(52) Apr. 14, 2002: p.72-75  
最高検での29日間の拘禁を解かれたアクバル・ゴルカル党党首へのインタビュー。

215

Mengapa Kopassus ‘tersesat’ – komando tersesat di pusaran konflik. (Laporan utama) Tempo 31(7) Apr. 21, 2002: p.24-35  
光と闇が交錯する陸軍特殊部隊の歴史を振り返る。1958年以降の司令官たちの足跡。

216

Koesparmono Irsan – “Semua sudah terungkap.” (Wawancara) Tempo 31(7) Apr. 21, 2002: p.44-46, 48  
パプア独立活動家殺害事件関係国家調査委員会議長に事件調査の現状を聞く。

217

Moeng Parhadimoeljo – “Jika salah, anak buah dan komandan harus dihukum.” (Wawancara) Tempo 31(8) Apr. 28, 2002: p.44-46, 48  
1958～65年に陸軍特殊部隊司令官を務めた退役少将に聞く。拉致、暴行で名を下げた部隊をどう変えるか。

218

Akbar kembali di simpang dusta. (Laporan utama) Tempo 31(9) May 5, 2002: p.108-116  
食糧調達庁基金関連汚職の裁判でアクバル・ゴルカル党党首の嘘が明るみに。グラン・マハカム・ホテルの会合で何がなされたか。

2 1 9

Permainan kian berdarah di Ambon.  
(Nasional) Tempo 31(10) May 12, 2002:  
p.24-27

アンボン島ソヤ村が襲撃され、30 棟の建物が炎上し、12 人が死亡。背景に分離独立？

2 2 0

Ada uang di balik amendemen UUD –  
tangan asing di pentas demokrasi. (Forum  
utama) Forum keadilan 11(4) May 12,  
2002: p.11-23

海外から資金を得、45 年憲法改正を促している  
と批判される NGO 連合体。国民協議会内の  
委員会にも同様の嫌疑が。

2 2 1

Hamid Awaludin – “Informasi itu dari  
Spanyol dan Singapura.” (Wawancara)  
Forum keadilan 11(4) May 12, 2002:  
p.82-86

ボソ紛争終結条約の編纂に大きく関わった  
ハサヌディン大学講師へのインタビュー。

2 2 2

Untuk apa dia ditangkap? – setelah Bang  
Haji dikecewakan Mega (Laporan utama)  
Tempo 31(11) May 19, 2002: p.24-33

警察に拘禁中のイスラム急進派の指導者を  
副大統領が訪問。正副大統領間に亀裂？なぜア  
ンボン島のムスリムたちはラスカル・ジハード  
を歓迎するのか。同島での足跡をたどる。

2 2 3

Undang-undang anti teroris – pasal karet  
RUU “pesanan” Amerika. (Forum utama)  
Forum keadilan 11(5) May 19, 2002:  
p.11-23

6 月半ばに国会上程予定の反テロ法の草案  
を読み解く。圧力をかけた米国の反テロ法との  
違いは何か。反政府活動取締に使われる懸念も。

2 2 4

Karena manusia tidaklah sama. (Fokus)  
Forum keadilan 11(5) May 19, 2002:  
p.41-53

スハルト政権崩壊から 4 年経過し、「開かれ  
た社会」とは何かを考える。

2 2 5

Salahuddin Wahid – “Pilihan bagi NU:  
kerjasama atau kalah bersama.”  
(Wawancara) Forum keadilan 11(5) May  
19, 2002: p.90-94

中央執行部が 2 つに分裂した民族覚醒党。ワ  
ヒド前大統領の実弟へのインタビュー。

2 2 6

K. H. Mohammad Cholil Bisri – “Ada  
kepentingan yang solid dari  
masing-masing kubu.” (Wawancara)  
Forum keadilan 11(6) May 26, 2002:  
p.90-94

ナフダトゥール・ウラマ(NU)の一長老に NU  
と民族覚醒党の関係、同党内の確執を聞く。

2 2 7

Kaukus Islam menggodanya Mega. (Nasional)  
Tempo 31(13) June 2, 2002: p.30-33

アミン・ライス国民協議会議長を中心に頻繁  
に開催されるムスリム政治家たちの非公式会  
合。不安を募らせるメガワティ陣営。

2 2 8

Hamzah Haz – “Kami diisukan pecah  
kongsi.” (Wawancara) Tempo 31(13)  
June 2, 2002: p.40-42, 44

ハムザ・ハズ副大統領にイスラム急進派代表  
を訪ねた背景、開発統一党党内問題、等を聞く。

2 2 9

Mari Alkatiri – “Saya bukan anti-Indonesia”.  
(Wawancara) Tempo 31(14) June 9,  
2002: p.38-40, 42

東ティモール＝インドネシア関係の将来を  
同国首相マリ・アルカティリに聞く。

2 3 0

Adi Sasono – “Lebih baik kita menjawab  
isu-isu besar kebangsaan”. (Wawancara)  
Forum keadilan 11(8) June 9, 2002:  
p.80-84

最近相次ぐ全インドネシア・ムスリム知識人  
協会有力者の会合。同協会副会長に聞く。

2 3 1

Jurus baru membabat para desertir.  
(Laporan utama) Tempo 31(15) June 16,  
2002: p. 24-32

マルク紛争の解決に不可欠な軍・警察の離脱  
者への対処。兵力を分析した表と事件簿を収録。

2 3 2

Adnan Buyung Nasution – “Proses  
amandemen sudah salah dari awal.”  
(Wawancara) Forum keadilan 11(9) June  
16, 2002: p.70-74

法律擁護協会設立者の一人が 3 回実施され  
た憲法改正を批判したインタビュー記事。

2 3 3

Perdebatan RUU politik – aturan bertarung  
gaya pemerintah. (Nasional) Forum  
keadilan 11(9) June 16, 2002: p.85-89

国会によりやく上程された改正政治 2 法(総  
選挙法、政党法)。法案草稿の抜粋を収録。

2 3 4

Jusuf Kalla – “Kami tak berebut bola”.  
(Wawancara) Tempo 31(16) June 23,  
2002: p.40-42, 44

ユスフ・カラ福祉担当調整相がアンボン紛争  
の解決法とムスリム政治家会合を語る。

2 3 5

Pemilihan gubernur DKI Jakarta – cukup  
sudah, Bang Yos. (Nasional) Tempo  
31(17) June 30, 2002: p.24-30, 32

ステイヨソ・ジャカルタ首都特別州知事の  
12 の失政を点検する。大統領も再選を支持？

2 3 6

Ali Sadikin – “Saya merasa dikhianati”.  
(Wawancara) Tempo 31(17) June 30,  
2002: p.42-44, 46

アリ・サディキン元ジャカルタ首都特別州知  
事が過去の施策を回顧したインタビュー記事。

2 3 7

Hatta dan amendemen konstitusi. (Fokus)  
Forum keadilan 11(11) June 30, 2002:  
p.47-59

モハマッド・ハッタ生誕 100 周年記念日を  
前に、故人が 1945 年憲法編纂に果たした役割

を検証。写真 13 葉収録。

2 3 8

Agus Widjojo – “MPR tidak boleh terlalu  
kuat”. (Wawancara) Forum keadilan  
11(11) June 30, 2002: p.72-76

国軍・警察への選挙権付与問題をアグス・ウ  
イジョヨ国軍・警察会派 MPR 議員に聞く。

2 3 9

Ada apa dengan Taufiq dan Kesowo.  
(Nasional) Tempo 31(18) July 7, 2002:  
p.32-35

国家官房内で影響力の拡大を競う大統領の  
夫トーフック・キマスと現国家官房長官。前  
者へのインタビュー収録。

2 4 0

Bambang Kesowo – “Ada yang ngomong, ini  
kemenangan Taufiq”. (Wawancara)  
Tempo 31(18) July 7, 2002: p.36-38, 40

大統領援助資金、国家官房の構造改革、等を  
国家官房長官に聞く。

2 4 1

Suara siswa tentang demokrasi. (Fokus)  
Forum keadilan 11(12) July 7, 2002:  
p.49-53

政治に対し冷淡な若者たち。高校生 402 人  
を対象に実施したアンケート調査結果。

2 4 2

Gustaf Dupe – “Ini diskriminasi yang sangat  
tidak beradab”. (Wawancara) Forum  
keadilan 11(12) July 7, 2002: p.72-76

政治犯解放を訴える一 NGO 団体の代表に  
インドネシアの現状を聞く。

2 4 3

Di bawah naungan beringin – kalau banteng  
tak mau peduli. (Laporan utama) Tempo  
31(19) July 14, 2002: p.24-28, 30-34

食糧調達庁基金関連汚職疑惑事件の特別調  
査委員会を結局設置できなかった国会。闘争民  
主党とゴルカル党間で裏取引？

2 4 4

Muhammad Cholil Bisri – “Janganlah

Megawati dipilih lagi”. (Wawancara)  
Tempo 31(19) July 14, 2002: p.42-44, 46  
民族覚醒党所属の国民協議会副議長がメガワティ大統領への失望感を表明。

2 4 5  
Dua “gajah”, satu agenda. (Nasional)  
Forum keadilan 11(13) July 14, 2002: p.86-89

ゴルカル党と闘争民主党の反対で中止となった食糧調達庁関連汚職調査特別委員会の設立。国会闘争民主党会派代表に聞く。

2 4 6  
Apa yang kau bisikkan, Theo? (Laporan utama) Tempo 31(20) July 21, 2002: p.24-32

国会ロビイストでメガワティ大統領の政治的決断に最も影響力をもつといわれるテオ・シヤフェイ退役少将の6年の歩みを点検。

2 4 7  
Awat bahaya kuning! – banteng bebal tercocok beringin? (Laporan utama) Tempo 31(21) July 28, 2002: p.24-28, 30-33  
闘争民主党幹部に浸透する元ゴルカル党员。各州、各政党の執行部メンバーの出自・経歴の調査結果。

2 4 8  
Indira Damayanti Sugondo – “DPR sudah jadi lembaga mahakuasa”. (Wawancara) Tempo 31(21) July 28, 2002: p.38-40, 42  
党の政策に反対し、議員辞職した闘争民主党元議員へのインタビュー。

2 4 9  
Setumpuk buku, 30 tahun yang lalu. (iQra) Tempo 31(21) July 28, 2002: p.63-66, 69, 72-77

『暫定国民協議会(1966～1972年)報告』はなぜ焼却されたか。スハルトとナスティオンの対立の陰に隠された多くの犠牲者と証言者。

2 5 0  
Syariat Islam – solusi krisis bangsa. (Pariwara) Forum keadilan 11(15) July 28, 2002: p.44-47

イスラム法の適用で諸問題は解決するか。月星党党首および幹事長の見解を収録。

2 5 1  
Jeffray Winters – “Banyak kalangan menghendaki revolusi”. (Wawancara) Forum keadilan 11(15) July 28, 2002: p.72-76

メガワティ大統領を侮辱したとして警察に逮捕するよう要求した一闘争民主党議員。訴えられた米国のインドネシア研究家に聞く。

2 5 2  
Jacob Nuwa Wea – “Serasa mayat itu ada di depan kami.” (Wawancara) Tempo 31(22) Aug. 4, 2002: p.44-46, 48

労働力・移住大臣が1996年7月に発生した民主党本部襲撃事件の真相を語る。

2 5 3  
Ketika Megawati melupakan akar rumputnya. (Forum utama) Forum keadilan 11(16) Aug. 4, 2002: p.11-23

就任後1年が経ち、ゴルカル党や国軍とますます親密になるメガワティ大統領。スティヨソジャカルタ首都特別州知事への支持、食料調達庁汚職事件特別委員会設置の拒否も支持者を失望させる。

2 5 4  
Dua mengadang Mega? (Nasional) Forum keadilan 11(16) Aug. 4, 2002: p.86-89  
民族主義政党が次々と結党。闘争民主党の票をどの程度奪うか。一党首へのインタビュー。

2 5 5  
Bau dekrit di kandang banteng. (Laporan utama) Tempo 31(23) Aug. 11, 2002: p.24-30

憲法改正をめぐって国民協議会内の各会派の意見が分裂？各国家高等機関の位置づけはどう変わるか？

2 5 6  
Subagio Anam – “Yang terjadi sekarang ini sama seperti pada 1946,” (Wawancara) Forum keadilan 11(17) Aug. 11, 2002: p.72-76

長老政治家が闘争民主党の直面する問題を語る。現在が 1946 年の状況に似ている理由。

2 5 7

Amien Rais – “Kans saya menjadi presiden lebih besar.” (Wawancara) Tempo 31(25) Aug. 25, 2002: p.42-44, 46

アミン・ライス国民協議会議長が第 4 次憲法改正の焦点と 2004 年総選挙を語る。

2 5 8

Ketua Perhimpunan Indonesia Baru – “Simpel saja, kalahkan Megawati tahun 2004.” (Wawancara) Forum keadilan 11(20) Sept. 1, 2002: p.70-76

新党を結成した経済学者へのインタビュー。

2 5 9

Rekayasa terakhir menjelang vonis. (Laporan utama) Tempo 31(27) Sept. 8, 2002: p.24-37

ジャカルタ高裁は食料調達庁財団関連収賄疑惑でアクバルにどのような判決を下すか？アクバルのゴルカル党内の地位はより強固に。

2 6 0

Agus Budiman – “Rumah saya dikira tempat pembajak berkumpul.” (Wawancara) Tempo 31(27) Sept. 8, 2002: p.42-44, 46

9.11 同時多発テロで犯人グループと繋がる人物として拘禁、取調を米国当局から受けたインドネシア人へのインタビュー記事。

2 6 1

Goyangan Akbar di Senayan. (Laporan utama) Tempo 31(28) Sept. 15, 2002: p.26-34

3 年の刑を言い渡されたものの、すぐさま上告をしたアクバル。ゴルカル内はアクバル支持派と追い落としを画策する派とに分裂？

2 6 2

Ke Jakarta, Sutiyoso kembali. (Investigasi) Tempo 31(28) Sept. 15, 2002: p.63-66, 68, 70-74, 76-77

大政党の支持を集め、再選が確実視されるスティヨソ・ジャカルタ首都特別州知事。過去の

州知事たちと比べた失政の多寡。

2 6 3

Setelah pak hakim ditelepon. (Hukum) Forum keadilan 11(22) Sept. 15, 2002: p.24-27

アクバル・タンジュン・ゴルカル党党首の刑が検察側の求刑より 1 年多かったのはなぜか。

2 6 4

Rachmawati Soekarnoputri – “Harus banting setir sekarang juga.” (Wawancara) Forum keadilan 11(22) Sept. 15, 2002: p.68-74

新党を結成した故スカルノ大統領の娘ラフマワティへのインタビュー記事。

2 6 5

Jalan pedang bagi Sutiyoso. (Laporan utama) Tempo 31(29) Sept. 22, 2002: p.26-31

ジャカルタ首都特別州知事選でスティヨソが再選。闘争民主党との取引内容は？反対派のデモには放水車で対抗。

2 6 6

Tosari Widjaja – “Saya yang investasi, saya yang tanggung jawab.” (Wawancara) Tempo 31(29) Sept. 22, 2002: p.44-46, 48

政党の投資資金が焦げ付いた QSAR 社。同社のコンサルタントを務める開発統一党古参党员へのインタビュー記事。

2 6 7

Indonesia: sarang baru Al-Qaidah? (Laporan utama) Tempo 31(30) Sept. 29, 2002: p.28-32, 34-36, 38-39

米国 CIA のレポートがアル・カーイダの手先として活動する複数のインドネシア人を掲載。インドネシアはテロリストたちの巢窟？

2 6 8

Abu Bakar Ba'asyir – “Saya tak kenal Umar Al-Faruq.” (Wawancara) Tempo 31(30) Sept. 29, 2002: p.50-52, 54

米国にテロリストと名指しされるアブ・バカル・バアシルへのインタビュー記事。

269

Abdullah Puteh – “Orang Aceh itu seperti orang Jawa.” (Wawancara) Forum keadilan 11(24) Sept. 29, 2002: p. 72-76  
多くの NGO 団体が辞職を要求するアチェ州知事へのインタビュー。

270

Dewan Persuapan Rakyat – tak putus dirundung suap. (Laporan utama) Tempo 31(31) Oct. 6, 2002: p.28-34  
収賄で肥え太る国会議員たち。決裁文書への署名は現金入りの封筒をもらってから。贈賄する側の理由は何か？

271

Abdullah Hehamahua – “Anggota DPR punya banyak simpanan dolar.” (Wawancara) Tempo 31(31) Oct. 6, 2002: p.44-46, 48  
政治家や高級官僚の資産を調べる委員会の幹部が国会議員はいかに潤っているかを語る。

272

Anak jenderal menulis kisah. (iQra) Tempo 31(31) Oct. 6, 2002: p.63-66, 69-76  
9.30 事件で殺害された将校たちの子供が回顧本を出版。同事件の他の関連本も紹介。

273

PKI kembali, siapa takut? – sebuah kado yang terlambat tiba. (Forum utama) Forum keadilan 11(25) Oct. 6, 2002: p.11-22  
政府は旧インドネシア共産党政治犯の帰国を許可する意向。国会議員の反応は好意的。

274

Matori Abdul Djalil – “Terorime itu musuh Islam.” (Wawancara) Forum keadilan 11(25) Oct. 6, 2002: p.70-76  
マトリ国防相にテロと米国への対応を聞く。

275

Engelina Pattiasina – “Ada koordinator amplop komisi.” (Wawancara) Tempo 31(32) Oct. 13, 2002: p.46-48, 50  
現職の国会議員が国会議員への贈賄を語る。

276

Sepotong rahang di Gua Tikus. (Selingan) Tempo 31(32) Oct. 13, 2002: p.67-70, 72, 76, 78, 80  
インドネシア共産党党员、シンパと見なされた村民が国軍によって虐殺され埋められた洞窟をめぐる歴史と証言。

277

Menelisik sengketa baju loreng vs Bhayangkara. (Forum utama) Forum keadilan 11(26) Oct. 13, 2002: p.11-23  
北スマトラ州ビンジャイで国軍の警察襲撃事件が発生。国軍と警察の分離に起因？

278

Ade Indira Damayanti Bambang Sugondo – “Megawati tidak punya rasa kepekaan.” (Wawancara) Forum keadilan 11(26) Oct. 13, 2002: p.72-78  
元闘争民主党議員が同党を批判。メガワティ党首の感受性のなさや同党の銀行再建庁からの贈賄事件を告発。

279

Menyingkap “belang” pejabat negara -- siapa setelah Jaksa Agung. (Forum utama) Forum keadilan 11(27) Oct. 20, 2002: p.11-23  
最高検長官の豪邸所有スキャンダルの後、政府高官、議員も疑惑の対象に。その資産額は？

280

A. Teras Narang – “Menegakkan hukum harus secara revolusioner.” (Wawancara) Forum keadilan 11(27) Oct. 20, 2002: p.72-76  
テラス・ナラン国会第2委員会委員長へのインタビュー。高官や国会議員が給与に見合わない資産を持つのはなぜか。

281

Kuta Bali, 12-10-2002 – setelah nirwana terbakar. (Laporan utama) Tempo 31(34) Oct. 27, 2002: p.28-55  
バリ島クタ・ビーチ爆弾テロ事件の特集。犯人の手口を再現する。観光業とルピア・レート

に与える影響を予測。

282

Susilo Bambang Yudhoyono – “Tidak ada *warning* dari Badan Intelijen Negara untuk bom Bali.” (Wawancara) Tempo 31(34) Oct. 27, 2002: p.84-86, 88

ユドヨノ政治・社会・治安担当調整相がバリ島爆弾テロ事件への政府の対応を語る。

283

Teka-teki dari pulau Bali. (Forum utama) Forum keadilan 11(28) Oct. 27, 2002: p.11-31

バリ島爆弾テロ後、インドネシアがテロリストの巣窟との声が世界で拡大。外国の策略か？

284

Abu Bakar Ba'asyir – “Saya akan melawan.” (Wawancara) Forum keadilan 11(28) Oct. 27, 2002: p.76-80

警察長官がアブ・バカル・バアシル師の取調を発表。師へのインタビュー記事。

285

Diakah sang Imam? – jejak Ba'asyir di sungai Manggis. (Laporan utama) Tempo 31(35) Nov. 3, 2002: p.28-30, 33-50

東南アジアのテロ・ネットワーク指導者の疑惑がかかるバアシル師。その足跡をソロからマレーシアまで追う。

286

Indonesia menabur perpu, AS menuai tuduhan. (Forum utama) Forum keadilan 11(29) Nov. 3, 2002: p.12-23

普遍的な刑法原則に違うと NGO 団体が批判する反テロ 2002 年法律代行政令第 1、2 号。

287

Asal usul teroris. (Fokus) Forum keadilan 11(29) Nov. 3, 2002: p.49-61

近年のインドネシア内外のテロを紹介。

288

Riza Sihbudi – “Nanti semua orang Islam bisa dicap Al Qaeda.” (Wawancara) Forum keadilan 11(29) Nov. 3, 2002:

p.72-76

テロと米国の戦略に関し、インドネシア科学  
院所属研究者リザ・シブディ氏に聞く。

289

Menelusuri jejak Jamaah Islamiyah – balada sang pendakwah di Negeri Sembilan. (Laporan utama) Tempo 31(36) Nov. 10, 2002: p.28-32, 34-38

国連発表のテロ集団リストに掲載されたジャマア・イスラミヤの国内外の足跡を辿る。ネットワークはマレーシア、シンガポール、他。

290

Ustad Abu dan bayang-bayang skenario AS. (Forum utama) Forum keadilan 11(30) Nov. 10, 2002: p.11-25

バアシル師をテロリストと告発する米国。  
国際 35 テログループの一つがジャマア・イスラミヤ(JI)とする国連。JI は実存するのか？

291

Abdullah Hehamahua – “Ada pihak yang tak ingin Indonesia stabil.” (Wawancara) Forum keadilan 11(30) Nov. 10, 2002: p.72-76

マシュミ党党首がイスラムが攻撃的になる理由を歴史を振り返って説明。

292

Amrozi pelaku bom Bali? – Amrozi dicokok, Ba'asyir tergeret? (Laporan utama) Tempo 31(37) Nov. 17, 2002: p.88-97

バリ島爆弾テロ事件の容疑者としてアムロジを逮捕。アムロジの育った環境を紹介。

293

I Made Mangku Pastika – “Amrozi mengaku sebagai pelaku peledakan bom Bali.” (Wawancara) Tempo 31(37) Nov. 17, 2002: p.104-106, 108

警察本庁幹部がアムロジの犯罪を解説。

294

Kala Syariat Islam menggoda. (Forum utama) Forum keadilan 11(31) Nov. 17, 2002: p.11-24

地方分権化の実施により、イスラム法適用を

目指す自治体が多数出現。非ムスリムの反応。

295

H. M. Jusuf Kalla – “Yang ditangkap pelaku teror, bukan agamanya.” (Wawancara) Forum keadilan 11(31) Nov. 17, 2002: p.72-76

福祉担当調整相ユスフ・カラにバリ島・爆弾テロ、地方で頻発する紛争等を聞く。

296

Jalan maut Amrozi dan Imam Samudra – memburu Kudama, aktor berbilang terorisme. (Laporan utama) Tempo 31(38) Nov. 24, 2002: p.28-30, 32-34, 36-39  
アムロジへの尋問で爆弾テロの指導者としてイマム・サムドラの名が。アムロジを取り巻く人間関係を探る。

297

Zakaria – “Amrozi hanya pesuruh.” (Wawancara) Tempo 31(38) Nov. 24, 2002: p.46-48, 50

アムロジを同じイスラム寄宿学校で間近からみてきた校長へのインタビュー記事。

298

Mengendus sandiwara Amrozi. (Forum utama) Forum keadilan 11(32) Nov. 24, 2002: p.12-25

バリ島爆弾テロの容疑者としてアムロジを逮捕。アル・ファロックの妻へのインタビュー。

299

Sisa-sisa *civil war* di Ambon. (Fokus) Forum keadilan 11(32) Nov. 24, 2002: p.47-59

4年にわたる住民抗争の後、落ち着き始めたアンボン。写真多数収録。

300

Jenderal (Purn) R. Hartono – “Kondisi terbaik di zamannya Pak Harto.” (Wawancara) Forum keadilan 11(32) Nov. 24, 2002: p.64-68

スハルト時代が最も良い時代だったと語るハルトノ民族憂慮職能党党首に聞く。

301

Pengakuan dingin Imam Samudra – simpul ‘syahid’ sang imam. (Laporan utama) Tempo 31(39) Dec. 1, 2002: p.28-32

バリ島爆弾テロ事件の首謀者イマム・サムドラを逮捕。彼をいくつもの爆弾テロに関わる冷血のテロリストへ変えたものは何か。

302

Ahmad Sahal Mahfudz – “Tidak ada terorisme di Indonesia.” (Wawancara) Tempo 31(39) Dec. 1, 2002: p.42-44, 46

NUを代表するイスラム法学者にテロとインドネシアのイスラムとの関係を聞く。

303

Jejak intelijen di balik al-Faruq. (Investigasi) Tempo 31(39) Dec. 1, 2002: p.69-76, 81-84, 86-87

諜報作戦によって逮捕されたテロリストのメガワティ大統領暗殺計画や2000年暮れの同時多発爆弾テロへの関連性を記したCIA文書。

304

Amin Rais – “Saya tidak yakin Ba’asyir yang merancang bom Bali.” (Wawancara) Forum keadilan 11(33) Dec. 1, 2002: p.72-78

アミン・ライス国民協議会議長がバリ島爆弾テロ事件の背景を推測する。

305

Pesantren Ngruki dan sejumlah tuduhan. Tempo 31(40) Dec. 8, 2002: p.28-34, 36-41

テロリスト養成所の容疑がかかるイスラム塾の実態。イスラム知識人5名の見解を収録。

306

Poros Banten-Solo di belakang Imam. (National) Tempo 31(40) Dec. 8, 2002: p.42-45

バリ島爆弾テロに関わったテロリスト集団の系譜。

307

Ahmad Syafi’i Ma’arif – “Radikalisme agama adalah bunuh diri”. (Wawancara) Tempo 31(40) Dec. 8, 2002: p.46-48, 50



ムハマディヤ議長が語るイスラム、アブ・バカル・バアシル、宗教過激主義。

3 0 8

Terancam nyanyian dari Singapura. (Laporan utama) Tempo 31(41) Dec. 15, 2002: p.108-116, 118-119

アブ・バカル・バアシルは2000年クリスマスイブの同時多発爆弾テロを許可したと証言するバファナ容疑者。バアシルは苦境に。

3 0 9

Muchlas sang panglima – markas Jamaah Islamiah di pabrik susu? (Laporan utama) Tempo 31(42) Dec. 22, 2002: p.26-28, 30-32, 34-37

アリ・グフロンの逮捕でジャマア・イスラミヤの組織の実態が解明へ？イマム・サムドゥラがバリ島爆弾テロ事件に関して新事実を証言。

3 1 0

Akhir pertempuran panjang itu... (Nasional) Tempo 31(42) Dec. 22, 2002: p.40-43

ジュネーブでの停戦合意でインドネシア国軍兵士もアチェ分離独立運動の兵士も歓喜。

3 1 1

Ulil Abshar-Abdalla – “Fatwa itu lemah, tapi mengkhawatirkan.” (Wawancara) Tempo 31(42) Dec. 22, 2002: p.46-48, 50

ナフダトゥール・ウラマの人材研究・開発研究所所長へのインタビュー記事。イスラムを侮辱した者への死刑勧告の持つ影響力。

3 1 2

Sengketa Pulau Sipadan – kedaulatan dari Den Haag. (Luar negeri) Tempo 31(42) Dec. 22, 2002: p.114-121

シパダン島の領有権を巡るマレーシアとの争いをハーグの国際法廷はどう裁くか？

3 1 3

Tersangkut Jamaah Islamiyah? – telepon Sjafrie di saku sang ‘cuak’. (Laporan utama) Tempo 31(43) Dec. 29, 2002: p.24-26, 28-29

シャフリー少将がジャマア・イスラミヤと関

わっていると一国際機関が発表。2000年暮れの同時多発爆弾テロにも関与？

3 1 4

Hassan Wirajuda – “Tak ada lagi pulau yang menjadi sengketa.” (Wawancara) Tempo 31(43) Dec. 29, 2002: p.46-48, 50

現職の外相が東カリマンタン沖の2島の領有権問題と国際法廷の判決について語る。

3 1 5

Impian dari desa Tuhan. (Liputan khusus) Tempo 31(43) Dec. 29, 2002: p.84-95

ーイスラム系研究機関が実施した世論調査でイスラム法の適用を望む回答者が71%に急増。宗教教義の狭い理解が急進主義を促進？

## 2003年(政治)

316

Bom dari tahun ke tahun – wajah Indonesia setelah 12 Oktober 2002. (Laporan utama) Tempo 31(44) Jan. 5, 2003: p.32-33, 35-42, 44-64, 66-68, 70-71

バリ島爆弾テロ事件の捜査結果が過去の爆弾テロ事件を解明する手掛かりに。ジャマ・イスラミヤの足跡(1983-2002年)を辿る。

317

Membuka album 2002. (Nasional) Tempo 31(44) Jan. 5, 2003: p.74-85  
2002年に起こった国内主要事件を振り返る。

318

Undang-undang Partai Politik – partai besar juga yang untung. (Nasional) Tempo 31(45) Jan. 12, 2003: p.22-30  
雨後の竹の子のように次々と結成される新党。新政党法の持つ欠陥条文をチェックする。

319

Abu Jibril – “Jamaah Islamiah cuma kebohongan Amerika.” (Wawancara) Tempo 31(45) Jan. 12, 2003: p.40-43  
アブ・バカル・バアシルの右腕と目され、マレーシアに収監中の活動家へのインタビュー。

320

Indonesia diintervensi? (Aksara) Tempo 31(45) Jan. 12, 2003: p.73-80, 82-83  
インドネシア各地で起こる紛争は外国軍や国連軍の介入へと繋がるか？

321

Kontroversi Islam liberal. (Fokus) Forum keadilan 11(36) Jan. 12, 2003: p.11-25  
ナフダトゥール・ウラマ内の若い知識人層で育ってきたリベラルなイスラム思想とその歴史。それに苛立つイスラム教徒やウラマも。

322

Habib Husein Al Habsyi – “Bangsa Indonesia di ambang kehancuran”. (Wawancara) Forum keadilan 11(36) Jan. 12, 2003: p.72-78

盲目のイスラム活動家がバリ島爆弾テロ事件に対する政府対応やその他の政策を批判。

323

Timika ditembak, Washington menyalak. (Laporan utama) Tempo 31(46) Jan. 19, 2003: p.28-39  
パプア州ティミカでフリーポート社の社員バスを陸軍特殊部隊が銃撃？食い違う目撃者とインドネシア国軍の見解。米国は激怒。

324

Rahardjo Tjakraningrat – “Otak dia di dengkul”. (Wawancara) Forum keadilan 11(37) Jan. 19, 2003: p.72-78  
小政党8党でメガワティ政権打倒を目指すインドネシア同盟党党首へのインタビュー。

325

Kwik Kian Gie – “Mega tidak akan jatuh.” (Wawancara) Tempo 31(47) Jan. 26, 2003: p.44-48  
闘争民民主党で内部批判を続けるクウィク・キアン・ギー国家開発計画担当大臣に聞く。

326

Kisah Mega dan petuah hidup hemat. (Forum utama) Forum keadilan 11(38) Jan. 26, 2003: p.11-26  
メガワティ大統領への国民の不信感が増大。冷笑された大統領の儉約の呼びかけ。

327

Abdullah Hehamahua – “Zaman Orde Baru korupsinya sopan”. (Wawancara) Forum keadilan 11(38) Jan. 26, 2003: p.72-77  
マシュミ党党首で政府高官・政治家の資産調査委員会副委員長が政府の汚職体質を批判。

328

Manuver sang jenderal – Wiranto bergerak...(Laporan khusus) Tempo 31(48) Feb. 2, 2003: p.24-26, 28-33  
元国軍司令官ウィラントが政界で始動。国家情報機関は反政府デモに便乗していると指摘。

329

Endriartono Sutarto – “Saya sendiri yang

akan mengumpulkan hasil investigasi kami.” (Wawancara) Tempo 31(48) Feb. 2, 2003: p.44-47

ティミカの米国人襲撃事件で一米国新聞の報道は誤りと主張する国軍司令官へのインタビュー記事。

3 3 0

Mencari dan mencuri dana kampanye. (Fokus) Forum keadilan 11(39) Feb. 2, 2003: p.49-61

2004 年総選挙を前にキャンペーン資金を奪い合う各政党。インドサット社売却のコミッションは闘争民主党のふところへ？

3 3 1

Eros Djarot – “Rahasia ini terpaksa saya bongkar.” (Wawancara) Tempo 31(49) Feb. 9, 2003: p.40-43

闘争民主党の党首批判を繰り広げるエロス・ジャロット元映画監督に聞く。

3 3 2

Buku putih Jemaah Islamiyah. (Fokus) Forum keadilan 11(40) Feb. 9, 2003: p.49-61

シンガポール政府が出版した「ジュマア・イスラミヤ白書」。そのネットワークを探る。

3 3 3

Jalan berkelok di Aceh. (Nasional) Tempo 31(50) Feb. 16, 2003: p.36-39

武装解除への歩み寄りがみられない独立アチェ運動とインドネシア国軍。

3 3 4

Memberangus ketidak becusan Megawati. (Forum utama) Forum keadilan 11(41) Feb. 16, 2003: p.11-27

反メガワティの旗を掲げるグループが次々と誕生。ラフマワティへのインタビュー収録。

3 3 5

Nyanyian galau peracik bom. (Laporan utama) Tempo 31(51) Feb. 23, 2003: p.24-28, 30-33

アリ・イムロンがバリ島爆弾テロ事件で使用した爆弾の製造法を説明。一方で、アブ・バカ

ル・バアシルの事件への関与を否定。

3 3 6

Ali Imron – “Saya tak menyangka akan jadi bintang lapangan. (Wawancara) Tempo 31(51) Feb. 23, 2003: p.40-42, 44

アリ・イムロンへのインタビュー記事。アフガニスタン、パキスタン、マレーシアでの足跡。

3 3 7

Membedah peta politik mahasiswa. (Forum utama) Forum keadilan 11(42) Feb. 23, 2003: p.11-27

学生運動の勢力図はどう変わったか？暴力に対抗し、乗せられやすく、政治家に利用され、分裂の危機にあるのは昔と同じ？

3 3 8

Menanti perdamaian abadi di serambi Mekah. (Fokus) Forum keadilan 11(42) Feb. 23, 2003: p.47-59

和平協定への署名後、アチェはどう変わったか？アチェの歴史を振り返る。

3 3 9

Hidayat Nur Wahid – “Berkuasa itu untuk melayani”. (Wawancara) Forum keadilan 11(42) Feb. 23, 2003: p.47-59

最終段階に至った総選挙法改正プロセス。福祉正義党に改名する正義党党首に聞く。

3 4 0

*‘Lone ranger’* itu bernama Kwik. (Laporan utama) Tempo 31(52) Mar. 2, 2003: p.26-33

自らが所属する党に対して批判を続けるクウィク国家開発計画担当大臣とその言行録。

3 4 1

Seyam Reda – “Saya bukan teroris, bukan Superman.” (Wawancara) Tempo 31(52) Mar. 2, 2003: p.44-46, 48

テロリストの容疑がかかる一エジプト人ジャーナリストへのインタビュー記事。

3 4 2

Mengupas kebenaran otokritik Kwik. (Forum utama) Forum keadilan 11(43)

Mar. 2, 2003: p.11-25

闘争民主党は最も腐敗した政党、と内部告発したクウィク・キアン・ギー同党幹部とその波紋。同幹部へのインタビュー記事収録。

3 4 3

Golput kini dikendalikan (dalam UU). (Fokus) Forum keadilan 11(43) Mar. 2, 2003: p.47-59

無投票者を規制する総選挙法の条文を識者たちはどう評価したか。

3 4 4

Menggaruk punggung yang tak gatal. (Nasional) Tempo 32(1) Mar. 9, 2003: p.24-28

1999年の東ティモール騒乱時に人権犯罪を犯したとして告訴されたウィラント、他の国軍将校。一方でグスマン大統領は告訴を不支持。

3 4 5

Ali Alatas – “Kita kalah telak”. (Wawancara) Tempo 32(1) Mar. 9, 2003: p.38-40, 42

アリ・アラタス元外相がハビビ時代の東ティモールとインドネシア関係について語る。

3 4 6

Pemekaran Papua – bencana atau sejahtera? (Fokus) Forum keadilan 11(44) Mar. 9, 2003: p.47-60

2003年大統領訓令第1号で新州、新県・市の分立を促されたパプア。危ぶまれるパプア特別自治法との矛盾点。

3 4 7

Rancangan Undang-undang TNI – Merdeka Barat dan pasal kudeta itu. (Laporan utama) Tempo 32(2) Mar. 16, 2003: p.26-32

非常事態時に大統領の許可なしに軍隊の投入を可能にする新国軍法法案が起こした波紋。

3 4 8

Mayor Jenderal Sudradjat – “Pasal 19 itu memang rawan.” (Wawancara) Tempo 32(2) Mar. 16, 2003: p.[46]-50

国防省国防戦略総局長が新国軍法法案の問題点について語る。

3 4 9

Mewaspadai koalisi Banten-Beringin. (Forum utama) Forum keadilan 11(45)

Mar. 16, 2003: p.11-23

来年の総選挙をにらんで闘争民主党とゴルカル党が連携？小政党はますます不利に。

3 5 0

Kecurigaan di balik pasal kudeta. (Nasional) Forum keadilan 11(45) Mar. 16, 2003: p.86-89

国軍法草案第19条（非常時の武力行使）は国軍が市民に抱く不信感の表れか？

3 5 1

Menjelang pemilu 2004 – pinjat pinang pemilihan presiden. (Nasional) Tempo 32(5) Apr. 6, 2003: p.24-30, 32-33

国会で大統領直接選挙関連法案を審議。大統領候補になる条件は何か。各勢力の動き。

3 5 2

Dachlan Abdul Hamied – “Saddam seorang manajer yang cerdas.” (Wawancara) Tempo 32(5) Apr. 6, 2003: p.[42]-45

在イラク・インドネシア大使がイラク情勢、両国間関係、サダム・フセイン体制を語る。

3 5 3

Kegamangan Megawati menyikapi Perang Irak. (Forum utama) Forum keadilan 11(48) Apr. 6, 2003: p.11-24

米国のイラク攻撃を批判するメガワティ政権。識者は政府の姿勢をどう評価するか。

3 5 4

Prof. Dr. Nurcholish Madjid – “Megawati pemimpin yang lemah.” (Wawancara) Forum keadilan 11(49) Apr. 13, 2003: p.82-86

大統領候補に名前が挙がる著名なイスラム知識人が現今の政治状況について語る。

3 5 5

Aceh di ambang perang. (Nasional) Tempo 32(7) Apr. 20, 2003: p.26-28, 30-33

国軍の軍事作戦で急速に悪化するアチェの

治安。停戦合意以降 4 カ月間の動きを追う。ア  
チェ解放軍司令官へのインタビュー記事収録。

3 5 6

Ketua JSC Mayor Jenderal Thanongsuk  
Tuvinun – “Rakyat masih menerima  
kami.” (Wawancara) Tempo 32(7) Apr. 20,  
2003: p.40-42, 44

合同治安委員会の全メンバーを州都バン  
ダ・アチェへ引き揚げさせたタイ人将校に聞く。

3 5 7

Menuju pernghancuran peradaban Islam.  
(Forum utama) Forum keadilan 11(50)  
Apr. 20, 2003: p.11-26

米国のイラク攻撃をインドネシア人の識者  
たちはどうみたか。イスラム文明の破壊？

3 5 8

Suaidi Marasabessy – “Perang Irak  
pelajaran berharga bagi bangsa kita.”  
(Wawancara) Forum keadilan 11(50) Apr.  
20, 2003: p.72-76

一退役国軍中將がみた米国のイラク攻撃。

3 5 9

Perang TNI vs GAM – mencegah pagar betis  
di tanah rencong. (Nasional) Tempo  
32(8) Apr. 27, 2003: p.24-30

戦争を避けるための交渉を予定しながら、ア  
チェ独立運動に厳しく対応することを決めた  
インドネシア政府。現地で将来への懸念が拡大。

3 6 0

Dampak negatif pudarnya nasionalisme.  
(Forum utama) Forum keadilan 11(51)  
Apr. 27, 2003: p.11-24

学者、イスラム活動家、詩人らの米国による  
イラク制圧への見解。インドネシアでは民族主  
義と愛国主義が衰退？

3 6 1

Rico Marbun -- “Dibutuhkan pemerintahan  
transisi.” (Wawancara) Forum keadilan  
11(51) Apr. 27, 2003: p.72-76

一学生運動組織の代表が現政権の進展しな  
い「改革」を批判。

3 6 2

Presiden baru versi Golkar – beringin  
mencari presiden. (Laporan utama)  
Tempo 32(9) May 4, 2003: p.26-32

ゴルカル党の支持を得ようとさまざまな動  
きをみせる大統領候補たち。アクバル派と反ア  
クバル派の利害と将来展望。

3 6 3

Nurcholish Madjid – “Saya akan pasif saja.”  
(Wawancara) Tempo 32(9) May 4, 2003:  
p.118-120, 122

大統領候補として名前が挙がったヌルホリ  
シュ・マジドが 2004 年大統領選を語る。

3 6 4

“Main mata” Mega dengan Rusia. (Forum  
utama) Forum keadilan 11(52) May 4,  
2003: p.11-25

政府がロシア製戦闘機 4 機とヘリコプター 2  
機を 1 億 9290 万米ドルで購入。国軍幹部とラ  
ルフ・ボイス駐イ・米国大使の見解は？

3 6 5

Kebangkitan kaum Syiah Irak. (Fokus)  
Forum keadilan 11(52) May 4, 2003:  
p.45-57

イラク制圧後、米国の脅威となったシーア派  
イスラム教徒。インドネシアとシーア派の歴史。

3 6 6

Setiawan Djody – “Tidak ada *leader* yang  
becus.” (Wawancara) Forum keadilan  
11(52) May 4, 2003: p.78-82

一有名企業家はインドネシアの現今の政治  
をどうみるか。現政権は成功より失敗が多い？

3 6 7

Cak Nur calon presiden – begawan  
Paramadina turun gunung. (Laporan  
utama) Tempo 32(10) May 11, 2003:  
p.28-33

ヌルホリシュの思想家から政治家への転身  
は成功するか？氏の経歴と人脈を探る。

3 6 8

Usman Hasan – “Pemerintah plinplan  
dalam menangani Aceh.” (Wawancara)

Tempo 32(10) May 11, 2003: p.44-46, 48  
政治・治安担当調整相のアチェ問題顧問が混  
迷化するアチェ問題を解説。

3 6 9

Jalan terjal menuai damai – di ambang  
batas kesabaran. (Forum utama) Forum  
keadilan 12(1) May 11, 2003: p.9-19  
ジュネーブでの和平交渉が失敗し、アチェで  
人道、法の確立、治安回復の3作戦の実行を決  
めたメガワティ政権。軍事作戦の開始は間近。

3 7 0

Perang TNI-GAM – detik-detik sebelum  
serangan. (Laporan utama) Tempo  
32(11) May 18, 2003: p.26-36  
インドネシア国軍はアチェ分離独立派が交  
渉に応じなければ軍事作戦を実行？現地住民  
間で高まる緊張。写真14枚収録。

3 7 1

David Gorman – “Kami sangat khawatir  
dengan situasi ini.” (Wawancara) Tempo  
32(11) May 18, 2003: p.108-110, 112-113  
一人権活動家がみたアチェの現状。何が一番  
状況を悪化させたかを聞く。

3 7 2

Perubahan peta pencalonan presiden.  
(Forum utama) Forum keadilan 12(2)  
May 18, 2003: p.10-19  
大統領候補になる準備ができていると語っ  
たヌルホリシュ・マジドとみえない支持基盤。

3 7 3

Karena Prabowo dan Wiranto berseteru.  
(Fokus) Forum keadilan 12(2) May 18,  
2003: p.27-36.  
1998年5月の政変時には国軍内に亀裂があ  
ったか？当時の国軍司令官と陸軍戦略予備軍  
司令官との関係を再考する。

3 7 4

Lima tahun setelah hari berdarah itu.  
(Liputan khusus) Tempo 32(12) May 25,  
2003: p.22-34, 36, 38-56, 58-60, 62-63  
ジャカルタ暴動後5年経過し、何が変わった  
か。識者のコラム記事、スハルト、ハビビ、ワ

ヒド、メガワティ各政権の採点表を収録。

3 7 5

Mei 1998: kala amuk menjarah Jakarta.  
(Investigasi) Tempo 32(12) May 25,  
2003: p.154-158, 160, 162, 164-166,  
168-170, 172-175  
約1200人が死亡した1998年ジャカルタ五  
月暴動の検証。当時の国軍司令官、陸軍戦略予  
備軍司令官へのインタビュー記事収録。

3 7 6

Refleksi lima tahun reformasi. (Forum  
utama) Forum keadilan 12(3) May 25,  
2003: p.9-18  
改革後5年が経過し、混迷する政治。権力の  
奪い合いと汚職は益々盛んに。スハルト時代に  
活躍した政治家3名へのインタビュー収録。

3 7 7

Sisi gelap para wakil rakyat. (Fokus)  
Forum keadilan 12(3) May 25, 2003:  
p.27-33  
地方議会議員の間で拡大する汚職のルポ。

3 7 8

Perang TNI-GAM – tak putus dirundung  
perang. (Laporan utama) Tempo 32(13)  
June 1, 2003: p.26-38, 40-43  
とうとう始まった対アチェ独立派軍事作戦。  
攻撃目標以外の施設も被害。写真多数。

3 7 9

Wiryono Sastrohandoyo – “GAM bilang  
mereka bukan ‘goda,’ gerakan otonomi  
daerah. ” (Wawancara) Tempo 32(13)  
June 1, 2003: p.46-48, 50  
アチェ独立派との交渉でジュネーブ、東京と  
渡り歩いた長老外交官へのインタビュー記事。

3 8 0

Hariman Siregar – “Reformasi gagal, perlu  
reformasi jilid dua.” (Wawancara)  
Forum keadilan 12(4) June 1, 2003:  
p.20-24  
マラリ事件(1974年)当時の学生運動家がス  
ハルト辞任後の5年間の「改革」を総括。

381

Perang TNI-GAM – subuh berdarah di Peusangan. (Laporan utama) Tempo 32(14) June 8, 2003: p.26-28, 30-37

軍事非常事態体制となったナングロ・アチエ・ダルスサラーム州。独立派への武器弾薬密輸ルートを暴く。

382

K. H. Hasyim Muzadi – “Tugas saya memimpin NU, bukan jadi pejabat negara.” (Wawancara) Tempo 32(14) June 8, 2003: p.44-46, 48

大統領候補として名前が挙がるようになったナフダトゥール・ウラマ総裁に聞く。

383

Tjamboek Berdoeri dan sebuah sejarah. (iQra) Tempo 32(14) June 8, 2003: p.67-70, 72-73, 76-78, 80-83

マランで1946年に生じた反華人暴動を写真で振り返る。その詳細を記した著者に纏わる謎。

384

Akbar Tandjung – “Prabowo juga salah satu calon.” (Wawancara) Forum keadilan 12(5) June 8, 2003: p.20-24

ゴルカル党党首が現今の政治情勢を語る。同党内で名前が挙がった大統領候補者は誰か。

385

Memerangi jaringan GAM di luar negeri – menyeret para pentolan. (Laporan utama) Tempo 32(15) June 15, 2003: p.26-34, 36-38, 40

ハサン・ティロらアチェ独立運動の指導者がインドネシアと国連が定めた法を犯している証拠を携え、その国際ネットワークを断ち切るため、スウェーデンに入ったイ・代表団。

386

Mayjen Djali Yusuf (bekas Panglima Kodam Iskandar Muda, Aceh) – “GAM akan lumpuh dalam dua bulan”. (Wawancara) Tempo 32(15) June 15, 2003: p. 44-46, 48

アチェ出身の陸軍少将が語る国軍のアチェ特別州での作戦、外国系 NGO への見解。

387

Ziarah politik Amien-Rachmawati. (Forum utama) Forum keadilan 12(6) June 15, 2003: p.9-19

アミン・ライス国民信託党党首とラフマワティがスカルノの墓参りへ。大統領選への布石？

388

Muhammad Yunus Yosfiah – “Partai Islam, kok kecil?” (Wawancara) Forum keadilan 12(6) June 15, 2003: p.20-23

開発統一党の幹事長に就任した退役国軍中將へのインタビュー記事。

389

Jurus baru menekuk GAM – menangkak ‘*hit and run*’ ala GAM. Tempo 32(16) June 22, 2003: p.26-38

GAMの奇襲攻撃に苦戦するインドネシア国軍。アチェの現地の様子を写真18葉で解説。

390

Menteri Luar Negeri Swedia, Anna Lindh – “Swedia tidak mendukung kemerdekaan Aceh”. (Wawancara) Tempo 32(16) June 22, 2003: p.44-47

スウェーデン外相が語る対インドネシア関係と GAM 指導者への対処法。

391

Pulau Nasi dari basis GAM ke Kamp Tahanan. (Forum utama) Forum keadilan 12(7) June 22, 2003: p.9-19

アチェ独立派の拠点であるナシ島を国軍が制圧。同島の将来はスハルト時代のブル島？

392

Eros Djarot – “Enggak ada partai besar, yang ada hanya partai beri-beri.” (Wawancara) Forum keadilan 12(7) June 22, 2003: p.20-25

一族主義政党を立ち上げたエロス・ジャロット氏へのインタビュー記事。

393

Ronde terakhir murid versus guru. (Nasional) Forum keadilan 12(7) June 22, 2003: p.58-61

民族覚醒党内に新たな亀裂。新党が分立？

3 9 4  
Evaluasi satu bulan darurat militer di Aceh. (Nasional) Tempo 32(17) June 29, 2003: p. 26-36  
戒厳令下のアチェで何が起きているか？国際赤十字は集団埋葬地を発見。国家人権委員会 は多数の人権侵害報告を受ける。

3 9 5  
Abdul Hakim Garuda Nusantara – “Komnas HAM sudah cukup hati-hati.” (Wawancara) Tempo 32(17) June 29, 2003: p. 44-46, 48  
国家人権委員会委員長が語るアチェの人権侵害状況、国軍との見解の相違点。

3 9 6  
Ryamizard Ryacudu – Masyarakat sekarang banyak yang sableng. (Wawancara) Forum keadilan 12(8) June 29, 2003: p.20-24  
リヤミザルド陸軍参謀長にアチェ情勢を聞く。国軍に関する誤報を正す。

3 9 7  
Perang TNI-GAM – mempersoalkan sipil bersenjata. (Nasional) Tempo 32(18) July 6, 2003: p.28-33  
国軍と GAM との間で戦闘が続くアチェで民兵の結成。竹槍、鎌などで武装し国軍を支援。

3 9 8  
Kewenangan terbatas Mahkamah Konstitusi. (Forum utama) Forum keadilan 12(9) July 6, 2003: p.9-15  
遅延が確定した憲法裁判所の設立。最高裁との地位関係はどう規定されたか。

3 9 9  
Marty Natalegawa – “Deplu tidak terlibat proses dialog dengan GAM.” (Wawancara) Forum keadilan 12(9) July 6, 2003: p.20-24  
インドネシアの外務省はアチェ問題とどう取り組んでいるか。戒厳令施行は外交の失敗？

4 0 0  
Politik uang para hulubalang – jual beli kursi gubernur. (Laporan utama) Tempo 32(19) July 13, 2003: p.26-30, 32  
東カリマンタン州知事選工作疑惑。闘争民主党幹部 2 名が州議会議員に贈賄？

4 0 1  
Partai akal-akalan – semata demi sebuah kursi? (Forum utama) Forum keadilan 12(10) July 13, 2003: p.9-18  
総選挙の各過程で生じると想定される危機。総選挙委員会のロジは準備万端か？

4 0 2  
Hari Sabarno – “Kalau tidak ada sipil yang berani, kasih sama militer.” (Wawancara) Forum keadilan 12(10) July 13, 2003: p.34-39  
ハリ・サバルノ内相へのインタビュー記事。地方首長関連汚職疑惑をどうみるか。

4 0 3  
Kapten Penerbang Ian Fuady – “Posisi kami benar-benar terancam”. (Wawancara) Tempo 32(20) July 20, 2003: p.42-44, 46  
米軍戦闘機 F18 がバウエアン島上空に出現。F16 で出動した兵士が当時の様子を証言。

4 0 4  
Prof. Dr. Yusril Ihza Mahendra – “Saya menjalankan hukum, tidak ada pertimbangan politik.” (Wawancara) Forum keadilan 12(11) July 20, 2003: p.34-39  
司法人権相が憲法裁判所の機能の不明瞭さや民族覚醒党問題を解説。

4 0 5  
Dari kraton Yogya ke istana negara. (Forum utama) Forum keadilan 12(12) July 27, 2003: p.9-15  
ハムンクブウォノ 10 世が大統領になる可能性は？政見を地方に伝えるゴルカル党の大統領候補者たち。

4 0 6  
Sri Sultan Hamengkubuwono X – “Saya



wajib mengabdikan dan mengayomi rakyat.”  
(Wawancara) Forum keadilan 12(12)  
July 27, 2003: p.16-21  
ハムンクブウォノ 10 世に昨今の政局を聞く。

4 0 7  
Mardijo – “Saya tidak akan pindah partai.”  
(Wawancara) Tempo 32(22) Aug. 3, 2003:  
p.38-40, 42  
中ジャワ州州知事選挙で破れた闘争民主党  
中ジャワ地方執行部議長に聞く。

4 0 8  
Agum Gumelar – “Cari pemimpin yang bisa  
mencegah ketidakbenaran.” (Wawancara)  
Forum keadilan 12(13) Aug. 3, 2003:  
p.34-38  
アグム・グムラル運輸相に大統領選出馬の意  
向、手本となる国、国軍と人権問題等を聞く。

4 0 9  
Perlukah Sukarno ‘diputihkan’? – setitik  
nila di wajah proklamator. (Laporan  
utama) Tempo 32(23) Aug. 10, 2003:  
p.26-31  
国民協議会でスカルノの名誉回復は可能か。  
注目される 1966～68 年暫定国民協議会決定を  
破棄する動き。

4 1 0  
Anak Agung Ngurah Oka Ratmadi – “Tak  
baik presiden disuruh mengalah”.  
(Wawancara) Tempo 32(23) Aug. 10,  
2003: p.42-44, 46  
バリ州州知事に推されながら、急に退任  
を決めたバドゥリン県知事に聞く。

4 1 1  
Mereka-reka otak pelumat Marriott.  
(Laporan utama) Tempo 32(24) Aug. 17,  
2003: p.24-30, 32-39  
8 月 5 日に発生したマリOTT・ホテル爆弾  
テロ事件を多面的に分析。写真多数収録。

4 1 2  
Maulwi Saelan – “Bung Karno minta  
diadili.” (Wawancara) Tempo 32(24) Aug.  
17, 2003: p.48-50, 52

スカルノ大統領親衛隊に所属し、1966 年  
には大統領補佐官も務めた元陸軍大佐が 9.30 事  
件と暫定国民協議会決定の破棄を語る。

4 1 3  
Bom Marriott – mengapa Jamaah  
Islamiyah? (Forum utama) Forum  
keadilan 12(15) Aug. 17, 2003: p.9-19  
マリOTT・ホテル爆弾テロ事件で名前が挙  
がるものの、実体が不明なままのジャマア・イ  
スラミヤ。ウラマ評議会議長の見解を収録。

4 1 4  
Bibit Waluyo – “Tolong tunjukkan yang  
gagal itu apanya?” (Wawancara) Forum  
keadilan 12(15) Aug. 17, 2003: p.46-50  
陸軍戦略予備軍司令官がアチェにおける軍  
事作戦、テロ対策、他を語る。

4 1 5  
Mengapa dia berontak...Mengapa mereka  
berontak... (Liputan khusus) Tempo  
32(25) Aug. 24, 2003: p.24-34, 36-66, 68,  
70-74, 76-84.  
アチェとインドネシア共和国との愛憎関係  
を歴史に探る。写真とコラム多数。

4 1 6  
Tertangkapnya Hambali. (Nasional)  
Tempo 32(25) Aug. 24, 2003: p.88-96, 98  
JI の中心人物ハンバリ逮捕。マリOTT・  
ホテル爆弾テロ事件容疑者との接点を探る。

4 1 7  
I Wayan Nuastha, anggota DPRD Bali –  
“PDIP harus mengeluarkan bobrok di  
tubuhnya”. (Wawancara) Tempo 32(25)  
Aug. 24, 2003: p.104-106, 108  
闘争民主党内部の贈賄行為を一党員が告発。

4 1 8  
Hambali ditangkap, teror berakhir? (Forum  
utama) Forum keadilan 12(16) Aug. 24,  
2003: p.9-23  
マリOTT・ホテル爆弾テロ事件で政府は国  
内治安法を検討。ハンバリの逮捕とも関連？

4 1 9

Penangkapan Hambali – balada tertangkunya si ikan besar. (Laporan utama) Tempo 32(26) Aug. 31, 2003: p.24-30, 32, 34-36

タイでのハンバリ逮捕で慌しくなる各国政府外交筋と治安当局の動き。ハンバリが関与したと推測される 2000 年～2003 年の爆弾テロ。

4 2 0

Sophan Sophiaan – “Kwik membocorkan rapat 25 Juli.” (Wawancara) Tempo 32(26) Aug. 31, 2003: p.46-48, 50

元映画俳優兼監督が自ら所属する闘争民主党を徹底批判。

4 2 1

Ekstradisi di persimpangan jalan. (Forum utama) Forum keadilan 12(17) Aug. 31, 2003: p.46-50

ハンバリの引き渡しを求める意向を持ちながら、米国との間に犯人引き渡し協定を持たないインドネシア。1979 年法律第 1 号を収録。

4 2 2

Prof. Dr. Jimly Asshiddiqie, SH – “Jangan *over estimate* atau menganggap sepele MK.” (Wawancara) Forum keadilan 12(17) Aug. 31, 2003: p.20-24

初代憲法裁判所議長へのインタビュー記事。

4 2 3

Jejak-jejak sang dokter – upaya menjerat Dr. Azahari. (Laporan utama) Tempo 32(27) Sept. 7, 2003: p.24-27

バリ、マリオット爆弾テロ事件の黒幕とされるアザハリの足跡。彼がハンバリの後継者か？

4 2 4

Timika – pemekaran yang menyulut perang. (Nasional) Tempo 32(27) Sept. 7, 2003: 34-37

住民間衝突を引き起こした中イリアン・ジャヤ州分立促進を内容とする大統領訓令。パプアをめぐる法律・法令を跡づける。

4 2 5

Sidney Jones – “Tertangkapnya Hambali tak mempengaruhi operasi Jammah

Islamiah.” (Wawancara) Tempo 32(27) Sept. 7, 2003: p.44-46, 48

国際人権 NGO で活躍してきたシドニー・ジョーンズ女史に聞く。「ハンバリ逮捕はジャマ・イスラミヤの作戦に影響を与えない。」

4 2 6

Waspada! genosida di Papua -- beleid Jakarta kembali menelan korban. (Forum utama) Forum keadilan 12(18) Sept. 7, 2003: p.9-15

中イリアン・ジャヤ州の分離創設で分離賛成派と反対派との間で大規模抗争が発生。中央政府の担当大臣、パプア州知事の見解を収録。

4 2 7

Balada tanah terluka. Forum keadilan 12(18) Sept. 7, 2003: p.16-19

中イリアン・ジャヤ州の住民間衝突事件の原因となった過去の法律・法令を振り返る。

4 2 8

Ryaas Rasyid – “Yang melahirkan Impres itu amatiran bahkan serampangan!!” (Wawancara) Forum keadilan 13(18) Sept. 7, 2003: p.20-24

元地方分権担当国務大臣が語るパプア分割政策、有力大統領候補、民族民主統合党の政策。

4 2 9

Susilo Bambang Yudhoyono – kapan majunya, jenderal? (Laporan utama) Tempo 32(28) Sept. 14, 2003: p.24-28, 30

次期大統領候補として人気急上昇中のスシロ・バンバン・ユドヨノ。各政党の見解、研究機関、実業界が実施した世論調査の結果を収録。

4 3 0

J. P. Solossa – “Kami tidak diajak bicara”. (Wawancara) Tempo 32(28) Sept. 14, 2003: p.44-46, 48

パプア州知事が中イリアン・ジャヤ州の分離創設を批判。法律上の問題と解決策。

4 3 1

Bidikan kurang amunisi. (Hukum) Tempo 32(28) Sept. 14, 2003: p.114-116, 118

懲役 4 年の判決を言いわたされたアブ・バカ

ル・バアシル被告。検察の求刑(15 年)を大きく下回る判決の背景は？バリ島爆弾テロ被告たちの証言と 2002 年 4 月以降の経緯を解説。

4 3 2

Kontroversi vonis Ba'asyir. (Forum utama) Forum keadilan 12(19) Sept. 14, 2003: p.9-16

アブ・バカル・バアシルへのわずか 4 年の刑に対し失望の色を隠せない西側諸国。一方、弁護チーム・コーディネータは控訴の意向。

4 3 3

Setiawan Djody – “Uang saya bukan untuk beli suara.” (Wawancara) Forum keadilan 12(19) Sept. 14, 2003: p.18-25

多才な実業家スティアワン・ジョディがゴルカル党の大統領候補？氏へのインタビュー。

4 3 4

Abu Jibril – “Allah memerintahkan agar membalas orang-orang kafir itu”. (Wawancara) Tempo 32(29) Sept. 21, 2003: p.40-42, 45

JI の財務スタッフ、KMM の幹部との疑いで、2 年間の拘禁後釈放された活動家の証言。

4 3 5

Ambon – setelah empat tahun melintas (Fotografi) Tempo 32(29) Sept. 21, 2003: p.58-61

4 年にわたるアンボン異教徒間住民抗争の爪痕を写真でみる。

4 3 6

Menunggu rakyat menentukan pilihannya. (Forum utama) Forum keadilan 12(20) Sept. 21, 2003: p.10-19

112 の政党が司法・人権省に登録したものの、総選挙委員会登録に至った政党はまだ 20 のみ。一方、地方代表議会の議員候補者は約 1000 名。

4 3 7

Antara prosedur dan kepentingan politik (Forum utama) Forum keadilan 12(21) Sept. 28, 2003: p.9-19

警察は法手続きを無視して 15 名の爆弾テロ容疑者を逮捕？イスラム系団体を中心に抗議

運動が拡大。

4 3 8

Akbar Tandjung – “ Insya Allah, kalau Tuhan mengizinkan, saya menang.” (Wawancara) Forum keadilan 12(21) Sept. 28, 2003: p.20-25

ゴルカル党党首が党大会、2004 年総選挙に臨む抱負と自らの汚職疑惑を語る。

4 3 9

Mencokok alumni Afganistan – pukatan teror menjerat aktivis Masjid. (Nasional) Tempo 32(30) Sept. 28, 2003: p.26-33

テロ対策法(2003 年法律第 15 号)の発効により、次々と逮捕されるイスラム活動家。その妻たちは抗議デモを開始。

4 4 0

Memburu para pemeluk “Jamaah Islamiyah”. (Forum utama) Forum keadilan 12(22) Oct. 5, 2003: p.9-19

パキスタンが東南アジア出身の 10 数名の学生を逮捕。ジャマア・イスラミヤ幹部の弟も？

4 4 1

Ryamizard Ryacudu – “Jangan dikira TNI itu bodoh dan hanya berdiam diri.” (Wawancara) Forum keadilan 12(22) Oct. 5, 2003: p.20-25

リャミザルド陸軍参謀長が国軍改革を語る。兵士の海外教育プログラムを好まない理由。

4 4 2

Setahun Bom Bali – hanya ada satu kata: lawan! (Laporan utama) Tempo 32(33) Oct. 19, 2003: p.26-36, 38-44, 46, 48-52, 54-56, 58, 60-65, 68-72, 75-78, 80-83

バリ島爆弾テロ事件から 1 年。依然として危険なテログループを追う。

4 4 3

Pekan kejutan Yusril Ihza Mahendra. (Forum utama) Forum keadilan 12(24) Oct. 19, 2003: p.7-17

50 政党が総選挙委員会に登録。ユスリル司法人権相が違法徴収、詐欺、書類隠滅を図る？

4 4 4

Dr. Hj. Tutty Alawiyah AS – “Pemimpin harus punya kegelisahan terhadap nasib bangsa.” (Wawancara) Forum keadilan 12(24) Oct. 19, 2003: p.20-25

ゴルカル党の傘下団体から大統領選出馬を薦められた元女性問題担当国務相に聞く。

4 4 5

Konvensi Partai Golkar – calon-calon presiden dari beringin. (Laporan utama) Tempo 32(34) Oct. 26, 2003: p.24-26, 28-31  
ゴルカル党大会で大統領候補の座を争う 7 人の候補。州レベルではバクリーがトップに。

4 4 6

Misteri Al-Ghozi dibawa mati. (Nasional) Tempo 32(34) Oct. 26, 2003: p.32-34, 36  
疑念がもたれるアルゴジの死因。軍・警察の共同作戦中に射殺されたのではなく処刑か？

4 4 7

Bung Karno: 100 tahun dalam sunyi. (iQra) Tempo 32(34) Oct. 26, 2003: p.71-74, 76, 78-83  
9.30 事件以降のスカルノ演説を点検する。  
103 回の演説の内、一部を単行書に掲載。

4 4 8

Mengusut kematian Al Ghozy. (Forum utama) Forum keadilan 12(25) Oct. 26, 2003: p.9-19  
フィリピン当局によって射殺されたアルゴジ容疑者。彼はどの程度爆弾テロに関わったか。

4 4 9

Yusril Ihza Mahendra – “Pemimpin kita harus tegas, berani, dan keras.” (Wawancara) Forum keadilan 12(25) Oct. 26, 2003: p.34-41  
ユスリル司法人権相に月星党の戦略、新刑法草案作成の背景、オランダとの関係等を聞く。

4 5 0

Poso membara – menyongsong aksi maut berikutnya. (Laporan utama) Tempo 32(35) Nov. 2, 2003: p.26-30, 32-37

中スラウェシ州のポソ、モロワリ両県で村が何者かに急襲され 13 人が死亡。ラモンガン・グループやジャマア・イスラミヤとの関係を探る。1998 年以來のポソ紛争年表収録。

4 5 1

Abdullah Gymnastiar – “Saya membenci kebijakan pemerintah Bush”. (Wawancara) Tempo 32(35) Nov. 2, 2003: p.46-48, 50

バンドンの著名なキヤイがブッシュ大統領との対話を拒否した理由、国内紛争、汚職、海外移民労働者問題等を語る。

4 5 2

Prof. Dr. M. Amien Rais – “Lautan suara itu ada di kalangan rakyat kecil.” (Wawancara) Forum keadilan 12(26) Nov. 2, 2003: p.34-39  
国民信託党党首に 2004 年総選挙への抱負を聞く。大統領候補者は米国の支持が必要か？

4 5 3

Memburu Dr. Azahari – mengendus bomber berlogat Melayu. (Laporan utama) Tempo 32(37) Nov. 16, 2003: p.26-28, 30, 32-36  
テロリスト 2 人(アザハリ、ヌールディン)の足取りを検証する。マリオット・ホテル爆弾テロでアザハリはどのような行動を取ったか。

4 5 4

Menteri negara GAM, Malik Mahmud al-Haytar – “Kami belum kalah”. (Wawancara) Tempo 32(37) Nov. 16, 2003: p.48-50, 52  
独立アチェ運動の国務大臣が EU 議会でアチェにおける人権侵害に関し演説。国際電話を使った同大臣へのインタビュー記録。

4 5 5

Membebat luka di Maluku. (Selingan) Tempo 32(37) Nov. 16, 2003: p.71-74, 76, 81-85  
長引くマルク州異教徒間紛争が残した数々の問題。テンボ誌記者と米国の NGO が現地を視察。

4 5 6

Siapa presiden pilihan kiai – daftar tunggu kiai langitan. (Laporan utama) Tempo 32(38) Nov. 23, 2003: p.24-35

国会議員選挙、大統領選挙を前に大統領候補者が頻繁にイスラム導師を訪問。政治家の心を見抜き助言する著名な導師たちを紹介。

4 5 7

Kasus Tanjung Priok – tiada damai sebelum putusan. (Hukum) Tempo 32(38) Nov. 23, 2003: p.104-108, 110

和解提案を前に亀裂が入るタンジュン・プリオク事件の犠牲者家族。判決への影響は？

4 5 8

Demokrasi kuat-kuatan ala partai besar. (Nasional) Forum keadilan 12(28) Nov. 23, 2003: p.56-61

権力争奪戦の様相を呈してきたキャンペーン前の各政党。総選挙委員会委員に聞く。

4 5 9

Tragedi Larantuka – rekuem seusai vonis. (National) Tempo 32(39) Nov. 30, 2003: p.34-37

一神父への有罪判決後、ララントゥカの地裁、地検が民衆によって放火された背景を探る。

4 6 0

Mayjen (TNI) Sriyanto Muntasram – “Saya siap dihukum”. (Wawancara) Tempo 32(39) Nov. 30, 2003: p.44-46, 48

タンジュン・プリオク港湾地区で1984年9月に発生した軍による民衆殺傷事件で、被告人となった同軍管区作戦担当の元大尉に聞く。

4 6 1

Partai Karya Peduli Bangsa – uji coba dari Cendana. Tempo 32(41) Dec. 14, 2003: p.24-28, 30-33

民族憂慮機能党と同党の推す次期大統領候補スハルトの長女に対する国民の反応。

4 6 2

Yusril Ihza Mahendra – “Saya tidak happy.” (Wawancara) Tempo 32(41) Dec. 14, 2003: p.44-47

自らの1900万ルピアの月給を余りに小額と嘆く司法人権大臣。月星党の現況と得票予測。

4 6 3

Gus Dur langsung mengira ada ninja jilid 2. (Forum utama) Forum keadilan 12(29) Dec. 14, 2003: p.11-23

民族覚醒党の名士殺害事件には当局が関与？異なるワヒド前大統領とナフダトゥール・ウラマ総裁ハシム・ムザディの見解。

4 6 4

HR Hartono – “Jika Tutut presiden, Pak Harto ditangani secara fair.” (Wawancara) Forum keadilan 12(29) Dec. 14, 2003: p.68-73

総選挙への参加が決まった民族憂慮機能党の党首に聞く。同党の大統領候補はスハルトの長女か？メガワティ政権の「改革」の欠点は？

4 6 5

Berlomba menjual nama Sukarno – politik aliran dinasti Sukarno. (Laporan utama) Tempo 32(42) Dec. 21, 2003: p.24-30, 32-37  
スカルノの娘3人が次期総選挙で対決。スカルノの政治思想を背景にした5政党の特質と政治家、学生、宗教界、研究者の評価。

4 6 6

Titik terang rekonsiliasi nasional. (Fokus) Forum keadilan 12(30) Dec. 21, 2003: p.53-67

9.30事件後の大量虐殺事件でできた国民間の亀裂をどう修復するか？和解の方法を外国の経験から学ぶ。

## 2004年（政治）

467

Presiden baru pilihan rakyat. (Nasional) Tempo 32(44) Jan. 4, 2004: p.26-44, 46-54, 56-58, 60-66, 70-81, 88-89

大統領有力候補へのインタビュー、世論調査結果、各候補の強みと弱みの分析、他を収録。

468

Kekejian dan keserakahan. (Nasional) Tempo 32(44) Jan. 4, 2004: p.98-102, 104-108

2003年に生じた国内のテロ、紛争、暴動、等を振り返る。

469

Berjuang membela nama beken. (Selingan) Tempo 32(44) Jan. 4, 2004: p.180-190, 192-193.

4月の国会、地方議会選挙に24政党の参加が決定。注目される新政党と党首、党が推す大統領候補。著名人を神輿に乘せる傾向が大？

470

Bertumpuk RUU di gudang DPR. (Forum utama) Forum keadilan 12(32) Jan. 4, 2004: p.11-47

法案がたまるばかりの国会。政党、企業の利益優先の姿勢と怠惰さがその原因か？刑法、報道法、地方行政法、農園法、中銀法の各改正案および水資源法のどこが問題になっているか。

471

Sarjono Kartosoewirjo – “Kami tidak pernah tahu di mana kuburannya.” (Wawancara) Forum keadilan 12(32) Jan. 4, 2004: p.80-84

ダルル・イスラム運動指導者の末子へのインタビュー記事。「父の墓の所在も知らない」。

472

Menjelang Pemilu 2004 – sulitnya menangkul dana siluman. Tempo 32(45) Jan. 11, 2004: p.26-34

選挙資金を公開しようとしないうる政党。立候補選挙区をめぐる中央と地方の駆け引き。

473

Maksud hati menjaring yang busuk. (Laporan utama) Tempo 32(46) Jan. 18, 2004: p.24-28, 30-31

NGOを中心に進められる反腐敗政治家キャンペーン。総選挙前のリスト化は時間との戦い。

474

Politisi busuk versi LSM – koq masyarakat diajak main tebak-tebakan. (Forum utama) Forum keadilan 12(33) Jan. 18, 2004: p.11-21

NGO団体が繰り広げる腐敗政治家告発運動。一人権活動家はアリフィン・パニゴロ、ヌルデイン・ハイド、アクバル・タンジュンを名指し。

475

Pasang surut etnis Tionghoa. (Fokus) Forum keadilan 12(34) Jan. 25, 2004: p.49-61

旧正月が休日となった中国系インドネシア人。その国内政治への関与の度合いを振り返る。

476

Harry Tjan Silalahi – “Pelayanan Imlek hampir kebablasan”. (Wawancara) Tempo 32(48) Feb. 1, 2004: p.36-38, 40

中国旧正月の行き過ぎた祭典を懸念する戦略国際問題研究所の創立者。中国系インドネシア人と国民形成の問題を語る。

477

Wawancara Menteri Dalam Negeri Hari Sabarno – “Parpol yang menang jangan arogan, yang kalah harus ikhlas menerima kekalahan”. Tempo 32(49) Feb. 8, 2004: p.[64]-[71]

国会・地方議会選挙、地方代表議会選挙、大統領直接選挙を前に、中央、地方政府の準備状況、キャンペーンから集票までの問題点を聞く。

478

Agustadi Sasongko Purnomo – “Dalam pemilu prajurit Kodam Jaya harus netral.” (Wawancara) Forum keadilan 12(36) Feb. 8, 2004: p.74-78

ジャカルタ軍管区司令官に総選挙対策を聞く。現況をみる限り暴動は起こらないと発言。

4 7 9

Di gerbang kebebasan Akbar. (Laporan utama) Tempo 32(50) Feb. 15, 2004: p.[24]-28, 30-32, 34-38

最高裁がアクバル国会議長を無罪放免する可能性高まる。ゴルカルの大統領候補者を読む。

4 8 0

Susilo Bambang Yudhoyono – “Soal pencalonan presiden, saya sudah ‘firm’”. (Wawancara) Tempo 32(50) Feb. 15, 2004: p.46-48, 50

ユドヨノ政治・治安担当調整相が語る総選挙、アチェ軍事作戦、国際テロ対策。

4 8 1

Caleg-caleg yang diisukan beraroma “kiri”, (Forum utama) Forum keadilan 12(37) Feb. 15, 2004: p.11-23

旧共産党支持者の子供や左翼系とみなされた議員候補への差別は是正されるか。総選挙委員会委員とイスラム系政党の議員に聞く。

4 8 2

Ilham Aidit – “Benar-benar membuat saya marah.” (Wawancara) Forum keadilan 12(37) Feb. 15, 2004: p.24-28

アイディット・インドネシア共産党議長の息子が過去を回想するインタビュー記事。

4 8 3

Setelah kebebasan Akbar – balik kanan ke Widya Chandra. (Laporan utama) Tempo 32(51) Feb. 22, 2004: p.[24]-28, 30-37

収賄容疑で禁固3年を言い渡されたゴルカル党党首に最高裁が法的拘束から解放する逆転判決。党内で慌しくなる大統領選への動き。

4 8 4

Pemilu dan NU – membujuk NU, sekali lagi. (Nasional) Tempo 32(52) Feb. 29, 2004: p.24-30

総選挙を前にナフダトゥール・ウラマ総裁に接近する闘争民主党。ウィラントはワヒド前大統領とともにプサントレン・ラギタンを訪問。

4 8 5

Diskriminasi PKI – setelah 38 tahun dibelenggu. (Laporan utama) Tempo 33(1) Mar. 7, 2004: p.24-32

憲法裁判所が元インドネシア共産党員の被選挙権を回復。元党員を差別する法令の内容、差別解消までの道程を綴る。

4 8 6

Jimly Asshiddiqie – “Bangsa ini jangan terjerumus pada dendam sejalalah”. (Wawancara) Tempo 33(1) Mar. 7, 2004: p.46-48, 50

元インドネシア共産党員に被選挙権を与える判決を下した憲法裁判所長官がその背景を語る。

4 8 7

Pesangon para wakil rakyat. (Fokus) Forum keadilan 12(40) Mar. 7, 2004: p.49-61

様々な名目で地方議会議員に支給される手当。モラルの低下を批判するデモが各地で発生。

4 8 8

Susilo Bambang Yudhoyono – akrobat politik SBY. (Laporan utama) Tempo 33(2) Mar. 14, 2004: p.24-30

トーフック・キマスの発言でメガワティとユドヨノ間に亀裂。2000年以降のユドヨノ関連事件のクロノロジー収録。

4 8 9

Nazaruddin Sjamsuddin – “KPU bukan *Superman*”. (Wawancara) Tempo 33(2) Mar. 14, 2004: p.40-42, 44

インドネシア総選挙委員会議長が総選挙前の準備状況、問題点を語る。

4 9 0

Komisi pemilihan umum belum juga berterus terang. (Forum keadilan) Forum keadilan 12(41) Mar. 14, 2004: p.11-21

心配される総選挙準備の遅れ。投票用紙の印刷と僻地への輸送は間に合うか？

4 9 1

H. Maiyasyak Johan, SH, MH – “Saya tak akan meninggalkan rakyat.” (Wawancara) Forum keadilan 12(41) Mar. 14, 2004: p.68-72

北スマトラ州第3選挙区で開発統一党候補者の名簿順第1位に記載された候補者の政見。

4 9 2

Bupati Kampar, H. Jefry Noer – “Itu soal kecil.” (Kabupaten Kampar) Forum keadilan 12(41) Mar. 14, 2004: p.88-93

職を退かされたカンパル県知事へのインタビュー記事。これまでの業績と議会との関係。

4 9 3

Ingar-bingar dana kampanye. (Laporan utama) Tempo 33(3) Mar. 21, 2004: p.24-28, 30-32, 34-35

3政党を除いて未だに総選挙委員会に報告されない選挙運動資金の出所。各政党、地方代表議会議員候補者のキャンペーンのルポ。

4 9 4

Susilo Bambang Yudhoyono – “Menurut etika, saya harus mengalah”. (Wawancara) Tempo 33(3) Mar. 21, 2004: p.44-46, 48

政治・治安調整相の座を降りたユドヨノに辞任の経緯、メガワティ大統領との関係を聞く。

4 9 5

Komarudin Hidayat – “Setiap partai yang melanggar aturan kami tindak sesuai prosedur.” (Wawancara) Forum keadilan 12(42) Mar. 21, 2004: p.72-[76]

総選挙監視委員会委員長へのインタビュー。規約に沿って違反政党を措置？

4 9 6

Siapa mau jadi antek Soeharto – partai antek dan dagangan Orde Baru-nya. (Laporan utama) Tempo 33(4) Mar. 28, 2004: p.24-35

スハルトの「手足」になれ、とハルトノ民族憂慮職能党党首が発言。各界から批判が噴出。

4 9 7

Pengungsi Aceh di Malaysia – memburu

suaka ke negeri tetangga. (Nasional) Tempo 33(4) Mar. 28, 2004: p.36-38, 40-42  
戒厳令下のアチェを逃れてマレーシアへ渡る難民が増加？難民認定までの困難な過程。

4 9 8

Gerakan separatis Basque. (Fokus) Forum keadilan 12(43) Mar. 28, 2004: p.49-61

スペイン・バスク地方、アチェ、パプアにおける分離独立運動の歴史を探る。

4 9 9

Orang Islam pilih apa? – meredup setelah lima dasawarsa. (Laporan utama) Tempo 33(5) Apr. 4, 2004: p.26-28, 30, 32-35

1955年42%、1999年34%と得票率を減らすイスラム政党に挽回策はあるか？各政党の戦略とキャンペーンの様子。

5 0 0

Profesor Deliar Noer – “Mereka hanya mencari posisi dan jabatan pribadi”. (Wawancara) Tempo 33(5) Apr. 4, 2004: p.52-54, 56

スハルト時代に弾圧された政治学者がイスラム政党、1955年総選挙、軍と政治、元インドネシア共産党員の被選挙権復権を語る。

5 0 1

Satu pemilu, berlipat ongkos. (Investigasi) Tempo 33(5) Apr. 4, 2004: p.67-70, 72-76, 78-80

選挙用紙、印刷費、投票箱等の選挙委員会設定価格が市場価格の145%から295%になった背景を探る。

5 0 2

Inilah sang pemenang – setinggi gunung, seribu janji. (Laporan utama) Tempo 33(6) Apr. 11, 2004: p.24-35

総選挙の勝利者は誰か？各政党の公約、政党支持率の変化、都市部農村部別支持者割合、政党別支持者の最終学歴等の調査結果を収録。

5 0 3

Surya Paloh – “Masih banyak koruptor di Partai Golkar. (Wawancara) Tempo 33(6)



Apr. 11, 2004: p.44-46, 48  
 メトロ TV オーナーでゴルカル党大統領候補の一人が党内の汚職、大統領選を語る。

5 0 4  
 SBY siapa yang punya – tiga menguak takdir. (Laporan utama) Tempo 33(7) Apr. 18, 2004: p.24-30, 32-34, 36-37  
 大勢が判明した総選挙結果。民主主義者党、福祉正義党、福祉平和党が躍進した背景。

5 0 5  
 Hidayat Nurwahid – “Kami ingin mengganti kepemimpinan nasional”. (Wawancara) Tempo 33(7) Apr. 18, 2004: p.46-48, 50  
 2004 年総選挙で躍進した福祉正義党党首に聞く。他政党との連携、党が描く大統領候補等。

5 0 6  
 Kanan kiri, presiden dicari – saling silang mencari sekondan. (Laporan utama) Tempo 33(8) Apr. 25, 2004: p.24-35  
 7 月の大統領選を見据えて各大統領候補が副大統領候補を探す水面下の動きが活発化。

5 0 7  
 Amien Rais – “Pemilu presiden merupakan *the last battle*”. (Wawancara) Tempo 33(8) Apr. 25, 2004: p.42-44, 46  
 大統領候補の一人アミン・ライスのパートナーは誰？氏が大統領選に臨む戦略を語る。

5 0 8  
 Bang Buyung pun menjadi tidak mengerti. (Forum utama) Forum keadilan 12(46) Apr. 26, 2004: p.11-22  
 ー NGO 団体主催の会合から始まった小政党の選挙結果不承認運動。国際法廷に告訴？

5 0 9  
 Adnan Buyung Nasution -- “Saya sudah wanti-wanti agar jangan terburu-buru.” (Wawancara) Forum keadilan 12(46) Apr. 26, 2004: p.23-27  
 ー法律擁護機関の設立者 A.B.ナスティオンに議会選挙の集票やり直しの可能性を聞く。

5 1 0

Para kandidat presiden – langkah kuda Jenderal Wiranto. (Laporan utama) Tempo 33(9) May 2, 2004: p.24-28, 30-38  
 ゴルカル党大会でウィラントが同党の大統領候補に選出。決選投票の舞台裏で何が起きたか？他の大統領候補の動静も収録。

5 1 1  
 Jusuf Kalla – “Saya memang oportunis”. (Wawancara) Tempo 33(9) May 2, 2004: p.46-48, 50  
 ゴルカル党の大統領候補者の一角を占めていたユスフ・カラが党大会への参加を取りやめ、ユドヨノとペアに。氏が展望する大統領選。

5 1 2  
 Biar dibilang sakit, Gus Dur enggan mundur. (Forum utama) Forum keadilan 13(1) May 2, 2004: p.11-23  
 健康診断でふるい落とされる可能性が高いものの、大統領候補として出馬する意向が強いワヒド前大統領。出馬反対運動も発生。

5 1 3  
 Andi Malarangeng – “Yang kita tolak adalah militerisme.” (Wawancara) Forum keadilan 13(1) May 2, 2004: p.66-70  
 国民民主統一党をリャーアス・ラシッドと立ち上げたアンディ・マラランゲンに大統領選の予想を聞く。

5 1 4  
 Strategi jitu Mr. Wiro. (Nasional) Forum keadilan 13(1) May 2, 2004: p.84-87  
 ゴルカル党大統領候補選考会でアクバルを破ったウィラント元国軍司令官の戦略。

5 1 5  
 Langkah zig-zag Gus Dur – ditunggu atau ditinggal. (Laporan utama) Tempo 33(10) May 9, 2004: p.24-28, 31-34  
 メガワティとウィラントが副大統領候補として狙う NU 総裁。ワヒド前大統領は拒否の構え。虚実の駆け引きが続く政界。

5 1 6  
 Berdarah lantaran benang raja. (Nasional) Tempo 33(10) May 9, 2004: p.36-39

中央政府がデモの是非に無回答のまま南マ  
ルク共和国独立派のデモが進行し 36 名の死者  
を出す暴動に発展。軍の射撃手が火を注ぐ？

5 1 7

Iwan Fals – “Saya bermimpi tak ada  
tentara.” (Wawancara) Tempo 33(10)  
May 9, 2004: p.52-54, 56

著名なシンガーソングライターが語る次期  
大統領像と軍隊のいない社会。

5 1 8

Geliat oposisi menjelang peralihan  
kekuasaan. (Forum utama) Forum  
keadilan 14(2) May 9, 2004: p.11-23

大統領選を前に活発化する反体制党の運動。

5 1 9

Dr. Salim Said – “Kita tidak memerlukan  
orang kuat.” (Wawancara) Forum  
keadilan 14(2) May 9, 2004: p.66-70

政治学者が昨今の政治情勢を分析。

5 2 0

Rebutan bintang PB itu. (Nasional) Forum  
keadilan 14(2) May 9, 2004: p.88-91

ナフダトゥール・ウラマ総裁をゴルカル党と  
闘争民主党が副大統領候補として奪い合い。ペ  
アを組むのはウィラントかメガワティか？

5 2 1

Kwik Kian Gie – “Wiranto pesaing kuat  
Mega”. (Wawancara) Tempo 33(11) May  
16, 2004: p.44-46, 48-49

自らが属する闘争民主党を批判し党に叱責  
されたクウィク氏が大統領直接選挙を予測。

5 2 2

Sarwono Kusumaatmadja – “Akan terjadi  
kejutan dalam pemilihan presiden.”  
(Wawancara) Forum keadilan 14(3) May  
16, 2004: p.72-76

サルウォノ元環境相が大統領選挙を予測。

5 2 3

Wangi cendana di pohon beringin – Cendana  
mau Wiranto? (Laporan utama) Tempo  
33(12) May 23, 2004: p.[24]-28, 30-31

民族憂慮職能党のスハルト長女が大統領選  
でウィラント支持。ゴルカル党は警戒の姿勢。  
ハルトノ元情報相とウィラントへのインタビ  
ュー記録を収録。

5 2 4

K. H. Hasyim Muzadi – “Saya tak perlu  
restu Gus Dur”. (Wawancara) Tempo  
33(12) May 23, 2004: p.42-44-46

大統領選でメガワティと組むハシム・ムザデ  
ィNU総裁がワヒド前大統領との関係、NU・  
民族覚醒党間の関係等について語る。

5 2 5

Mendulang suara lewat tim sukses. (Forum  
utama) Forum keadilan 14(4) May 23,  
2004: p.11-21

始動する各大統領・副大統領ペアの選対チー  
ム。ウィラント候補チーム長に聞く。

5 2 6

Sholahudin Wahid – “Jangan sampai saya  
menjadi wakil presiden pajangan.”  
(Wawancara) Forum keadilan 14(4) May  
23, 2004: p.74-78

ワヒド前大統領の実弟で国家人権委員会副  
委員長のソラフディンが人権侵害の疑いがか  
かるウィラント元国軍司令官と組む理由。

5 2 7

Kontes mahal menuju puncak – geliat tim  
sukses calon presiden. (Laporan utama)  
Tempo 33(13) May 30, 2004: p.24-28

健康条件を満たさないとして立候補が否認  
されたグス・ドウル（ワヒド前大統領）。始動す  
る 5 組の候補者ペアの選対チーム。

5 2 8

Pembebasan sandera GAM. (Nasional)  
Tempo 33(13) May 30, 2004: p.30-34,  
36-42

アチェ独立運動武装組織の人質となった一  
民放カメラマンが救出されるまでの過程。

5 2 9

Ferry Santoro – “GAM sempat mengancam  
membunuh saya”. (Wawancara) Tempo  
33(13) May 30, 2004: p.50-52, 54

アチェ独立運動武装組織から解放された民放カメラマンへのインタビュー記事。

5 3 0

Serangan badai capres militer. (Forum utama) Forum keadilan 14(5) May 30, 2004: p.11-21

あちらこちらで妨害行為に出くわす国軍出身の大統領候補。労働力相が軍出身候補に反対する学生運動に資金援助したのは本当か？

5 3 1

Dr. Bachtiar Effendy – “Tidak otomatis Wiranto memiliki kans paling besar.” (Wawancara) Forum keadilan 14(5) May 30, 2004: p.70-73

一政治学者が大統領選の諸側面を予測したインタビュー記事。

5 3 2

Bahasa laten militerisme? – lagu sumbang soal militer. (Laporan utama) Tempo 33(14) June 6, 2004: p.24-32

活発化する軍出身大統領候補に対するネガティブ・キャンペーン。5組の候補者の背後に控える退役軍人名と最終軍位階を収録。

5 3 3

Ketika para elit NU terjebak ambisi pragmatis. (Forum utama) Forum keadilan 14(6) June 6, 2004: p.11-22

1人の大統領候補者、3人の副大統領候補者を出し、分裂するナフダトゥール・ウラマ。

5 3 4

Pilpres: rakyat memilih langsung. (Fokus) Forum keadilan 14(6) June 6, 2004: p.37-53

憲法第3次改正で規定された大統領・副大統領直接選挙は明るい民主主義時代の幕開けか？独立準備調査会の議論を振り返る。

5 3 5

Mega di simpang perjuangan – di tengah ragu berharap mukjizat. (Laporan utama) Tempo 33(15) June 13, 2004: p.26-30, 32-33

最近頻繁にテレビに出演し始めたメガワテ

ィ。7月5日の投票ではユドヨノに続く得票をウィラントと争う展開か？各界計6名に聞いたメガワティ評と大統領選勝利の可能性。

5 3 6

Sidney Jones harus tinggalkan Indoensia. (Forum utama) Forum keadilan 14(7) June 13, 2004: p.12-21

国際危機グループのシドニー・ジョーンズがビザの延長を認められず、事実上の国外退去命令。民主化の危機？「新秩序」期に逆戻り？

5 3 7

Sidney Jones – “Saya berharap bias kembali ke Indonesia secepatnya”. (Wawancara) Forum keadilan 14(7) June 13, 2004: p.22-25

シドニー・ジョーンズが司法人権省地方支部から国外退去命令を受けるまでの経緯を語る。

5 3 8

Noda hitam dana kampanye. (Nasional) Tempo 33(16) June 20, 2004: p.24-26, 28-31

国際NGOに指摘される不透明な選挙運動資金。予算を下回る寄付金の報告をしたり、資金の出所を明らかにしない候補者たち。

5 3 9

Kay Rala Xanana Gusmao – “Teriak ‘Tangkap Wiranto!’ itu mudah”. (Wawancara) Tempo 33(16) June 20, 2004: p.38-40, 42

ウィラントの逮捕令状を却下したグスマン東ティモール大統領が同氏と会合。インドネシア国軍による過去の人権侵害をどうみるか。

5 4 0

Perseteruan dua jenderal “Pam Swakarsa”. (Forum utama) Forum keadilan 14(8) June 20, 2004: p.11-21

1998年11月の国民協議会特別会議を守護する警備団の資金を不正流用したと一退役陸軍少将に訴えられたウィラント退役陸軍大将。

5 4 1

Ihwal fatwa presiden wanita. (Fokus) Forum keadilan 14(8) June 20, 2004:

p.35-46  
女性大統領がイスラム教義に適合するかしないかで2分されたイスラム法学者、知識人。

5 4 2  
Azumardi Azra – “Fatwa haram bisa menimbulkan konflik fisik antar warga NU”. (Wawancara) Forum keadilan 14(8) June 20, 2004: p.64-67  
女性大統領を禁ずるイスラム法学者の宗教上の判断をイスラム大学学長が分析する。

5 4 3  
Laksamana Sukardi – “*Communication skill* Megawati lemah”. (Wawancara) Tempo 33(17) June 27, 2004: p.46-48, 50  
メガ・センター代表ラクサマナ・スカルディがメガワティ大統領、闘争民主党、7月27日事件等に持論を展開。

5 4 4  
Sebuah buku dan aib serdadu. (Laporan utama) Tempo 33(17) June 27, 2004: p.28-32, 34, 36-39  
退役陸軍少将が大統領候補ウィラントを告発。国軍内の亀裂、国民協議会特別会議を前にした自警団結成へのウィラントの介入などを自書に記述。ファドリ・ゾンの著作に続くウィラント攻撃。

5 4 5  
Ancaman tentara “Rambo” dari pantai Singapura. (Forum utama) Forum keadilan 14(9) June 27, 2004: p.11-21  
米国艦隊のマラッカ海峡駐留案に賛意を示したシンガポール。テロリストが住むと米国が考えるマレーシア、インドネシアへの圧力か？

5 4 6  
Asmara Nababan – “Masa depan penegakan HAM semakin suram”. (Wawancara) Forum keadilan 14(9) June 27, 2004: p.64-68  
2人の国軍出身大統領候補の一人が大統領に選出された場合に予想される人権状況の悪化。人権 NGO 代表の一人に聞く。

5 4 7

PKS kubu Wiranto versus PKS kubu Amien Rais; antara koalisi ideal dan koalisi strategis. (Forum utama) Forum keadilan 14(10) July 4, 2004: p.11-22  
福祉正義党が大統領選でウィラント支持かアミン・ライス支持かで分裂？同党の830万票を狙うゴルカル党と国民信託党。

5 4 8  
Saiful Mujani – “Kampanye negative memang perlu.” (Wawancara) Forum keadilan 14(10) July 4, 2004: p.56-60  
フリーダム・インスティテュートの研究者が大統領選挙結果を予測。ブラックキャンペーンは必要と主張。

5 4 9  
Setelah keduanya melaju. (Laporan utama) Tempo 33(19) July 11, 2004: p.26-30  
大統領選決戦投票に進むことがほぼ決まった SBY とメガワティ組。大統領候補者たちの2003年6月以来の支持率変動表を収録。

5 5 0  
K. H. Mustofa Bisri – “NU seperti orang kemaruk”. (Wawancara) Tempo 33(19) July 11, 2004: p.40-42, 44  
著名な NU 幹部が NU と大統領選との関わりについて発言。

5 5 1  
Semua calon presiden bermasalah. (Forum utama) Forum keadilan 14(11) July 11, 2004: p.11-22  
5組の大統領・副大統領候補に纏わる多くの問題。CSIS 研究員による各候補の評価を収録。

5 5 2  
Ray Rangkuti – “Ingkari janji, presiden – wakil presiden terpilih bisa di-impeachment. (Wawancara) Forum keadilan 14(11) July 11, 2004: p.58-62  
選挙監視 NGO 代表に聞く。公約を破った大統領・副大統領の弾劾は可能か？その方法は？

5 5 3  
Sayup-sayup berebut pengikut. (Laporan utama) Tempo 33(20) July 18, 2004:

p.28-39

大統領選第1回投票の総括記事。多くの有権者が支持政党の掲げる候補に投票しなかったため、ユドヨノが1651万票の水増し票を獲得。同候補へのインタビュー記事収録。

5 5 4

Komaruddin Hidayat – “KPU menganggap kami pengganggu”. (Wawancara) Tempo 33(20) July 18, 2004: p.50-52, 54-[55]  
総選挙監視委員会議長が大統領選を評価。

5 5 5

Jimmy Carter pun menjadi kagum. (Forum utama) Forum keadilan 14(12) July 18, 2004: p.11-21  
大統領直接選挙選挙特集。アミン・シスウォノ組敗退の背景。カーター元米大統領、海外選挙監視 NGO 代表へのインタビュー記事収録。

5 5 6

Smita Notosusanto – “Terlalu dini untuk menyimpulkan pemilu Indonesia demokratis”. (Wawancara) Forum keadilan 14(12) July 18, 2004: p.56-60  
外国の選挙監視員や団体が表明する今回の選挙への甘い評価に対し、一選挙監視 NGO 代表が苦言と批判。

5 5 7

Kasak-kusuk calon cabinet – SBY, Mega, umumkan kabinetmu! (Laporan utama) Tempo 30(21) July 25, 2004: p. 24-26, 28-32  
SBY またはメガワティが大統領に選出された時、閣僚に抜擢されるのは誰か。決戦投票の展開も予測。

5 5 8

Laksamana TNI Bernard Kent Sondakh – “Angkatan Laut bukan centeng”. Tempo 30(21) July 25, 2004: p.46-48, 50  
海賊による犯罪が後を絶たないマラッカ海峡の安全とテロ対策を海軍大將が語る。

5 5 9

Slamet Effendy Yusuf – “Kami tidak akan menentukan sikap sebelum 26 Juli”.

(Wawancara) Forum keadilan 14(13) July 25, 2004: p.56-59

大統領選第1回投票の正式結果発表を待つウィラント選対チームの議長に聞く。

5 6 0

Siapa ‘game over’? – Kartu Truf di putaran kedua. (Laporan utama) Tempo 33(22) Aug. 1, 2004: p.26-32, 34-35  
大統領選決戦投票を前に1996年7月27日の民主党本部襲撃事件へのSBYの関与説が浮上。メガワティは襲撃計画を知っていた？事件以降8年間の出来事を追う。

5 6 1

Akbar Tandjung – “Kami tidak meninggalkan Wiranto”. (Wawancara) Tempo 33(22) Aug. 1, 2004: p.46-48, 50-51  
ウィラント＝サラフディン組の敗北がほぼ確定し、ゴルカル党党首としての次の手が注目されるアクバル党首。全力の支持はなかった？

5 6 2

Akbar Tandjung – “Mega lebih serius ketimbang SBY.” (Wawancara) Forum keadilan 14(14) Aug. 1, 2004: p.[56]-60  
ゴルカル党党首にウィラント＝ワヒド組敗退後の大統領選の展開を聞く。

5 6 3

Pembatalan UU No. 16 Tahun 2003 – rusak nasi karena ceroboh. (Laporan utama) Tempo 33(23) Aug. 8, 2004: p.26-30, 32-38  
憲法裁判所が反テロ法のバリ島爆弾テロ事件への不適用判決。その政治的背景を探る。

5 6 4

Inspektur Jenderal Pol. Firman Gani – “Bom itu hanya untuk menarik perhatian.” (Wawancara) Forum keadilan 14(15) Aug. 8, 2004: p.60-64  
ジャカルタ警察署長に大統領選決選投票を前にした首都圏治安への取り組みを聞く。

5 6 5

Wiranto, cukup sudah... – kontainer tak mampir di Mahkamah Konstitusi. (Laporan utama) Tempo 33(24) Aug. 15,

2004: p.26-28, 30-32, 34-35

大統領選第1回投票で次点になったウィラント・サラフディン組が不正に500万票以上が失われたと憲法裁判所に再計算を申請。

5 6 6

Pengamat militer versus tentara. (Forum utama) Forum keadilan 14(16) Aug. 15, 2004: p.11-22

国軍法案が軍の二重機能復活の可能性を含むと批判する勢力に現職の国軍司令官が反論。

5 6 7

Kusnanto Anggoro – “Bukan kami yang lakukan pembodohan masyarakat, tapi mereka.” (Wawancara) Forum keadilan 14(16) Aug. 15, 2004: p.[58]-62

戦略国際問題研究所の政治研究者が国軍法案の問題点を条文ごとに指摘。

5 6 8

Menebak arah bandul politik Golkar – lain pucuk, lain akar dan ranting. (Laporan utama) Tempo 33(25) Aug. 22, 2004: p.92-94, 96, 98-101

メガワティ＝ハシム組を正副大統領に担ぎ上げたいゴルカル党党首。他方、地方支部では大部分がユドヨノ・カラ組を支持。カラは水面下でゴルカル党の分裂を画策？

5 6 9

Harry Roesli – “Rakyat cuma dikibulin elite politik.” (Wawancara) Tempo 33(25) Aug. 22, 2004: p.106-108, 110

バンドン出身のシンガーソングライターが現在の政治を語る。

5 7 0

Kekuasaan terancam, koalisi dibentang – menebar sesanti untuk Megawati. (Laporan utama) Tempo 33(26) Aug. 29, 2004: p.28-34, 36-37

メガワティ再選のため各国営企業に働きかけるラクサマナ。メガワティも新規プロジェクト発足式への出席が急増。

5 7 1

SBY disodok isu CIA. (Forum utama)

Forum keadilan 14(18) Aug. 29, 2004: p.11-21

米国がテロ撲滅構想と結びつけて軍出身の大統領候補を支持？6万の海外情報員がインドネシアに入国？その真相を探る。

5 7 2

Bagi-bagi kursi menteri – koalisi bermesin iming-iming. (Nasional) Tempo 33(27) Sept. 5, 2004: p.26-33

ゴルカル党と闘争民主党が大統領選決戦投票で連携合意。メガワティ陣、ユドヨノ陣ともに人材の引き抜き合戦が激化。

5 7 3

Abdul Hakim Garuda Nusantara – “Pengaruh militer terasa di pengadilan hak asasi.” (Wawancara) Tempo 33(27) Sept. 5, 2004: p.54-56, 58

タンジュン・プリオク事件(1984年9月)の裁判で、元国軍将校たちが無罪放免に。国家人権委員会議長が国軍と人権裁判を語る。

5 7 4

Benny Moerdani – seorang kakek, seorang loyalis. (Obituari) Tempo 33(28) Sept. 12, 2004: p.42-47, 49

元国軍司令官ベニ・ムルダニ追悼記事。1945年以来の国軍における足跡を振り返る。

5 7 5

Apa gunanya rudal kalau bukan untuk perang? (Forum utama) Forum keadilan 14(20) Sept. 12, 2004: p.11-22

オーストラリアはなぜ射程距離400キロの最新式ミサイルを購入したか。国際政治学者デウィ・フォルトゥナ氏に聞く。

5 7 6

Wakil rakyat yang merisaukan. (Fokus) Forum keadilan 14(20) Sept. 12, 2004: p.[37]-45

地方議会新議員の就任式に対し各地で反対デモ。汚職疑惑がもたれる議会のリスト収録。

5 7 7

Fahmi Idris – “Bagaimana jika Megawati-Kalla.” (Wawancara) Forum

keadilan 14(20) Sept. 12, 2004: p.60-64

ユスフ・カラを含むゴルカル党革新フォーラムが設立。メガワティ＝ハシム組を支持する同党指導部との関係はどうなるか。

5 7 8

Pemilihan presiden 2004 – “lingkaran satu” menggiring ke kursi RI 1. (Laporan khusus) Tempo 33(29) Sept. 19, 2004: p.26-28, 30-32, 34-40, 42-47, 50-60, 62-72, 74-76, 78, 80-86, 88, 91-100, 102-104, 106-110, 112-114, 116-117

決選投票に残った 2 組の大統領・副大統領候補を支える選対チームのメンバーの紹介。両陣営の人脈図を探る。

5 7 9

Bom Kuningan untuk siapa? – pagi berdarah di Kuningan. (Nasional) Tempo 33(29) Sept. 19, 2004: p.120-122, 124-128

豪大使館前で爆弾テロが発生。昨年のマリオット・ホテルと手口が酷似。ドクター・アザハリが疑われる理由。

5 8 0

Harold Crouch – “Dianggap sekutu Amerika, Australia jadi sasaran teroris.” (Wawancara) Tempo 33(29) Sept. 19, 2004: p.136-138, 140-141

政治学者ハロルド・クラウチが豪大使館前テロ事件の背景とインドネシアの政軍関係をつつたインタビュー記事。

5 8 1

Bom untuk Australia, kematian bagi warga Indonesia. (Forum utama) Forum keadilan 14(21) Sept. 19, 2004: p.11-21

オーストラリア大使館前の爆弾テロ事件はなぜ起こったか。2000～2004 年に起こった 25 件の爆弾テロ事件をリスト化して解説。

5 8 2

Menelisik dana asing di kantong capres. (Fokus) Forum keadilan 14(21) Sept. 19, 2004: p.[37]-45

大統領選決戦投票を前にした外国からの政治資金の流入はあるか。米国の事例を紹介。

5 8 3

Fauzan Al Anshari – “Bom Kuningan bagian dari konspirasi Amerika Cs.” (Wawancara) Forum keadilan 14(21) Sept. 19, 2004: p.60-64

ーイスラム組織ジャカルタ支部長が豪大使館前爆弾テロの背景として米国の謀略を指摘。

5 8 4

Susilo Bambang Yudhoyono Presiden RI 2004-2009. Tempo 33(30) Sept. 26, 2004: p.26-28, 30, 32-34

大統領直接選挙決選投票の大勢が判明。鳴りやまぬ携帯電話の処理に追われるメガワティの夫トーフック・キマス。ここ 2～3 カ月で得票予測機関の数値はどう変動したか？

5 8 5

Doktor Bom dari bilik-bilik gelap. (Laporan utama) Tempo 33(30) Sept. 26, 2004: p.106-112, 114-120

豪大使館前で爆弾テロ。爆弾製造の専門家(アザハリとヌールディン) が関与？

5 8 6

Lagi-lagi polisi salah duga dan keliru tangkap. (Forum utama) Forum keadilan 14(22) Sept. 26, 2004: p.11-22

イスラム寄宿学校を監視し、豪大使館爆弾テロ事件の容疑者として関係者を逮捕する警察。

5 8 7

Fachri Ali – “Pemerintahan mendatang tidak akan bisa menegakkan hukum, memberantas korupsi, dan menbendung oligarkisme kapitalis.” (Wawancara) Forum keadilan 14(22) Sept. 26, 2004: p.62-66

政治学者ファフリ・アリが大統領選決戦投票とその後を予測したインタビュー記事。

5 8 8

Istana di tangan, parlemen di seberang – setelah kalah, rumah terbelah. (Laporan utama) Tempo 33(31) Oct. 3, 2004: p.26-34, 36-37

大統領官邸は手に入れたものの、国会は「国

民連合」の支配下に？アクバル・ゴルカル党党主の策略と識者が読む「国民連合」の将来。

5 8 9

Fahmi Idris – “Karier politik Akbar sudah tamat.” (Wawancara) Tempo 33(31) Oct. 3, 2004: p.44-46, 48

党の決定を無視してメガワティ＝ハシム組を支持しなかったゴルカル党幹部数名をアクバルが除籍。そのなかの一人、ファフミ・イドリスへのインタビュー記事。

5 9 0

Sampai di sini enam tahun pemerintahan sipil. (Forum utama) Forum keadilan 14(23) Oct. 3, 2004: p.11-21

6年間の文民出身大統領の業績を探る。軍出身大統領の勝利は文民統治の敗北ではなく、国民は問題解決能力の高さで新大統領を選出？

5 9 1

Franz Magnis-Suseno – “Pemerintahan SBY akan mengalami hambatan besar.” (Wawancara) Forum keadilan 14(23) Oct. 3, 2004: p.63-66

哲学者であり文化人であるマグニス・スセノ氏にユドヨノ政権の課題を聞く。

5 9 2

Penyeimbang atau pengganjal. (Laporan utama) Tempo 33(32) Oct. 10, 2004: p.26-38, 40-41

国会議長をめぐり政党間の駆け引き。ゴルカル党のアグン・ラクソノが議長に就任。地方代表議会の議長にはギナンジャーラが就任。

5 9 3

Transisi demokrasi telah dibajak. (Demos) Tempo 33(32) Oct. 10, 2004: p.65-66, 68-70, 72-76

インドネシアの民主化は「新秩序」期の残党と新参エリートの手に残った？ NGO 活動家たちの抵抗運動はどう展開するか？。

5 9 4

Keamanan nasional – agenda untuk pemerintahan baru. (Seri diskusi Reform Institute) Tempo 33(32) Oct. 10, 2004:

p.[77]-[82]

国家安全保障をめぐる諸問題を考える。市民はいつ役割を担うか？

5 9 5

Agenda “campur tangan” Dubes AS ke Mabes Polri. (Forum utama) Forum keadilan 14(24) Oct. 10, 2004: p.11-21

退任直前に警察本庁を訪れたボイス米国大使。内政干渉と非難の声も。国軍から5年前に分離した警察の業績を評価する。

5 9 6

Wajah baru MPR – majelis tanpa kedaulatan rakyat. (Fokus) Forum keadilan 14(24) Oct. 10, 2004: p.[37]-45

国民協議会の機能はどう変化したか。暫定国民協議会設置以降の歴史を振り返る。

5 9 7

Saldi Isra – “DPR baru harus belajar dari pengalaman DPR sebelumnya.” (Wawancara) Forum keadilan 14(24) Oct. 10, 2004: p.[62]-66

アンダラス大学教員が立法院の抱える機能上の欠陥を指摘したインタビュー記事。

5 9 8

Mengapa panglima mundur – setelah hadiah bintang keempat. (Nasional) Tempo 33(33) Oct. 17, 2004: p.26-29

国軍司令官の辞任何いにメガワティ大統領が同意。同大統領の辞任直前に2名の中将が大將へと昇進した背景を探る。

5 9 9

Subur Budhisantoso – “Saya siap digusur dari partai”. (Wawancara) Tempo 33(33) Oct. 17, 2004: p.48-50, 52

民主主義者党党首の党首へのインタビュー記事。党首解任の噂、国民連合との関係、等。

6 0 0

Agenda terlupakan – reformasi dinas intelijen. (Seri diskusi Reform Institute) Tempo 33(33) Oct. 17, 2004: p.[101]-[106]

情報機関の体質をより民主化し、市民化するには何が必要か？外国の事例も紹介。



6 0 1

Puncak seteru tiga jenderal. (Forum utama) Forum keadilan 14(25) Oct. 17, 2004: p.11-19

メガワティ政権終焉の直前に国軍司令官の地位を退く意向を表明したエンドリアルト・ノ・スタルト大将。一方、2人の退役軍人に名誉大将の称号を付与。国軍将校間に亀裂発生か。

6 0 2

AM Fatwa – “MPR masih memegang peranan penting.” (Wawancara) Forum keadilan 14(25) Oct. 17, 2004: p.60-64  
国民協議会新副議長 AM ファトワ氏に聞く。

6 0 3

“Kejutan” di pagi buta dari Paris untuk Indonesia. (Nasional) Forum keadilan 14(25) Oct. 17, 2004: p.87-90  
パリのインドネシア大使館前で強力な爆弾が爆発。その背景は何か。一イスラム武装集団が犯行声明。写真多数収録。

6 0 4

Kabinet pilihan Tempo – teka-teki dari Cikeas. (Laporan utama) Tempo 33(34) Oct. 24, 2004: p.26-28, 30-31, 33-37  
新閣僚候補を自宅へ呼んで面接するユドヨノ大統領。テンポ誌の予測する新閣僚を収録。

6 0 5

Hidayat Nur Wahid – “Urusan pribadi tidak layak dibiayai negara.” (Wawancara) Tempo 33(34) Oct. 24, 2004: p.48-50, 52  
わずか2票差で国民協議会議長に選出された福祉正義党党首へのインタビュー記事。

6 0 6

Menyingkap kabinet baru – hikayat kabinet si peragu. (Laporan utama) Tempo 33(35) Oct. 31, 2004: p.28-30, 32-34, 36-40, 42, 44-46  
新内閣が発足。大統領を支持する政党間の抗争で人選が難航。大統領の目指すプロ集団となったか？早くも失望の声が。

6 0 7

Berenang di antara dua karang. (Seri diskusi Reform Institute) Tempo 33(35) Oct. 31, 2004: p.[114]-[116], [118]  
民主主義を継続しながら治安の向上をはかることは可能か？識者の見解を紹介。

6 0 8

SBY terganjal sikap nonkooperatif Mega. (Forum utama) Forum keadilan 14(27) Oct. 31, 2004: p.11-23  
大統領選に勝ったもののメガワティの非協力的態度に邪魔されるユドヨノ大統領。闘争民主党は野党としての役割を果たすか？

6 0 9

Jenderal Senayan, Jenderal istana – dan genderang perang pun ditabuh. (Laporan utama) Tempo 33(36) Nov. 7, 2004: p.26-30, 32-33  
メガワティに提出された国軍司令官の退任願を無効とするユドヨノ新大統領。国会は大統領に対し質問権を発動？

6 1 0

Jusuf Kalla – “Keputusan akhirnya ada pada Pak SBY.” (Wawancara) Tempo 33(36) Nov. 7, 2004: p.48-50, 52-53  
新副大統領が閣僚の人選、100日プログラム、石油燃料値上げの可能性などに関し語る。

6 1 1

Berebut lahan basah di Senayan. (Forum utama) Forum keadilan 14(28) Nov. 7, 2004: p.11-23  
国会内委員会議長・副議長の席をめぐって対立する国民連合と人民連合への各加盟政党(本記事は11~18ページが欠落)。

6 1 2

Syamsuddin Haris – “Surat SBY kurang tepat momentumnya.” (Wawancara) Forum keadilan 14(28) Nov. 7, 2004: p.62-66  
国軍司令官の退職と陸軍参謀長の司令官就任を記した前大統領の書簡をユドヨノ新大統領が回収。その問題をめぐって国会で議論が沸騰。政治学者はこの事件をどうみるか。

6 1 3

Pertarungan di DPR kian panas -- azab dan sengsara di Senayan. (Laporan utama) Tempo 33(37) Nov. 14, 2004: p.[28]-32

国会内の政党が国民連合と人民連合とに分かれて各委員長ポストの争奪戦。10月10日以来の対立の経緯を辿る。憲法裁判所の見解収録。

6 1 4

Jejak-jejak kematian Munir – misteri kematian penumpang di kursi 40G. (Laporan utama) Tempo 33(39) Nov. 28, 2004: p.26-32

人権活動家ムニールの航空機内での死亡事件はヒ素混入飲料による殺人と判明。ムニールの最後のフライトの軌跡を追う。

6 1 5

Agung Laksono – “Jangan ada tirani mayoritas.” (Wawancara) Tempo 33(39) Nov. 28, 2004: p.82-85

国会新議長が国会内の政党間対立を分析。

6 1 6

Wiranto – Akbar bertarung lagi. (Forum utama) Forum keadilan 14(30) Nov. 28, 2004: p.11-21

ゴルカル党の全国大会でアクバル・タンジュン元党首はその地位を守れるか。最後はアクバルとウィラントの決戦か。

6 1 7

Prof. Dr. Subur Budhisantoso – “Di Partai Demokrat banyak kutu loncat.” (Wawancara) Forum keadilan 14(30) Nov. 28, 2004: p.22-25

党の創立者たちが解職を決定した民主主義者党党首へのインタビュー記事。

6 1 8

Jejak-jejak kematian Munir – kisah Suci memburu berkas otopsi. (Laporan utama) Tempo 33(40) Dec. 5, 2004: p.26-28, 30-34

まだ届かないムニールの死体解剖結果。ガーダ機のキャビンで何が起こったか推理する。

6 1 9

Suciwati – “Harus tertangkap dalangnya...”

(Wawancara) Tempo 33(40) Dec. 5, 2004: p.52-[55]

ムニール殺害で人権活動家すべてに赤信号が点った、と語るムニール夫人の訴え。

6 2 0

Pertarungan dua kiai politik. (Forum utama) Forum keadilan 14(31) Dec. 5, 2004: p.11-21

ナフダトゥール・ウラマ全国大会でハシム・ムザディ総裁がワヒド元大統領が推す候補を破って再選。元大統領へのインタビュー収録。

6 2 1

KH Hasyim Muzadi – “Gerakan kultural tak punya konsepsi jelas.” (Wawancara) Forum keadilan 14(31) Dec. 5, 2004: p.22-27

再選されたナフダトゥール・ウラマ総裁へのインタビュー記事。元大統領との和解はあるか。

6 2 2

Repotnya melewati Gus Dur – taruhan mahal dari Kramat Raya. (Laporan utama) Tempo 33(41) Dec. 12, 2004: p.[26]-32, 34-36

ナフダトゥール・ウラマ全国大会でハシム・ムザディを総裁に選出。グス・ドウルは別の執行部結成の準備。亀裂は依然埋まらず？

6 2 3

Dr. Marwah Daud Ibrahim – “Saya akan bertarung sampai final.” (Wawancara) Forum keadilan 14(32) Dec. 12, 2004: p.62-66

ゴルカル党党首選に出馬する意向を固めたマルワ副党首へのインタビュー記事。

6 2 4

Munas Golkar – heboh calon pemimpin beringin. (Laporan utama) Tempo 33(42) Dec. 19, 2004: p.26-28, 30-34

ゴルカル党党首への再選を願うアクバル。再選阻止の動きはゴルカル長老を含む八方から。

6 2 5

Wiranto – Kegagalan- kegagalan Akbar... (Wawancara) Tempo 33(42) Dec. 19,

2004: p.52-54, 56

ゴルカル党党首選への立候補を決めたウィラント元国軍司令官。ライバルはアクバルのみ？

実業界出身政治家、副大統領、ゴルカル党党主の3つの顔を持つユスフ・カラと今後の政治。

6 2 6

Macetnya sistem perwakilan rakyat. (Demos) Tempo 33(42) Dec. 19, 2004: p.75-80, 82, 84-86, 88-90

インドネシアの民主化は本物か？中央では民主勢力が離脱？地方からの視点とフィリピンの事例。

6 2 7

Selamat tinggal Akbar... (Forum utama) Forum keadilan 14(33) Dec. 19, 2004: p.11-21

ゴルカル党首選で最後に笑ったユスフ・カラ副大統領。党首選の舞台裏を探る。

6 2 8

H. Harmoko – “Saya akan tidak melihat sosok tapi program.” (Wawancara) Forum keadilan 14(33) Dec. 19, 2004: p.24-27

党首選での長老党員の助言、アクバル下のゴルカル党の評価などをハルモコ元党首に聞く。

6 2 9

Munas Golkar – perang gerilya di Nusa Dua. (Nasional) Tempo 33(43) Dec. 26, 2004: p.32-36, 38-40

ユスフ・カラ副大統領の立候補で、ゴルカル党首選は副大統領とアクバルの一騎打ちに。両陣営が繰り広げるゲリラ戦のレポート。

6 3 0

Sudharmono – Seharusnya Wiranto yang memimpin Golkar. (Wawancara) Tempo 33(43) Dec. 26, 2004: p.52-54, 56

スダルモノ元副大統領がアクバルの政治選択の間違いを指摘。現在も続くスハルトとの関係、ウィラント支持についても語る。

6 3 1

Politisi, pengusaha, dan penguasa. (Fokus) Forum keadilan 14(34) Dec. 26, 2004: p.43-51

## 2005年（政治）

632

Golkar pasca Munas – gaya Kalla merekrut pasukan. (Laporan utama) Tempo 33(44) Jan. 2, 2005: p.156-160  
ゴルカル党全国大会後の新体制を占う。

633

Juwono Sudarsono – “Harus ada restrukturisasi bisnis TNI.” (Wawancara) Tempo 33(44) Jan. 2, 2005: p.166-168, 170  
国防相に軍人ビジネス、国防政策、他を聞く。

634

Didik J. Rachbini – “Ada *misunderstanding* antara PAN dan Muhammadiyah.” (Wawancara) Forum keadilan 14(35) Jan. 2, 2005: p.26-29  
国民信託党副党首の一人が同党の次期党首選への抱負を語る。

635

Agung Laksono mulai digoyang. (Forum utama) Forum keadilan 14(37) Jan. 22, 2005: p.11-21  
津波被害も忘れて国会内で対立し合う議員たち。アグン・ラクソノ国会議長に国民連合の将来を聞く。

636

Partai politik pasca-Orde Baru. (Demos) Tempo 33(47) Jan. 23, 2005: p.59-62, 64-71  
スハルト辞任後、政党はどう変化したか。民主主義の質を問うた世論調査結果を収録。

637

Dua surat bermasalah dari istana wapres. (Forum utama) Forum keadilan 14(38) Jan. 29, 2005: p.11-21  
副大統領決定文書第1号と副大統領官房が出した通達が引き起こした混乱とその背景。

638

Jamaluddin A. Karim, SH – “Struktur organisasi istana kacau balau.” (Wawancara) Forum keadilan 14(38) Jan. 29, 2005: p.[24]-28

「民主先駆者の星」会派代表が2004年副大統領決定文書第1号公布の背景を語る。

639

Paul Wolfowitz – “Demokrasi bisa berkembang tanpa perang.” (Wawancara) Tempo 33(48) Jan. 30, 2005: p.90-93  
ウォルフォウィッツ元インドネシア大使にアチェ支援、米伊関係、他を聞く。

640

100 hari pemerintahan SBY – seumur jagung yang mencekam. (Politik) Tempo 33(49) Feb. 6, 2005: p.24-39  
発足後100日を迎えたユドヨノ内閣。その政治面の実績を点検する。

641

100 hari pemerintahan SBY – pernah-pernik para menteri. (Kabinet) Tempo 33(49) Feb. 6, 2005: p.72-83  
ユドヨノ内閣各大臣の100日間の成果を点検する。大統領へのインタビュー収録。

642

Berbagai jalan menuju Helsinki. (Nasional) Tempo 33(49) Feb. 6, 2005: p.84-87  
ヘルシンキでのアチェ分離独立派との会議へ道を開いたのはインドネシア政府側の経済面での譲歩？

643

Wakil rakyat kok malah rewel? (Forum utama) Forum keadilan 14(39) Feb. 6, 2005: p.11-20  
汚職撲滅促進に関する法律代行政令の公布に先立ち、汚職の「危機」的状況を都合よく解釈する国会議員たち。代行政令のねらいは何か。

644

Muhammad Jusuf Kalla – “Saya bukan pesaing presiden.” (Wawancara) Tempo 33(50) Feb. 13, 2005: p.44-46  
ユスフ・カラ副大統領にアチェ分離独立派和平交渉、ゴルカル党、大統領との関係を聞く。

645

Bersih-bersih di sarang intel –

bongkar-pasang di markas intel. (Laporan utama) Tempo 33(51) Feb. 20, 2005: p.26-32

新国家情報庁長官が同庁幹部にユドヨノ＝カラ選対チームのメンバーを登用。前長官の勢力をそぐねらいか。

6 4 6

Mayjen (Purn.) Syamsir Siregar – “De-Hendro-isasi?” Saya dan Hendro-priyono biasa saja...” (Wawancara) Tempo 33(51) Feb. 20, 2005: p.42-44, 46

新国家情報庁長官に同庁の人事、人権活動家ムニール殺害事件、他を聞く。

6 4 7

Korupsi para kader partai – salah tali jerat korupsi. (Laporan utama) Tempo 33(52) Feb. 27, 2005: p.26-28, 30-32, 34-[35]

同じ党の汚職容疑者（地方議会議員、州・県知事）たちを擁護する各政党。多くは自治体予算の不正流用疑惑。

6 4 8

Proyek menggusur Mega-Hamzah. (Forum utama) Forum keadilan 14(42) Feb. 27, 2005: p.11-24

闘争民主党および開発統一党党内で活性化する党首追い落とし運動。両党内に亀裂か。

6 4 9

Pesta demokrasi lokal – hajatan demokrasi rakyat di daerah. (Fokus) Forum keadilan 14(42) Feb. 27, 2005: p.37-45

改正地方自治法に基づき最低 224 の地方自治体で実施される直接地方首長選。同法のポイントとなる条文を解説。

6 5 0

Greg Barton – “Daya tarik Islam garis keras sangat terbatas.” (Wawancara) Forum keadilan 14(42) Feb. 27, 2005: p.60-64

オーストラリアの政治学者グレッグ・バートンがインドネシアのイスラム勢力を分析。

6 5 1

Letjen (Purn) Mochamad Ma'ruf – “Menyelenggarakan pemilihan kepala

daerah tidak gampang.” (Wawancara) Tempo 34(1) Mar. 6, 2005: p.44-47

新内相に地方首長選の見通しを聞く。

6 5 2

Proyek negara-bangsa berantakan? (Demos) Tempo 34(1) Mar. 6, 2005: p.71-74, 76-77, 80-84

インドネシア人は何を自らのアイデンティティとみなすか。出身州、宗教、それとも種族？地方における民主化、分権化に関する調査結果。

6 5 3

Konspirasi mengganti Jaksa Agung. (Forum utama) Forum keadilan 14(43) Mar. 6, 2005: p.11-22

最高検察庁の汚職事件の裏に国会議員の影？汚職疑惑が囁かれる現国会議員 37 名。

6 5 4

Program IMET – terjepit dua seteru Capitol Hill. (Nasional) Tempo 34(2) Mar. 13, 2005: p.26-28, 30-32

1991 年、東ティモール・サンタクルズの発砲事件以来凍結されていた米国の軍事教育プログラムが再開。国軍の実績が評価された？

6 5 5

Membongkar konspirasi – tiga surat yang janggal. (Laporan utama) Tempo 34(2) Mar. 13, 2005: p.34-39

人権活動家ムニール殺害にガルーダ航空が関与？同社社長と真実究明チーム委員へのインタビュー収録。

6 5 6

Adu gertak di Ambalat – Datuk, di laut kita adu gertak. (Laporan utama) Tempo 34(3) Mar. 20, 2005: p.26-36, 38-39

東カリマンタン州沖の領海区分をめぐってインドネシアとマレーシアが対立。背後に海底油田の利権？

6 5 7

Menteri Luar Negeri Malaysia, Datuk Seri Syed Hamid Albar – “Wilayah maritim tidak ditentukan oleh lobi perusahaan minyak.” (Wawancara) Tempo 34(3) Mar.

20, 2005: p.46-48, 50  
マレーシア外相に東カリマンタン沖の領海線問題を聞く。

6 5 8  
Adakah cahaya di ujung lorong rakyat Aceh. (Suplemen) Tempo 34(3) Mar. 20, 2005: p.[95]-[98]  
アチェ再建の必要条件: 分離独立派との和平。政治家、研究者など 4 名の見解。

6 5 9  
Masuk dalam “perangkap diplomasi” Malaysia. (Forum utama) Forum keadilan 14(45) Mar. 20, 2005: p.11-22  
東カリマンタン州沖のマレーシアとの国境水域で両国の艦隊が対峙。シンパダン、リギタン両島の領有権をめぐる対立が表面化？

6 6 0  
Indonesia- Malaysia – dari Konfrontasi ke normalisasi. (Fokus) Forum keadilan 14(46) Mar. 27, 2005: p.37-45  
1960 年代前半のマレーシア敵視政策を回顧。

6 6 1  
Drs. R. Siti Zuhro M. A. – “Pilkada bisa mendorong kolusi”. (Wawancara) Forum keadilan 14(46) Mar. 27, 2005: p.60-64  
インドネシア科学院の一研究員が 3 カ月後に一斉に実施される地方首長選を語る。

6 6 2  
Dianggap lecehkan bangsa, Rusdiharjo didesak mundur. (Nasional) Forum keadilan 14(46) Mar. 27, 2005: p.82-85  
駐マレーシア大使の問題発言で悪化するインドネシア・マレーシア関係。

6 6 3  
Menjelang pilkada – remang lilin pemilu daerah. (Laporan utama) Tempo 34(5) Apr. 3, 2005: p.26-33  
地方行政に関する 2004 年法律第 32 号は違憲ではないと憲法裁は判決。中央政府の介入が予測される来る 6 月の地方首長選。

6 6 4

Juwono Sudarsono – satu prajurit baik senilai seribu orang pintar. (Wawancara) Tempo 34(5) Apr. 3, 2005: p.44-46, 48  
ユウオノ国防相に米国との軍事交流再開に関してインタビュー。

6 6 5  
Tiga defisit politik lokal. (Demos) Tempo 34(5) Apr. 3, 2005: p.64-72, 74-76  
地方政治が抱える 3 つの問題（地方利益代表の弱さ、反政治的雰囲気、浮遊する民主勢力）はどのように克服すべきか。世論調査結果収録。

6 6 6  
Dibalik komisi kebenaran dan persahabatan. (Fokus) Forum keadilan 14(47) Apr. 3, 2005: p.37-45  
「真実と和解の委員会」を結成し、1999 年の人権侵害事件を解決しようとするインドネシアと東ティモール。委員は両国各々 5 名。

6 6 7  
Guruh Sukarnoputra – “Mereka mempercayakan kepemimpinan kepada saya.” (Wawancara) Forum keadilan 14(47) Apr. 3, 2005: p.60-65  
目前に迫った闘争民主党全国大会でグルッ・スカルノがメガワティに挑戦？支持者は？

6 6 8  
Opera sabun kongres partai banteng. (Nasional) Tempo 34(6) Apr. 10, 2005: p.42-48  
メガワティが闘争民主党党首に再選。夫トーフック・キマスの影響が感じられる新中央執行部人事。党内に再び亀裂か。

6 6 9  
Sukowaluyo Mintorahardjo – semua orangnya Taufiq Kiemas. (Wawancara) Tempo 34(6) Apr. 10, 2005: p.[52]-54, 56  
闘争民主党革新運動を立ち上げたものの、全国大会で敗れ去った党員に聞く。中央執行部はすべてメガワティの夫のイエスマン？

6 7 0  
Pertarungan dilanjutkan di meja hijau. (Forum utama) Forum keadilan 14(48)

Apr. 10, 2005: p.11-21

バリ島で行われた闘争民主党全国大会でメ  
ガワティを党首に再選。革新グループは主流派  
の党大綱・内規違反を指摘。

6 7 1

Berebut kursi eselon I – dicari: pembantu  
menteri. (Laporan utama) Tempo 34(7)  
Apr. 17, 2005: p.26-30, 32, 34-36

省庁の高官ポスト 100 を奪い合う政党、官  
僚、専門家たちの熾烈な争い。利権に満ちたポ  
ストはどれか。

6 7 2

Demokrasi oligarkis di tengah jalan.  
Tempo 34(8) Apr. 24, 2005: p.67-73, 76-80  
インドネシアの現今の民主化は少数独裁政  
治へと向かっているか？－ NGO の調査結果。

6 7 3

Di balik pen[an]gkapan Mulyana. (Forum  
utama) Forum keadilan 14(50) Apr. 24,  
2005: p.11-21  
ムルヤナの逮捕で総選挙委員会幹部たちへ  
の汚職疑惑が拡大。識者への聞き取り収録。

6 7 4

Mengulang kebangkitan Asia Afrika.  
(Fokus) Forum keadilan 14(50) Apr. 24,  
2005: p.37-55  
バンドン会議 50 周年記念大会をジャカルタ  
で開催。アジア・アフリカの半世紀を回顧する。

6 7 5

Semangat lama, pekik baru. (Luar negeri)  
Tempo 34(9) May 1, 2005: p.120-124  
アジア・アフリカ会議 50 周年記念行事をジ  
ャカルタとバンドンで開催。単なる儀礼か、「バ  
ンドン精神」に対する根本的な革新か？

6 7 6

Muhaimin Iskandar – “PKB yang sah, ya  
versi muktamar ini.” (Wawancara)  
Forum keadilan 15(1) May 1, 2005:  
p.60-63  
民族覚醒党の新党首へのインタビュー記事。  
アルウィ・シハブ派と 2009 年選挙への対応。

6 7 7

Kasus Munir – masih adakah pesawat ke  
Lagos? (Nasional) Tempo 34(10) May 8,  
2005: p.36-39  
前国家情報庁次官が人権活動家ムニール殺  
害事件真実究明チームの召還を拒否。ムニール  
の妻が大統領に宛てた手紙を収録。

6 7 8

Bursah Zarnubi – “Beri kesempatan pak  
kyai.” (Wawancara) Forum keadilan  
15(2) May 8, 2005: p.60-64  
改革星党幹事長と党創立者へのインタビュ  
ー記事。同党の全国大会は合法と言えるか。

6 7 9

Kasus Munir – dua Lie di rute Jakarta –  
Singapura. (Nasional) Tempo 34(11) May  
15, 2005: p.26-29  
2 名のオランダ国籍人が取り調べられる一  
方で、沈黙を続ける前国家情報庁次官。ムニール  
殺害事件は暗礁に？

6 8 0

Yang sudah pinggir, makin terpinggir.  
(Demos) Tempo 34(12) May 22, 2005:  
p.73-85  
民主化運動の足並みが揃わないのは、政治ア  
クターと周縁化した民衆との乖離が原因か？

6 8 1

Menimbang lagi Soeharto. (Forum utama)  
Forum keadilan 15(4) May 22, 2005:  
p.11-21  
スハルトを裁く国民協議会決定の削除を求  
める動きと各界の反応。

6 8 2

Akbar Tandjung – “Saya tak mungkin  
meninggalkan politik.” (Wawancara)  
Forum keadilan 15(4) May 22, 2005:  
p.60-64  
政治家を育てる政治研究・教育機関を設立し  
たアクバル・タンジュン前ゴルカル党首に聞く。

6 8 3

M. Jusuf Kalla: *Reshuffle* kabinet baru  
wacana. (Wawancara) Tempo 34(13) May

29, 2005: p.46-48, 50

内閣改造の噂が流れるなか、副大統領がゴルカル党、国有企業体人事、マンディリ銀行事件などを語る。

6 8 4

Kabinet digoyang, Golkar minta jatah. (Forum utama) Forum keadilan 15(5) May 29, 2005: p.11-22

内閣改造を要求するゴルカル党。国営企業と経済関連の閣僚ポストを奪うのが狙いか？

6 8 5

Sukowaluyo Mintorahardjo – “Megawati mengecewakan.” (Wawancara) Forum keadilan 15(5) May 29, 2005: p.60-64

闘争民主党革新勢力の中心人物へのインタビュー記事。メガワティに失望した理由は？

6 8 6

Rapat yang bakal menutup semua tuduhan. (Forum utama) Forum keadilan 15(6) June 5, 2005: p.11-21, 23

汚職疑惑に揺れる総選挙委員会と国会。

1999 年総選挙時はより大規模でも咎めなし？

6 8 7

Pilkada 2005 – berebut kekuasaan di berbagai daerah. (Laporan khusus) Tempo 34(15) June 12, 2005: p.26-28, 30-54, 56-57

インドネシア初の直接地方首長選に臨む各政党の戦略。6 月だけで 7 州、159 県・市において選挙を実施。物資や資金の流れは順調か？

6 8 8

A. M. Hendropriyono – Munir tidak masuk radar kami. (Wawancara) Tempo 34(15) June 12, 2005: p.60-62, 64

人権活動家ムニール殺害事件で関与が指摘された国家情報庁。その前長官へのインタビュー記事。

6 8 9

Bom dengan deretan teori. (Laporan utama) Tempo 34(16) June 19, 2005: p.26-33

終わらない爆弾テロ事件。スラウェシのボンとバンテン州のパムランの事件を検証。

6 9 0

Abu Jibril – “Meraka adalah orang-orang bayaran.” (Wawancara) Forum keadilan 15(8) June 19, 2005: p.60-64

イスラム過激派の活動家の敷地内で起こった爆弾事件に関するインタビュー記事。

6 9 1

Kepada Aceh di masa depan. (Demos) Tempo 34(17) June 26, 2005: p.67-70, 72-78, 80, 82

大津波後のアチェで住民が主権を取り戻す必要条件は何か？権力構造、津波前の難民数。

6 9 2

Usman Hamid – “Tidak abakadabra ... Hendropriyono bebas.” (Wawancara) Forum keadilan 15(9) June 26, 2005: p.60-64

ムニール毒殺事件関連真実究明チームのメンバーへのインタビュー記事。

6 9 3

Pergantian Kapolri – jenderal anti-judi pilihan istana. (Laporan utama) Tempo 34(19) July 10, 2005: p.26-28, 30, 32, 34, 36-37

大統領がスタントを警察長官に指名した理由。ギャンブルの取締が強化？

6 9 4

Komisaris Jenderal Polisi Sutanto – “Jangan memilih kucing dalam karung.” (Wawancara) Tempo 34(19) July 10, 2005: p.46-48, 50

スタント国家薬物取締機関代表に聞く。

6 9 5

Calon tunggal dari sahabat lama. (Forum utama) Forum keadilan 15(11) July 10, 2005: p.11-21, 23

新警察長官候補はなぜ一名だけか。賭博と薬物の一掃をめざす同候補の業績と抱負。

6 9 6

Abdullah Machmud Hendropriyono – “*Bullshit* BIN terlibat.” (Wawancara)



Forum keadilan 15(11) July 10, 2005: p.[60]-64  
国家情報庁はムニール毒殺に介入したか？  
前長官へのインタビュー記事。

6 9 7  
Bola panas MA buat presiden. (Forum utama) Forum keadilan 15(12) July 17, 2005: p.  
最高裁がランブン州知事の解任を求める内相決定を却下。知事の弁護団は損害賠償要求。

6 9 8  
Di ujung jalan yang kritis. (Nasional) Tempo 34(21) July 24, 2005: p.34-37  
アチェ独立派との交渉が暗礁に？中央政府がアチェに地方政党を認める可能性は？

6 9 9  
Dua wajah dalam pilkada. (Demos) Tempo 34(21) July 24, 2005: p.87-90, 92-94, 96-101  
待ち望まれた地方首長直接選挙の結果が有権者の願望を反映しないのはなぜか？

7 0 0  
M. Alzier Dianis Thabranie – “Saya korban politik.” (Wawancara) Forum keadilan 15(13) July 24, 2005: p.60-64  
自らが政治の犠牲者と語るランブン州知事へのインタビュー記事。各政党の対応は？

7 0 1  
Perundingan RI-GAM – partai lokal sebelum damai. (Nasional) Tempo 34(22) July 31, 2005: p.26-30  
来る 8 月に政府とアチェ独立派が和平調印。その詳細内容を項目別にリスト化。

7 0 2  
Musyawarah nasional PKS – partai dakwah di simpang jalan. (Nasional) Tempo 34(23) Aug. 7, 2005: p.26-33  
地方首長直接選挙でも躍進著しい福祉正義党。同党との連立の組合せと選挙結果を収録。

7 0 3  
Perempuan mendorong demokrasi. (Demos)

Tempo 34(23) Aug. 7, 2005: p.67-69, 71-72, 74-80  
政界で女性の地位を高めることは可能か？

7 0 4  
Pilkada ricuh, pilkada rusuh. (Fokus) Forum keadilan 15(15) Aug. 7, 2005: p.37-45  
各地で衝突や騒乱が発生する地方首長選。7 月までの 16 ケースを紹介。

7 0 5  
Hikmahanto Juwana – “Indonesia harus bersikap proporsional.” (Wawancara) Forum keadilan 15(16) Aug. 14, 2005: p.60-64  
1969 年のパプアのインドネシア帰属決定は 1962 年の協定にそぐわないか。国際法専攻の学者へのインタビュー記事。

7 0 6  
Edisi khusus 17 Agustus 2005 – pagar-pagar negara. (Liputan khusus) Tempo 34(25) Aug. 21, 2005: p.32-44, 46, 48-56, 58, 60-62, 64, 66-68, 70-74, 76, 78-80, 82, 84-86, 88, 90, 92, [94], 96, 98, 100-102, 104-112, 114  
独立 60 周年記念特集。独立したり他国に編入される島々。島嶼国家の領土を守る必要条件。大統領へのインタビュー 4 ページ分収録。

7 0 7  
Sebuah tantangan bernama otonomi daerah. (Laporan utama) Tempo 34(25) Aug. 21, 2005: p.116-138, 139-143  
地方分権化の課題を探る。クタイ・カルタヌガラ県(東カリマンタン州)とリアウ州の事例。

7 0 8  
Suara kaum tak bersuara. (Nasional) Tempo 34(25) Aug. 21, 2005: p.148-150, 152  
和平合意後の変化に期待するアチェ住民。

7 0 9  
Babak baru sejarah Aceh. (Fokus) Forum keadilan 15(17) Aug. 21, 2005: p.[37]-45  
ヘルシンキでインドネシア政府とアチェ分

離独立派が和平に合意。新しいアチェの誕生？

7 1 0

Pascakesepakatan damai RI-GAM – yang berganti seperti musim. (Laporan utama) Tempo 34(26) Aug. 28, 2005: p.26-34

中央政府とアチェ独立派が和平合意文書に署名。恩赦、賠償、経済的影響など問題多数。

7 1 1

Martti Ahtisaari – “Pengadilan hak asasi di Aceh tak berlaku surut.” (Wawancara) Tempo 34(26) Aug. 28, 2005: p.46-48, 50

フィンランド大統領が和平合意後のアチェ人権裁判について見解表明。

7 1 2

Di tengah ancaman lokalisme. (Demos) Tempo 34(26) Aug. 28, 2005: p.63-67, 69-70, 72, 74-77

地方における民主化の実情を考える。負の側面の改善法と活動家が取り組んでいる課題。

7 1 3

Perundingan RI-GAM – bagai pasir di sepatu. (Nasional) Tempo 34(27) Sept. 4, 2005: p.24-27

アチェ和平ヘルシンキ会議に関する闘争民主党の国会質問権行使計画は他政党の協力が得られず立ち消えの見通し。

7 1 4

Calo-calo Senayan – 45 menit yang bikin heboh. (Laporan utama) Tempo 34(29) Sept. 18, 2005: p.26-28, 30-32

国会権限のすべてがカネに変化？暗躍するロビイストたちは何の目的で誰に接近するか。

7 1 5

Muladi – “Lemhannas bukan tempat mereka yang terbuang.” (Wawancara) Tempo 34(29) Sept. 18, 2005: p.48-50, 52

ムラディ新国軍防衛研修所所長に聞く。

7 1 6

Gejolak di tanah Papua. (Fokus) Forum keadilan 15(21) Sept. 18, 2005: p.[37]-45

1969年西イリアンのインドネシア併合は協

定違反と主張するアメリカの議員とその反響。

7 1 7

Calo-calo Senayan – sengkarat Mat Calo di Senayan. (Nasional) Tempo 34(30) Sept. 25, 2005: p.26-32

ますます活動が活発化するロビイスト。国家予算配分に目を付けたロビイスト3名の横顔。

7 1 8

Slamet Effendy Yusuf – KPK bisa langsung bergerak. (Wawancara) Tempo 34(30) Sept. 25, 2005: p.44-46, [48]

国会名誉評議会議長が語るロビイスト対策。

7 1 9

Juru damai dari utara. (Selingan) Tempo 34(30) Sept. 25, 2005: p.81-88, 90

ヘルシンキで行われたアチェ和平交渉へ至る道を振り返る。アイルランド紛争との比較。

7 2 0

Mutasi di tubuh Polri – yang tersimpan di saku Sutanto. (Nasional) Tempo 34(31) Oct. 2, 2005: p.26-30

スタント警察長官が地方警察長他の幹部を大幅人事異動。そのねらいは何か。各幹部の新旧職をリスト化。

7 2 1

Nasib korban stigma PKI. (Fokus) Forum keadilan 15(23) Oct. 2, 2005: p.[37]-45

9.30事件後40年を経ても依然として残る犠牲者の心の傷。大量虐殺の犠牲者数を問う。

7 2 2

Dr. Abdullah Dahana – “Dulu ada yang ingin Indonesia menjadi negeri sosialis.” (Wawancara) Forum keadilan 15(23) Oct. 2, 2005: p.60-64

インドネシア大学の中国研究者が「指導される民主主義」期の中国系住民の動向と中国との関係を語る。

7 2 3

Liputan khusus G30S – potret-potret keluarga retak. (Laporan khusus) Tempo 34(32) Oct. 9, 2005: p.116-120, 122-124,

126-130, 132-134

40 年の年月を経た現在、まだ傷を残す 9.30 事件。迫害されてきた家族の証言。写真 15 葉。

7 2 4

Bali kembali dilanda teror – mereka yang berada di balik bom Bali. (Laporan utama) Tempo 34(33) Oct. 16, 2005: p.26-30, 32-40, 42

再び爆弾テロに襲われたバリ島。犯行の手口を他の 5 件の爆弾テロと比較して分析。

7 2 5

Ansyad Mbai – “Keliru kalau hanya Jamaah Islamiyah saja.” (Wawancara) Tempo 34(33) Oct. 16, 2005: p.100-102, [105]

政治・治安担当調整相付反テロ部部長にバリ島爆弾テロ事件の背景を聞く。

7 2 6

Sejarah panjang teror. (Fokus) Forum keadilan 15(25) Oct. 16, 2005: p.[37]-45

インドネシアにおける 1984 年以降の爆弾テロ事件を振り返る。写真 10 葉収録。

7 2 7

Memburu pelaku bom Bali II. (Nasional) Forum keadilan 15(25) Oct. 16, 2005: p.81-85

10 月 1 日バリ島爆弾テロ事件の犯人を追う。国立イスラム大学教授とイスラム擁護戦線議長の見解を収録。

7 2 8

Melacak generasi baru teroris – kesaksian seorang teroris ‘freelance’. (Laporan utama) Tempo 34(34) Oct. 23, 2005: p.26-28, 30-34, 36

独立し組織に忠誠を誓うとは限らない新しいテロ世代に手を焼く警察。捜査の現状をルポ。

7 2 9

Sidney Jones – “Sayap garis keras itu bernama Thoifah Muqatilah.” (Wawancara) Tempo 34(34) Oct. 23, 2005: p.60-62, 64

シドニー・ジョーンズ ICG インドネシア代

表にバリ島爆弾テロの背景を聞く。

7 3 0

Indria Samego – “Di wilayah pelosok, koter sangat besar fungsinya.” (Wawancara) Forum keadilan 15(26) Oct, 23, 2005: p.60-64

軍・政関係研究者が対テロ対策と治安維持体制に関して語ったインタビュー記事。

7 3 1

Setahun SBY-JK – langkah Kalla di pucuk kekuasaan. (Liputan khusus) Tempo 34(35) Oct. 30, 2005: p.28-36, 38, 40-52, 55-56, 58-62, 66-84, 86-87, 89-98, 100

就任後 1 年が経過したユドヨノ＝カラ政権を点検する。ユスフ・カラ副大統領の足跡、副大統領としての実績、ビジネスと政治の人脈。側近の素顔を紹介。公約の実現度をチェック。

7 3 2

Laskar pentungan vs polisi. (Forum utama) Forum keadilan 15(27) Oct, 30, 2005: p.11-21

「イスラムの敵」とみなす国、団体、個人に対して暴力行為を繰り返すイスラム過激派への効果的な対策は何か。過激派 5 団体の概要。

7 3 3

Masdar Farid Mas’udi – “Pernyataan wapres bisa menimbulkan radikalisme baru.” (Wawancara) Forum keadilan 15(27) Oct, 30, 2005: p.62-66

イスラム寄宿学校への監視を強める方針に対し寄宿学校発展協会の議長が反発。

7 3 4

Usaha perdamaian di Aceh – beleid alot pasca-Helsinki. (Nasional) Tempo 34(36) Nov. 6, 2005: p.26-31

地方政府の提案が十分に盛り込まれたアチエ行政法法案。闘争民主党の反発は必至か。アチエ分離独立派の元ゲリラたちは民衆と交流。

7 3 5

Bomber tak terjamah, pesantren kena getah. (Forum utama) Forum keadilan 15(28) Nov. 6, 2005: p.11-23

副大統領のイスラム寄宿学校監視強化発言に寄宿学校長たちが一斉に反発。閉鎖に追い込まれたパキスタンの事例も紹介。

7 3 6

Terorisme – yang menunggu di luar penjara. (Nasional) Tempo 34(37) Nov. 13, 2005: p.26-31

2002 年バリ島テロの受刑者たちの家族の現状。ヌールディン・トップはどこに逃亡？

7 3 7

Misteri pelarian Al-Faruq. (Laporan utama) Tempo 34(37) Nov. 13, 2005: p.32-36

アフガニスタンの刑務所から逃亡したアル・ファルックと 3 人のテロリスト。アル・ファルックの妻へのインタビュー収録。

7 3 8

Tewasnya Dr Azahari – sebelum ‘pertemuan Syawal’ terwujud. (Laporan utama) Tempo 34(38) Nov. 20, 2005: p.26-35

警察がテロリストたちのアジトを急襲し、アザハリを射殺。アザハリと共に死亡した 4 人の警護人たちの経歴と横顔を紹介。

7 3 9

Siaga satu menjelang aksi balasan. (Forum utama) Forum keadilan 15(29) Nov. 20, 2005: p.11-22

アザハリの死は報復テロを招くか？イスラム活動家、国防相に聞く。

7 4 0

Prof. Dr. Muladi, SH – “Badan antiteror harus segera terbentuk.” (Wawancara) Forum keadilan 15(29) Nov. 20, 2005: p.24-28

反テロ機関の早急な設置を訴える国軍防衛研修所長官と氏が語るテロ対策。

7 4 1

Mengejar Noor Din M. Top – dari sekeping video cakram padat. (Laporan utama) Tempo 34(39) Nov. 27, 2005: p.26-28, 30-33

テロリスト・グループの中心人物ヌールディン・トップとその仲間たちが出演し、自爆テロ用爆弾の作り方を教える VCD をスマランで発

見。先月のバリ島テロの容疑者の足取りを追う。

7 4 2

Akbar Tandjung – “Yang mendapat manfaat hanya Kalla.” (Wawancara) Tempo 34(39) Nov. 27, 2005: p.[48]-50, [52]

ゴルカル党党首選で負け、要職から離れたアクバル前党首が党と政府、議会との関係を語る。

7 4 3

Sekelumit permusuhan dan teror tak berujung. (Forum utama) Forum keadilan 15(30) Nov. 27, 2005: p.11-21

VCD で米、英、豪、伊を敵と明言したテロリストの発言に同調する急進派イスラム団体。外国領海との境界域を危険視する海軍参謀長。

7 4 4

Dana teroris – dari mana datangnya dana. (Nasional) Tempo 34(40) Dec. 4, 2005: p.26-28, 30

テロリストたちの資金はどこから来るのか。警察はサウジアラビアに注目。

7 4 5

Abdullah Makhmud Hendropriyono – “Amerika sendiri tidak tahu.” (Wawancara) Tempo 34(40) Dec. 4, 2005: p.44-46, 48

前国家情報庁長官がテロリストの追跡とムニール殺害事件を語る。

7 4 6

Intel minta lagi “main keras”. (Forum utama) Forum keadilan 15(31) Dec. 4, 2005: p.11-25

国家情報庁がテロ容疑者を単独で逮捕する権限を要求。イスラム研究機関、宗教省、イスラム寄宿学校関係者へのインタビュー収録。

7 4 7

Umar Abduh – “Azahari adalah intel dari diraja Malaysia.” (Wawancara) Forum keadilan 15(31) Dec. 4, 2005: p.26-31

1980 年にガルーダ機を乗っ取った元イスラム過激派・政治犯が JI とアザハリを語る。

7 4 8

KH Ma'ruf Amien – “Tak cukup dengan fatwa.” (Wawancara) Tempo 34(41) Dec. 11, 2005: p.44-46, 48

宗教省とウラマ評議会がテロ対策チームを結成。同チーム議長がみるイスラム過激派。

7 4 9

Tifatul Sembiring – “Bahaya bila PKS menarik diri dari koalisi dengan pemerintah.” (Wawancara) Forum keadilan 15(32) Dec. 11, 2005: p.62-66  
福祉正義党幹部が現政権との関係を語る。

7 5 0

Kian tegang di pesantren. (Nasional) Forum keadilan 15(33) Dec. 18, 2005: p.82-86

指紋押捺義務問題で緊張が高まるイスラム寄宿学校。マランのウラマ評議会は支持。

7 5 1

Pengawasan terhadap pesantren – dari mana datangnya pengawasan? (Nasional) Tempo 34(43) Dec. 25, 2005: p.26-28, 30-32, 34-35

イスラム寄宿学校に内務省と宗教省が特別プログラムを適用。監視強化と色めき立つ学校側。指紋押捺義務のうわさに副大統領が回答。

7 5 2

Andreas Anangguru Yewangoe – “Saya menyerukan keprihatinan dalam Natal.” (Wawancara) Forum keadilan 15(34) Dec. 25, 2005: p.62-66

クリスマスを前に治安を危惧するプロテスト団体代表の牧師へのインタビュー記事。

2 0 0 6 年 (政治)

7 5 3

Kasus Munir – vonis arsen dalam mi goreng. (Hukum) Tempo 34(44) Jan. 1, 2006: p.208-211

ジャカルタ地方裁判所がムニール殺害容疑者のポリカルプスに14年の刑を宣告。ムニールの妻はムフディの取調を要望。

7 5 4

Permufakatan sadis memberangus aktivis. (Forum utama) Forum keadilan 15(35) Jan. 1, 2006: p.11-21

ムニール殺害事件の裏にみえ隠れする活動家封じ込めの謀略と妻スチワティの訴え。マルシナ殺害事件以降の17件の未解決事件を収録。